

# HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

## 10 年次報告書

(調査開始 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

平成 19 年 11 月

### HRD 共同調査協議会

アストラゼネカ株式会社  
アボットジャパン株式会社  
グラクソ・スミスクライン株式会社  
メルクセローノ株式会社  
大正製薬株式会社  
田辺三菱製薬株式会社  
中外製薬株式会社  
日本たばこ産業株式会社  
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
萬有製薬株式会社  
ファイザー株式会社  
ブリistol・マイヤーズ株式会社

# HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

## 10 年次報告書

(調査開始 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬) 共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の有効性・安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、10 年次(調査開始～平成 19 年 3 月 31 日)までの結果をまとめた小冊子を作成いたしました。

## 1. 調査方法

本調査は、契約時に投薬中の、あるいは調査期間中に投薬を開始した症例について登録頂き、患者背景、薬剤の投与状況、併用療法、患者の転帰、有害事象(副作用、臨床検査値の異常変動、新たに発現した日和見感染症等を含む)、有害事象と疾患や薬剤との関連性、臨床経過に関するコメント、臨床経過及び臨床検査値の推移等の項目について調査開始から平成 19 年 3 月 31 日の期間継続的に調査した。

## 2. 調査対象症例

本調査は、調査にご協力頂いた施設(平成 12 年 4 月 1 日より特定施設 31 施設)において、HIV 感染症及び日和見感染症治療薬を含む下記再審査品目の HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)が処方される全ての症例を対象とした。併用された HIV 感染症治療薬に関しては、治験期間も含め全ての投与期間を調査対象とした。

## 3. 調査対象薬剤

### HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している 12 社の薬剤 (2007 年 3 月現在再審査中の市販薬剤)

商品名	薬剤名(略号)	再審査期間
クリキシノンカプセル	硫酸インジナビル(IDV)	1997 年 3 月～2007 年 3 月
点滴静注用ホスガビル	ホスカルネットナトリウム 水和物	1997 年 3 月～2007 年 3 月
ゼリットカプセル	ザニルブジン(d4T)	1997 年 7 月～2007 年 7 月
デノシンカプセル	ガンシクロビル	1997 年 7 月～2007 年 7 月
インビラーゼカプセル	メル酸サキナビル(SQV-HGC)	1997 年 9 月～2007 年 9 月
ノービアカプセル・リキッド・ソフトカプセル	リトナビル(RTV)	1997 年 11 月～2007 年 11 月
ビラセプト錠	メル酸ネルフィナビル(NFV)	1998 年 3 月～2008 年 3 月
クラリス錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン	1998 年 9 月～2008 年 9 月
クラリシッド錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン	1998 年 9 月～2008 年 9 月
ビラミューン錠	ネビラピン(NVP)	1998 年 11 月～2008 年 11 月
セロステム注 5mg	ゾマトピン(遺伝子組換え)	1999 年 3 月～2009 年 3 月
ザイアジエン錠	硫酸アバガビル(ABC)	1999 年 9 月～2009 年 9 月
ストックリンカプセル 200	エファビレンツ(EFV)	1999 年 9 月～2009 年 9 月
レスクリプター錠 200mg	メル酸デラビルジン(DLV)	2000 年 2 月～2010 年 2 月
フォートベイスカプセル	サキナビル(SQV-SGC)	2000 年 4 月～2007 年 9 月
カレトラソフトカプセル・リキッド	ロビナビル(LPV)・リトナビル(RTV)	2000 年 12 月～2010 年 12 月
ジスロマック錠 600mg	アジスロマイシン	2001 年 12 月～2011 年 12 月
レイアタツカプセル 150mg,200mg	硫酸アタザナビル(ATV)	2003 年 12 月～2013 年 12 月
ビリアード錠 300mg	フマル酸テノホビルジソプロキシル(TDF)	2004 年 3 月～2014 年 3 月
ハリキサ錠 450mg	ハルガンシクロビル塩酸塩	2004 年 11 月～2014 年 11 月
レクシヴァ錠 700	ホスアンブレナビル(fAPV)	2004 年 12 月～2014 年 12 月

エプソム錠	ラミブジン(3TC)・硫酸アバカビル(ABC)	2004年12月～2014年12月
エムトリカプセル 200mg	エムトリシタビン(FTC)	2005年3月～2015年3月
ツルバダ錠	エムトリシタビン(FTC)・ フルル酸テノホビルシゾプロキシル(TDF)	2005年3月～2015年3月

(2007年3月現在再審査が終了している市販薬剤)

商品名	薬剤名(略号)	再審査期間
ハビッド錠 0.375	ザルシタビン(ddC)	1996年4月～2006年4月
エピビル錠	ラミブジン(3TC)	1997年2月～2007年2月
コンビビル錠	ジドブジン(AZT)・ラミブジン(3TC)	1999年6月～2007年2月

#### 4. 解析対象症例

本調査の解析は、平成19年8月20日までに調査票を回収し、かつ情報提供の承諾を頂いている症例(3,924例)の内、適応外の症例(HIV感染症以外の88例)を除外した症例を使用実態調査解析の対象(3,836例)とした。

安全性及び有効性に関する解析は、上記3,924症例の内、調査票内容の確定(固定)した症例のみを対象とした。解析対象は3,792例であった。その内訳は抗HIV薬使用症例(HIV感染症の適応)が3,706例、CMV網膜炎治療薬(デノシンカプセル、ハリキサ錠450mg、ホスガビル)使用症例が183例、MAC治療薬(クラリスロマイシン、ジスロマック600mg)使用症例が451例であり、解析除外(対象の抗HIV薬・CMV網膜炎治療薬・MAC治療薬未処方症例)は70例であった。

回収調査票数	:	15,418冊
回収症例数	:	3,924例
・使用実態集計解析対象症例数	:	3,836例
除外症例数	:	88例
・安全性・有効性解析対象症例数	:	3,792例
抗HIV薬使用症例数	:	3,706例
CMV網膜炎治療薬使用症例数	:	183例
MAC治療薬使用症例数	:	451例
除外症例数	:	70例

#### 5. 解析結果

本調査の10年次までの症例背景を表1に示す。

本調査では、HIV感染症治療薬の使用実態の把握を目的に、使用された薬剤の組合せの延べ症例数(薬剤の切り替えなどで同一症例の中で異なる組合せがある場合、別症例として集計)及び平均併用日数の集計を行った(図1)。

その結果を表2-0-1～2-10-1に示す。使用頻度が最も高かった薬剤の組合せは、2剤併用では1年次(表2-1-1)、2年次(表2-2-1)、3年次(表2-3-1)、4年次(表2-4-1)及び調査開始から10年次までの全期間(表2-0-1)でレトロビル、エピビルの組合せ、5年次(表2-5-1)、6年次(表2-6-1)、7年次(表2-7-1)、8年次(表2-8-1)及び9年次(表2-9-1)がコンビビル、ストックリンの組合せ、10年次(表2-10-1)ではツルバダ、ストックリン、3剤併用では1年次、2年次がレトロビル、エピビル、クリキシバンの組合せ、3年次から5年次及び全期間がエピビル、ゼリット、ピラセプトの組合せ、6年次から8年次がエピビル、ゼリット、ストックリ

ンの組合せ、9年次、10年次がエピビル、ビリアード、ストックリンの組合せとなった。4剤併用では2年次、3年次がエピビル、ゼリット、インビラーゼ、ノービアの組合せ、5年次、6年次がエピビル、ゼリット、クリキシバン、ノービアの組合せ、4年次及び7年次がレトロビル、エピビル、クリキシバン、ノ - ビアの組合せ、8年次から10年次及び全期間がエピビル、ビリアード、ノ - ビア、レイアタツツの組合せであった。

次に、10年次において使用頻度の高い上位15組の組合せ及び上位15組に含まれなかった薬剤の最上位の組合せ5組について、副作用の発現状況及び安全性に影響を与えると考えられる要因(性別、年齢、人種、抗HIV薬以外の併用薬有無、併用療法有無、合併症有無、肝障害、肝炎、血友病、血友病分類、既往歴有無、アレルギー - 有無)について、集計解析を行った(表3~47)。なお、副作用用語についてはICH国際医薬用語集(MedDRA/J Ver10.0)にて集計解析を行った。また、薬剤別の重篤な副作用・感染症の発現状況の一覧を掲載した。

さらに、各組合せ毎のCD4陽性リンパ球数、血漿中HIV-RNAコピー - 数についてグラフ化を行った(図2~21)。なお、レトロビル+レスクリプター+カレトラは投与期間中の検査値がないため作成は行わなかった。

HIV関連疾患治療薬について、使用された薬剤と患者全体の投与日数の集計を行った。その結果を表2-0-2~2-10-2に示す。また、CMV網膜炎治療薬については使用された症例数183例に対して、MAC感染症治療薬については使用された症例数451例に対して、安全性に影響を与えると考えられる要因別の副作用発現状況についてのみ集計を行った(表44、46)。

#### 今回集計を行った薬剤の組合せ

組合	1	エピビル+ビリアード+ストックリン
組合	2	ツルバダ+ノービア+レイアタツツ
組合	3	ツルバダ+ストックリン
組合	4	エピビル+ビリアード+ノービア+レイアタツツ
組合	5	コンビビル+ストックリン
組合	6	レトロビル+エピビル+ストックリン
組合	7	エブジコム+ノービア+レイアタツツ
組合	8	レトロビル+エピビル+カレトラ
組合	9	コンビビル+カレトラ
組合	10	エピビル+ビリアード+カレトラ
組合	11	エピビル+ゼリット+ストックリン
組合	12	エブジコム+ストックリン
組合	13	エピビル+ゼリット+カレトラ
組合	14	ツルバダ+カレトラ
組合	15	エピビル+ザイアジェン+ストックリン
組合	22	ツルバダ+ノービア+レクシヴァ
組合	27	レトロビル+エピビル+ピラミューン
組合	35	エピビル+ザイアジェン+ピラセプト
組合	48	ビリアード+エムトリバ+ピラセプト
組合	614	レトロビル+エピビル+レスクリプター+カレトラ

## 6. まとめ

抗 HIV 薬使用患者 3,924 例について、薬剤の組合せごとに集計解析(使用実態解析の対象は 3,836 例)を行った。

使用実態の検討では、10 年次までの調査期間において、承認時期が遅い薬剤および再審査期間満了薬剤もあるため、使用実態(薬剤の組合せ)に偏りが見られた。

安全性の検討では、集計解析を行った 20 組の組合せの内、組合せによっては患者背景のいくつかの要因について副作用発現症例率に有意差が認められた。有意差が認められた要因は、性別、人種、抗 HIV 薬以外の併用薬有無、併用療法有無、血友病分類、既往歴有無及びアレルギー(特異体質)有無であったが、交絡因子が多く原因については不明である。

有効性の検討では、CD4 陽性リンパ球数については、各組合せで、治療経験が無い患者(naïve)、及び治療経験が有る患者(experienced)の何れの群においても投与期間に伴い維持または増加の傾向を示した。血漿中 HIV-RNA コピー数については、多くの組合せにおいて、投与初期の減少効果が大きく、その後低いレベルを維持していることが確認された。3 剤併用の組合せの中、0 ヶ月時の検査値が 50 症例以上と併用例が多いエビビル+ビリアード+ストックリン、ツルバダ+ノービア+レイアタツ、レトロビル+エビビル+ストックリン、レトロビル+エビビル+カレトラ、エビビル+ビリアード+カレトラ、エビビル+ゼリット+ストックリン、エビビル+ゼリット+カレトラは、CD4 陽性リンパ球数の増加、血漿中 HIV-RNA コピー数の減少及び検出限界以下症例の増加傾向から、3 剤併用における治療効果は顕著であり、効果も持続性がみられている。他の組合せにおいては測定症例数が少ないこともあり、効果を比較することは困難であると考えられた。

CMV 網膜炎治療薬および MAC 感染症治療薬については、10 年次までの使用症例数がそれぞれ 183 例、451 例となっており、全体の患者数に占める割合としてはそれぞれ 4.7%、11.5%であり前年と大きな変化はなかった。

## 図表説明

表 1. 抗 HIV 薬使用患者(HIV 感染症)背景

表 1a. 生存・死亡者内訳

図 1. 併用期間の考え方

表 2-0-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:調査開始～2007年 3月31日)

表 2-0-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:調査開始～2007年 3月31日)

表 2-1-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:調査開始～1997年10月31日)

表 2-1-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:調査開始～1997年10月31日)

表 2-2-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:1997年11月1日～1998年10月31日)

表 2-2-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:1997年11月1日～1998年10月31日)

表 2-3-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:1998年11月1日～2000年 3月31日)

表 2-3-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:1998年11月1日～2000年 3月31日)

表 2-4-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:2000年 4月1日～2001年 3月31日)

表 2-4-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:2000年 4月1日～2001年 3月31日)

表 2-5-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:2001年 4月1日～2002年 3月31日)

表 2-5-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:2001年 4月1日～2002年 3月31日)

表 2-6-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:2002年 4月1日～2003年 3月31日)

表 2-6-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:2002年 4月1日～2003年 3月31日)

表 2-7-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:2003年 4月1日～2004年 3月31日)

表 2-7-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:2003年 4月1日～2004年 3月31日)

表 2-8-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:2004年 4月1日～2005年 3月31日)

表 2-8-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:2004年 4月1日～2005年 3月31日)

表 2-9-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:2005年 4月1日～2006年 3月31日)

表 2-9-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:2005年 4月1日～2006年 3月31日)

表 2-10-1. 抗 HIV 薬 使用実態表 (投与期間:2006年 4月1日～2007年 3月31日)

表 2-10-2. HIV 関連疾患治療薬 使用実態表 (投与期間:2006年 4月1日～2007年 3月31日)

表 3.	組合 1	エピビル+ピリアード+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 4.	組合 1	エピビル+ピリアード+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 5.	組合 2	ツルバダ+ノーピア+レイアタツ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 6.	組合 2	ツルバダ+ノーピア+レイアタツ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 7.	組合 3	ツルバダ+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 8.	組合 3	ツルバダ+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 9.	組合 4	エピビル+ピリアード+ノーピア+レイアタツ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 10.	組合 4	エピビル+ピリアード+ノーピア+レイアタツ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 11.	組合 5	コンピビル+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 12.	組合 5	コンピビル+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 13.	組合 6	レトロビル+エピビル+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 14.	組合 6	レトロビル+エピビル+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 15.	組合 7	エブジコム+ノーピア+レイアタツ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 16.	組合 7	エブジコム+ノーピア+レイアタツ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 17.	組合 8	レトロビル+エピビル+カレトラ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 18.	組合 8	レトロビル+エピビル+カレトラ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 19.	組合 9	コンピビル+カレトラ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 20.	組合 9	コンピビル+カレトラ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 21.	組合 10	エピビル+ピリアード+カレトラ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 22.	組合 10	エピビル+ピリアード+カレトラ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 23.	組合 11	エピビル+ゼリット+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 24.	組合 11	エピビル+ゼリット+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 25.	組合 12	エブジコム+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 26.	組合 12	エブジコム+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 27.	組合 13	エピビル+ゼリット+カレトラ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 28.	組合 13	エピビル+ゼリット+カレトラ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 29.	組合 14	ツルバダ+カレトラ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 30.	組合 14	ツルバダ+カレトラ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 31.	組合 15	エピビル+ザシアジェン+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 32.	組合 15	エピビル+ザシアジェン+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 33.	組合 22	ツルバダ+ノーピア+レクシヴァ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 34.	組合 22	ツルバダ+ノーピア+レクシヴァ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 35.	組合 27	レトロビル+エピビル+ピラミューン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 36.	組合 27	レトロビル+エピビル+ピラミューン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 37.	組合 35	エピビル+ザシアジェン+ピラセプト併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 38.	組合 35	エピビル+ザシアジェン+ピラセプト併用例	副作用・感染症の発現状況
表 39.	組合 48	ピリアード+エムトリバ+ストックリン併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 40.	組合 48	ピリアード+エムトリバ+ストックリン併用例	副作用・感染症の発現状況
表 41.	組合 614	レトロビル+エピビル+ レスクリプター+カレトラ併用例	患者背景別副作用発現症例率
表 42.	組合 614	レトロビル+エピビル+ レスクリプター+カレトラ併用例	副作用・感染症の発現状況
表 43.	患者背景要因(CMV 感染症治療薬)		
表 44.	CMV 感染症治療薬		患者背景別副作用発現率



表 45.	患者背景要因 (MAC 感染症治療薬)	
表 46.	MAC 感染症治療薬	患者背景別副作用発現症例率
表 47-1.	抗 HIV 薬 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表	
表 47-2.	HIV 関連疾患治療薬 薬剤別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表	
図 2~21	組合せ別 (平均値) グラフ、評価及び考察*	CD4 陽性リンパ球数 (上段) 血漿中 HIV-RNA コピー数 (下段)

投与開始時点をも 0 ヶ月として、それ以後 3 ヶ月ごとに平均値・標準偏差を算出した。

(投与後月数は前後 ± 30 日以内での検査値を平均する)

投与開始 (直前) 時点での検査値がある症例を対象とし、以降の推移を示した。

CD4、HIV-RNA コピー数について値を治療経験が無い患者 (naïve)\*\*、及び治療経験が有る患者 (experienced)\*\* の 2 層に分けて平均値・標準偏差を求めた。

\* : 評価及び考察は、患者背景 (年齢、既往歴、前治療歴等) 及び副作用発現傾向等の要因を除いた相対的なものであり、投与開始症例数 (0 ヶ月時) が 20 症例以上の併用例について評価した。

\*\* : 「治療経験が無い患者 (naïve)」「治療経験が有る患者 (experienced)」

治療経験が無い患者とは、本調査開始時に初めて抗 HIV 薬が投与された患者を示し、最初の抗 HIV 薬剤組合せの投与開始日から薬剤が変更または中止されるまでの区間について集計する。

治療経験が有る患者とは、本調査開始時に既に抗 HIV 薬が投与されていた患者を示し、最初の抗 HIV 薬剤組合せの投与開始日から薬剤が変更または中止されるまでの区間、及び治療経験が無い患者の区間の次区間、即ち 2 番目の抗 HIV 薬剤組合せの投与開始日から薬剤が変更または中止されるまでの区間について集計する。

ただし、治療経験が無い患者は、治療歴が明確に把握できないため等の理由で必ずしも正確ではない症例も含まれる。

HRD共同調査協議会

アストラゼネカ株式会社

アボットジャパン株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

メルクセローノ株式会社

大正製薬株式会社

田辺三菱製薬株式会社

中外製薬株式会社

日本たばこ産業株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

萬有製薬株式会社

ファイザー株式会社

ブリistol・マイヤーズ株式会社

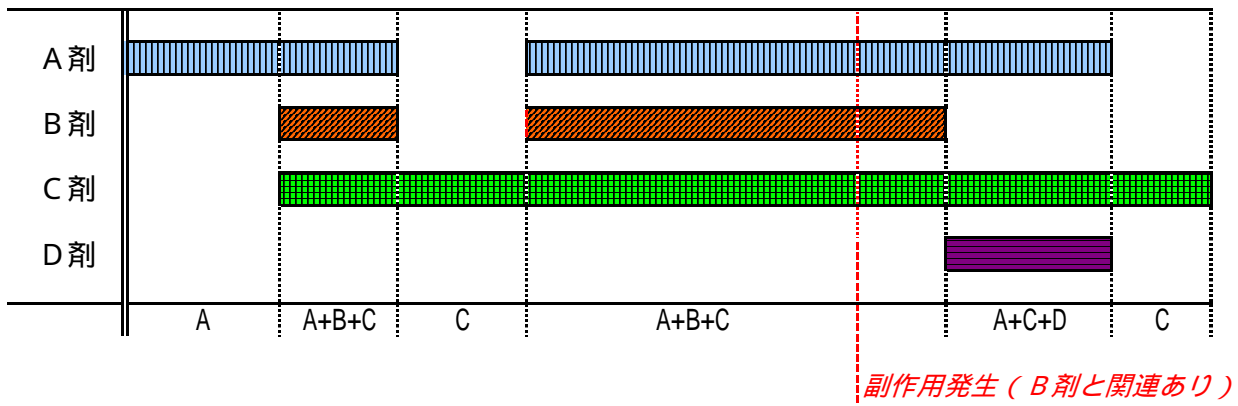
表1. 抗HIV薬使用患者(HIV感染症)背景

患者背景	症例数	分布(%)
総症例	3706	100.00
性別	男	3304
	女	402
年齢	14歳	36
	15歳 - 64歳	3594
	65歳	76
人種	日本人	3373
	その他	332
	不明・未記載	1
抗HIV薬以外の併用薬有無	無	628
	有	3078
併用療法有無	無	2999
	有	707
合併症有無	無	1151
	有	2552
	不明・未記載	3
合併症肝障害	無	2680
	有	1023
	肝炎	850
	不明・未記載	3
血友病	無	3111
	有	592
	A	449
	B	141
	不明・未記載	2
	不明・未記載	3
既往歴有無	無	1594
	有	2028
	不明・未記載	84
アレルギー(特異体質)の有無	無	2551
	有	844
	不明・未記載	311

表1a. 生存・死亡者内訳

	AIDS患者 (投与後AIDS発症)	HIV感染者	計
計	1233 ( 54)	2473	3706
生存者	1113 ( 46)	2396	3509
死亡者	120 ( 8)	77	197

図1 併用期間の考え方



上図においての組合せ

	副作用発現	
	症例数	症例数
A	1例	無
C	1例	無
C	1例	無
A+B+C	1例	無
A+B+C	1例	1例
A+C+D	1例	無

併用期間
 
 初回併用開始日  
 併用開始日

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤						剤数	平均日数	最小日数	最大日数				
		レトロビル	ウアイテックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エブシコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロロゼ					フォートヘイス	カレトラ	レイアタック	レクシガア
1	733																							2	326.1	2	3463	
2	702																								3	919.2	2	3155
3	623																								3	507.4	2	3186
4	598																								1	424.0	2	3129
5	586																								3	775.8	2	3148
6	558																								3	717.8	2	2642
7	394																								3	493.1	2	1605
8	323																								3	781.6	2	2587
9	279																								2	900.9	2	2741
10	276																								2	418.8	2	3044
11	265																								4	419.5	3	1070
12	262																								3	402.1	2	2561
13	261																								3	526.2	2	1956
14	239																								2	321.3	2	3442
15	231																								2	231.9	2	3124
16	195																								1	383.9	3	1690
17	185																								2	569.2	3	2216
18	159																								3	571.9	3	2067
19	149																								3	300.0	2	677
20	139																								2	279.9	2	675
21	122																								3	666.6	3	2871
22	108																								3	274.1	4	789
23	108																								4	261.6	4	1775
24	106																								3	472.7	5	1279
25	103																								3	533.1	6	2075
26	98																								3	335.9	4	2499
27	92																								3	665.7	10	2817
28	88																								3	539.6	7	2002
29	87																								3	349.1	2	1481
30	85																								2	170.8	2	1131
31	84																								4	455.2	3	2511
32	80																								3	471.8	6	2943
33	74																								3	662.4	28	2137
34	74																								2	353.3	7	763
35	73																								1	171.2	5	1329
36	72																								1	192.4	2	728
37	71																								2	187.1	2	931
38	70																								1	92.2	2	679
39	68																								3	339.6	2	1876
40	63																								2	754.6	6	2425
41	59																								4	664.3	2	2230
42	57																								4	491.9	7	1020
43	56																								2	499.6	5	2334
44	55																								3	583.9	15	1951
45	54																								3	635.9	7	2043
46	54																								2	188.3	3	2826
47	52																								3	274.6	12	931
48	51																								3	408.2	2	2177
49	47																								3	654.1	2	2602
50	43																								4	214.7	25	880

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数			
		レトロビル	ウアイテックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エブジコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシン	インビラゼ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクシガア
51	42																							3	939.7	10	3069	
52	41																								4	341.8	10	874
53	38																								4	637.6	6	2931
54	38																								3	528.6	5	3073
55	38																								3	365.5	4	2808
56	38																								3	289.5	3	1283
57	37																								3	477.6	13	1109
58	37																								1	115.0	2	572
59	36																								2	173.6	4	577
60	31																								3	373.8	3	2530
61	30																								2	532.8	19	1060
62	29																								2	309.4	3	741
63	28																								3	379.4	11	1584
64	28																								3	297.8	8	978
65	28																								2	188.6	4	706
66	27																								3	609.7	6	1845
67	27																								2	359.0	2	3087
68	27																								3	265.3	24	945
69	26																								2	639.3	10	2544
70	26																								3	579.9	3	1999
71	26																								4	474.0	7	2166
72	25																								3	440.7	52	1022
73	25																								3	322.4	2	2942
74	23																								3	427.9	41	745
75	22																								3	481.1	3	1812
76	22																								2	299.4	2	2251
77	22																								2	244.3	2	755
78	22																								2	149.2	4	478
79	20																								2	605.4	3	2110
80	20																								3	285.2	4	1499
81	19																								3	630.6	34	2042
82	19																								2	165.1	14	1023
83	18																								3	596.2	112	1653
84	18																								3	540.6	3	1834
85	18																								3	333.4	4	1709
86	18																								2	259.6	5	867
87	18																								3	240.6	37	615
88	18																								2	212.3	7	815
89	17																								3	703.3	12	1887
90	17																								3	570.6	19	2154
91	17																								4	486.3	2	1835
92	17																								3	432.5	7	1004
93	16																								3	786.4	3	1760
94	16																								1	370.3	2	2109
95	16																								3	289.8	35	689
96	16																								2	276.2	6	1043
97	15																								4	1159.0	40	1783
98	15																								3	592.3	23	1625
99	15																								4	368.2	63	710
100	15																								3	282.3	7	877

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数			
		レトロビル	ウアイテックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エプシコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシン	インビラゼ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクシガア
101	15																							2	278.0	108	724	
102	14																								3	704.9	4	1756
103	14																								2	265.8	6	1778
104	14																								3	238.7	7	976
105	14																								2	181.2	8	660
106	13																								4	551.5	7	1877
107	13																								2	225.2	11	777
108	13																								1	131.9	2	364
109	13																								1	88.7	5	736
110	12																								3	860.6	92	1883
111	12																								3	578.2	6	1235
112	12																								3	352.9	5	2030
113	12																								3	251.9	10	1457
114	12																								4	206.8	22	565
115	11																								4	606.6	5	2958
116	11																								4	595.0	18	2033
117	11																								3	411.2	9	1821
118	11																								3	203.9	16	501
119	11																								2	105.6	3	516
120	11																								2	51.1	7	301
121	10																								3	426.5	14	1686
122	10																								1	74.0	2	365
123	9																								4	520.7	7	1647
124	9																								4	465.6	79	1100
125	9																								4	458.3	6	1520
126	9																								4	386.8	30	1017
127	9																								3	229.1	10	581
128	9																								3	223.7	3	624
129	9																								4	204.2	20	570
130	9																								2	125.2	2	409
131	9																								2	89.4	2	287
132	9																								1	56.9	2	202
133	8																								3	619.4	21	1604
134	8																								4	451.8	14	1344
135	8																								2	390.0	27	1085
136	8																								4	339.6	43	1225
137	8																								2	292.1	5	1320
138	8																								4	133.5	2	366
139	8																								3	98.0	2	334
140	8																								1	38.1	3	192
141	7																								4	894.6	577	1844
142	7																								3	680.9	7	1588
143	7																								4	657.7	3	2189
144	7																								3	326.4	7	1335
145	7																								2	137.9	65	293
146	7																								2	49.4	22	71
147	7																								2	44.9	2	230
148	6																								5	845.7	127	1817
149	6																								3	639.2	3	1167
150	6																								4	620.0	102	1121

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数			
		レトロビル	ウアイテックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エブシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシン	インビラセ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクシガア
151	6																							2	486.7	13	1758	
152	6																								4	422.3	9	777
153	6																								3	407.5	28	836
154	6																								3	359.2	29	783
155	6																								3	311.0	23	1143
156	6																								2	296.0	53	479
157	6																								2	210.5	16	522
158	6																								3	161.8	43	365
159	6																								3	135.3	36	300
160	6																								4	124.8	24	311
161	6																								3	73.7	21	153
162	6																								2	72.3	5	165
163	6																								3	65.8	2	265
164	6																								2	25.8	2	42
165	6																								4	23.8	5	61
166	5																								4	1175.4	32	2355
167	5																								3	880.0	94	1400
168	5																								3	785.0	14	2301
169	5																								2	645.2	4	1436
170	5																								3	585.4	35	1409
171	5																								4	419.2	4	592
172	5																								3	398.8	12	1131
173	5																								3	369.4	17	860
174	5																								3	316.0	10	575
175	5																								2	307.8	83	987
176	5																								3	285.0	28	612
177	5																								2	278.8	24	987
178	5																								4	263.2	55	661
179	5																								4	238.8	116	432
180	5																								3	210.8	28	643
181	5																								3	201.2	56	365
182	5																								2	196.6	29	341
183	5																								3	190.8	26	318
184	5																								2	190.8	14	623
185	5																								3	184.8	42	419
186	5																								3	183.8	48	403
187	5																								3	149.6	3	256
188	5																								2	135.6	10	612
189	5																								3	115.8	7	369
190	5																								3	115.0	9	365
191	5																								2	110.8	31	221
192	5																								3	110.4	5	383
193	5																								3	85.4	3	261
194	5																								4	41.0	9	120
195	4																								4	1211.5	3	2460
196	4																								4	1044.3	27	2562
197	4																								3	776.8	413	1512
198	4																								2	642.5	3	2531
199	4																								3	595.8	35	1505
200	4																								3	512.8	22	1545



表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数			
		レトロビル	ウアイテックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エプシコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクシガア
201	4																							3	502.0	7	1074	
202	4																								3	477.5	5	1603
203	4																								3	443.3	68	935
204	4																								4	397.5	11	698
205	4																								2	386.5	14	1223
206	4																								4	383.0	60	941
207	4																								3	354.5	218	546
208	4																								4	299.8	3	597
209	4																								2	295.8	10	685
210	4																								4	290.8	35	492
211	4																								4	254.0	68	368
212	4																								3	246.5	18	436
213	4																								3	231.8	3	609
214	4																								3	226.5	46	318
215	4																								5	222.5	15	675
216	4																								4	185.8	14	499
217	4																								2	185.5	29	411
218	4																								3	134.5	8	302
219	4																								2	114.3	2	341
220	4																								3	74.3	2	276
221	4																								3	61.3	6	146
222	4																								3	60.0	10	98
223	4																								2	44.5	2	138
224	4																								3	25.3	3	49
225	4																								2	9.0	7	14
226	3																								5	1173.0	353	2460
227	3																								4	1154.3	657	2007
228	3																								3	1022.3	55	1530
229	3																								3	986.3	300	2160
230	3																								4	888.3	70	1747
231	3																								4	794.7	2	2256
232	3																								3	710.0	116	1088
233	3																								3	677.7	231	1529
234	3																								3	672.0	285	1102
235	3																								4	665.3	4	1041
236	3																								3	660.3	342	1078
237	3																								4	653.7	8	1684
238	3																								3	644.7	398	851
239	3																								5	612.7	14	1029
240	3																								4	508.7	3	1097
241	3																								4	497.0	232	706
242	3																								3	494.7	2	1273
243	3																								3	472.7	169	657
244	3																								3	451.0	10	751
245	3																								4	441.3	15	750
246	3																								4	424.7	2	946
247	3																								4	416.7	94	582
248	3																								4	403.0	284	560
249	3																								4	391.3	109	827
250	3																								3	373.3	72	777

表2-0-1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症 例 数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数			
		レトロビル	ウアイ テックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビ ル	ザイ ジェン	ピリアード	エプゾコ ム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミュー ン	ストックリン	レスクリフ ター	クリキシハ ン	インビラ ゼ	ノービア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘ イス					カレトラ	レイアタッ ツ	レクシガ ア
251	3																							4	322.3	85	752	
252	3																								3	298.3	137	602
253	3																								3	274.7	165	476
254	3																								2	264.0	70	596
255	3																								4	216.0	29	542
256	3																								4	193.0	5	530
257	3																								3	183.0	18	445
258	3																								4	164.3	52	374
259	3																								4	163.7	63	316
260	3																								3	159.3	25	425
261	3																								2	152.0	5	442
262	3																								4	148.7	91	229
263	3																								4	134.3	16	367
264	3																								2	131.3	11	213
265	3																								3	113.3	14	166
266	3																								3	101.7	2	289
267	3																								4	92.0	13	241
268	3																								4	78.7	71	84
269	3																								2	72.0	35	126
270	3																								4	52.3	15	105
271	3																								3	47.0	7	106
272	3																								3	43.7	13	99
273	3																								2	39.3	3	73
274	3																								2	26.7	2	42
275	3																								4	23.7	14	36
276	3																								2	15.7	14	19
277	3																								1	6.3	2	11
278	2																								3	2349.5	2095	2604
279	2																								4	1947.5	1710	2185
280	2																								3	1095.0	683	1507
281	2																								3	902.0	607	1197
282	2																								4	863.5	85	1642
283	2																								4	763.5	189	1338
284	2																								3	759.0	76	1442
285	2																								4	737.0	43	1431
286	2																								5	721.5	2	1441
287	2																								3	696.0	543	849
288	2																								3	684.5	641	728
289	2																								5	595.0	498	692
290	2																								4	590.5	579	602
291	2																								3	586.0	177	995
292	2																								4	568.5	28	1109
293	2																								4	560.5	5	1116
294	2																								4	533.0	427	639
295	2																								3	471.0	272	670
296	2																								3	461.0	369	553
297	2																								4	424.0	222	626
298	2																								2	397.0	148	646
299	2																								3	388.0	232	544
300	2																								5	374.0	15	733

表2-0-1.抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数			
		レトロビル	ウアイデックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エブシコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラセ	ノビア	ビラセプト	プロセ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクシガア
301	2																							3	304.5	260	349	
302	2																								4	302.5	118	487
303	2																								4	280.0	166	394
304	2																								2	276.5	198	355
305	2																								3	261.5	189	334
306	2																								4	250.5	144	357
307	2																								3	249.0	231	267
308	2																								3	247.0	28	466
309	2																								3	233.5	11	456
310	2																								4	225.0	28	422
311	2																								2	194.5	134	255
312	2																								4	194.5	8	381
313	2																								3	188.0	11	365
314	2																								1	183.5	2	365
315	2																								4	175.5	116	235
316	2																								3	172.0	126	218
317	2																								3	157.5	119	196
318	2																								4	151.0	46	256
319	2																								4	144.5	43	246
320	2																								3	138.0	56	220
321	2																								4	134.0	9	259
322	2																								2	126.0	5	247
323	2																								4	106.5	57	156
324	2																								5	101.5	91	112
325	2																								4	94.0	60	128
326	2																								6	92.5	73	112
327	2																								4	78.0	30	126
328	2																								5	77.5	56	99
329	2																								4	65.5	61	70
330	2																								4	60.5	45	76
331	2																								3	50.0	7	93
332	2																								3	44.0	26	62
333	2																								2	36.0	2	70
334	2																								5	35.5	13	58
335	2																								3	32.5	10	55
336	2																								3	31.5	14	49
337	2																								2	29.5	19	40
338	2																								3	27.0	6	48
339	2																								3	23.0	5	41
340	2																								4	22.0	3	41
341	2																								2	9.0	7	11
342	2																								4	6.5	3	10
343	2																								4	6.5	4	9
344	2																								3	6.0	2	10
345	2																								6	6.0	4	8
346	2																								2	2.0	2	2
347	1																								3	2609.0	2609	2609
348	1																								5	2393.0	2393	2393
349	1																								3	2145.0	2145	2145
350	1																								6	1786.0	1786	1786

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤						剤数	平均日数	最小日数	最大日数				
		レトロビル	ウアイテックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エプジコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラセ	ノビア	ビラセプト	プロゼ					フォートヘイス	カレトラ	レイアタック	レクシガア
351	1																							4	1785.0	1785	1785	
352	1																								4	1644.0	1644	1644
353	1																								3	1473.0	1473	1473
354	1																								5	1431.0	1431	1431
355	1																								3	1418.0	1418	1418
356	1																								4	1411.0	1411	1411
357	1																								4	1303.0	1303	1303
358	1																								4	1272.0	1272	1272
359	1																								4	1267.0	1267	1267
360	1																								4	1172.0	1172	1172
361	1																								5	1120.0	1120	1120
362	1																								4	1041.0	1041	1041
363	1																								2	1035.0	1035	1035
364	1																								5	1031.0	1031	1031
365	1																								4	1010.0	1010	1010
366	1																								4	1006.0	1006	1006
367	1																								5	956.0	956	956
368	1																								4	954.0	954	954
369	1																								5	929.0	929	929
370	1																								5	913.0	913	913
371	1																								4	878.0	878	878
372	1																								2	831.0	831	831
373	1																								4	816.0	816	816
374	1																								4	813.0	813	813
375	1																								4	807.0	807	807
376	1																								5	761.0	761	761
377	1																								4	747.0	747	747
378	1																								5	738.0	738	738
379	1																								5	731.0	731	731
380	1																								3	719.0	719	719
381	1																								4	719.0	719	719
382	1																								5	713.0	713	713
383	1																								3	691.0	691	691
384	1																								3	691.0	691	691
385	1																								4	687.0	687	687
386	1																								4	681.0	681	681
387	1																								3	669.0	669	669
388	1																								3	661.0	661	661
389	1																								4	629.0	629	629
390	1																								3	625.0	625	625
391	1																								4	618.0	618	618
392	1																								3	612.0	612	612
393	1																								4	612.0	612	612
394	1																								5	607.0	607	607
395	1																								4	589.0	589	589
396	1																								3	586.0	586	586
397	1																								3	578.0	578	578
398	1																								4	574.0	574	574
399	1																								6	569.0	569	569
400	1																								3	568.0	568	568

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症 例 数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数			
		レトロビル	ウアイ テックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビ ル	ザイ ジェン	ビリアード	エブジコ ム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミュー ン	ストックリン	レスクリフ ター	クリキシハ ン	インビラ ゼ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘ イス					カレトラ	レイアタッ ツ	レクソグア
401	1																							4	556.0	556	556	
402	1																								4	554.0	554	554
403	1																								3	523.0	523	523
404	1																								3	514.0	514	514
405	1																								2	504.0	504	504
406	1																								5	489.0	489	489
407	1																								5	485.0	485	485
408	1																								3	483.0	483	483
409	1																								5	469.0	469	469
410	1																								4	455.0	455	455
411	1																								5	449.0	449	449
412	1																								4	448.0	448	448
413	1																								3	433.0	433	433
414	1																								3	429.0	429	429
415	1																								5	393.0	393	393
416	1																								5	370.0	370	370
417	1																								4	365.0	365	365
418	1																								5	365.0	365	365
419	1																								4	365.0	365	365
420	1																								5	365.0	365	365
421	1																								3	360.0	360	360
422	1																								3	346.0	346	346
423	1																								3	345.0	345	345
424	1																								5	342.0	342	342
425	1																								4	316.0	316	316
426	1																								2	307.0	307	307
427	1																								3	303.0	303	303
428	1																								2	299.0	299	299
429	1																								5	287.0	287	287
430	1																								3	285.0	285	285
431	1																								3	282.0	282	282
432	1																								4	281.0	281	281
433	1																								3	266.0	266	266
434	1																								3	265.0	265	265
435	1																								4	262.0	262	262
436	1																								5	261.0	261	261
437	1																								5	249.0	249	249
438	1																								4	244.0	244	244
439	1																								3	240.0	240	240
440	1																								3	238.0	238	238
441	1																								1	234.0	234	234
442	1																								4	225.0	225	225
443	1																								4	211.0	211	211
444	1																								4	209.0	209	209
445	1																								3	201.0	201	201
446	1																								3	196.0	196	196
447	1																								3	196.0	196	196
448	1																								4	192.0	192	192
449	1																								5	192.0	192	192
450	1																								4	190.0	190	190

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数			
		レトロビル	ウアイデックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エブジコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクシガア
451	1																							5	190.0	190	190	
452	1																								6	189.0	189	189
453	1																								5	187.0	187	187
454	1																								3	184.0	184	184
455	1																								3	184.0	184	184
456	1																								2	183.0	183	183
457	1																								3	183.0	183	183
458	1																								6	173.0	173	173
459	1																								3	170.0	170	170
460	1																								4	170.0	170	170
461	1																								4	170.0	170	170
462	1																								3	164.0	164	164
463	1																								4	163.0	163	163
464	1																								4	162.0	162	162
465	1																								2	161.0	161	161
466	1																								2	161.0	161	161
467	1																								4	161.0	161	161
468	1																								3	158.0	158	158
469	1																								3	157.0	157	157
470	1																								2	157.0	157	157
471	1																								2	155.0	155	155
472	1																								4	151.0	151	151
473	1																								4	144.0	144	144
474	1																								3	142.0	142	142
475	1																								3	139.0	139	139
476	1																								4	137.0	137	137
477	1																								3	133.0	133	133
478	1																								4	132.0	132	132
479	1																								3	132.0	132	132
480	1																								3	130.0	130	130
481	1																								4	128.0	128	128
482	1																								3	128.0	128	128
483	1																								3	127.0	127	127
484	1																								5	126.0	126	126
485	1																								3	125.0	125	125
486	1																								3	124.0	124	124
487	1																								4	123.0	123	123
488	1																								4	121.0	121	121
489	1																								4	117.0	117	117
490	1																								4	116.0	116	116
491	1																								5	114.0	114	114
492	1																								4	111.0	111	111
493	1																								5	110.0	110	110
494	1																								4	110.0	110	110
495	1																								3	107.0	107	107
496	1																								3	103.0	103	103
497	1																								3	95.0	95	95
498	1																								5	92.0	92	92
499	1																								4	91.0	91	91
500	1																								6	91.0	91	91

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数			
		レトロビル	ウアイテックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ビリアード	エブシコム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクソヴァ
501	1																							4	91.0	91	91	
502	1																								5	90.0	90	90
503	1																								5	89.0	89	89
504	1																								3	85.0	85	85
505	1																								3	85.0	85	85
506	1																								4	84.0	84	84
507	1																								5	83.0	83	83
508	1																								5	81.0	81	81
509	1																								4	81.0	81	81
510	1																								3	80.0	80	80
511	1																								3	79.0	79	79
512	1																								2	77.0	77	77
513	1																								4	77.0	77	77
514	1																								5	76.0	76	76
515	1																								4	76.0	76	76
516	1																								5	75.0	75	75
517	1																								4	74.0	74	74
518	1																								3	73.0	73	73
519	1																								3	72.0	72	72
520	1																								5	72.0	72	72
521	1																								4	71.0	71	71
522	1																								2	71.0	71	71
523	1																								4	71.0	71	71
524	1																								4	71.0	71	71
525	1																								3	70.0	70	70
526	1																								5	70.0	70	70
527	1																								3	68.0	68	68
528	1																								4	68.0	68	68
529	1																								4	66.0	66	66
530	1																								3	66.0	66	66
531	1																								5	65.0	65	65
532	1																								4	64.0	64	64
533	1																								4	60.0	60	60
534	1																								4	60.0	60	60
535	1																								2	59.0	59	59
536	1																								4	59.0	59	59
537	1																								4	57.0	57	57
538	1																								3	56.0	56	56
539	1																								3	56.0	56	56
540	1																								5	56.0	56	56
541	1																								3	56.0	56	56
542	1																								3	56.0	56	56
543	1																								4	56.0	56	56
544	1																								3	55.0	55	55
545	1																								3	55.0	55	55
546	1																								3	54.0	54	54
547	1																								5	54.0	54	54
548	1																								4	52.0	52	52
549	1																								4	51.0	51	51
550	1																								4	49.0	49	49

表2 - 0 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症 例 数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数				
		レトロビル	ウアイ テックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビ ル	ザイ ジェン	ビリアード	エプゾコ ム	エムトラバ	ツルバダ	ビラミュー ン	ストックリン	レスクリフ ター	クリキシハ ン	インビラ ゼ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘ イス					カレトラ	レイアタッ ツ	レクシガ ア	
551	1																								4	47.0	47	47	
552	1																									5	45.0	45	45
553	1																									3	43.0	43	43
554	1																									3	42.0	42	42
555	1																									2	39.0	39	39
556	1																									4	38.0	38	38
557	1																									4	38.0	38	38
558	1																									5	36.0	36	36
559	1																									4	35.0	35	35
560	1																									5	35.0	35	35
561	1																									4	33.0	33	33
562	1																									6	32.0	32	32
563	1																									4	30.0	30	30
564	1																									4	30.0	30	30
565	1																									2	29.0	29	29
566	1																									2	29.0	29	29
567	1																									2	28.0	28	28
568	1																									2	28.0	28	28
569	1																									4	28.0	28	28
570	1																									3	28.0	28	28
571	1																									5	28.0	28	28
572	1																									3	28.0	28	28
573	1																									5	27.0	27	27
574	1																									4	26.0	26	26
575	1																									4	25.0	25	25
576	1																									2	24.0	24	24
577	1																									3	24.0	24	24
578	1																									4	22.0	22	22
579	1																									5	22.0	22	22
580	1																									5	21.0	21	21
581	1																									3	21.0	21	21
582	1																									4	20.0	20	20
583	1																									4	20.0	20	20
584	1																									4	19.0	19	19
585	1																									5	19.0	19	19
586	1																									5	19.0	19	19
587	1																									4	18.0	18	18
588	1																									2	18.0	18	18
589	1																									3	16.0	16	16
590	1																									1	15.0	15	15
591	1																									2	15.0	15	15
592	1																									4	15.0	15	15
593	1																									4	15.0	15	15
594	1																									1	14.0	14	14
595	1																									3	14.0	14	14
596	1																									3	14.0	14	14
597	1																									3	14.0	14	14
598	1																									3	13.0	13	13
599	1																									2	13.0	13	13
600	1																									5	13.0	13	13



表2-0-1.抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～2007年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤								非核酸系逆転写酵素阻害剤					プロテアーゼ阻害剤							剤数	平均日数	最小日数	最大日数				
		レトロビル	ウアイデックス	ハイビッド	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイジェン	ピリアード	エブジコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラゼ	ノビア	ビラセプト	プロゼ	フォートヘイス					カレトラ	レイアタック	レクシガア	
601	1																							3	13.0	13	13		
602	1																								3	12.0	12	12	
603	1																								2	12.0	12	12	
604	1																								3	12.0	12	12	
605	1																								4	12.0	12	12	
606	1																								4	12.0	12	12	
607	1																								3	11.0	11	11	
608	1																								6	11.0	11	11	
609	1																								4	10.0	10	10	
610	1																								4	10.0	10	10	
611	1																								6	10.0	10	10	
612	1																								3	10.0	10	10	
613	1																								5	10.0	10	10	
614	1																								4	10.0	10	10	
615	1																								4	10.0	10	10	
616	1																								4	9.0	9	9	
617	1																								5	9.0	9	9	
618	1																								4	9.0	9	9	
619	1																								3	8.0	8	8	
620	1																								5	8.0	8	8	
621	1																								5	8.0	8	8	
622	1																								4	8.0	8	8	
623	1																								2	7.0	7	7	
624	1																								3	7.0	7	7	
625	1																								4	7.0	7	7	
626	1																								4	7.0	7	7	
627	1																								3	7.0	7	7	
628	1																								4	7.0	7	7	
629	1																								4	6.0	6	6	
630	1																								4	6.0	6	6	
631	1																								4	6.0	6	6	
632	1																								4	6.0	6	6	
633	1																								4	5.0	5	5	
634	1																								5	5.0	5	5	
635	1																								4	5.0	5	5	
636	1																								3	4.0	4	4	
637	1																								5	4.0	4	4	
638	1																								4	4.0	4	4	
639	1																								4	4.0	4	4	
640	1																								3	3.0	3	3	
641	1																								3	2.0	2	2	
642	1																								3	2.0	2	2	
643	1																								5	2.0	2	2	
644	1																								3	2.0	2	2	
計		2311502	799093	192656	3745050	1968745	510113	385714	475017	79961	1931	102973	165621	1550776	51	635297	197234	601960	1393828	27549	37248	688865	335317	31920					

計の日数は患者全体の投与日数を示した。  
 注1：調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。  
 注2：1日併用に関しては除外した。

表2 - 0 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:調査開始～2007年3月31日

組合	症 例 数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤 数	平均 日数	最小 日数	最大 日数
		デノシンcap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム				
1	312							1	406.8	2	2892
2	262							1	297.5	2	2269
3	87							1	184.0	2	1100
4	64							1	49.5	2	548
5	43							1	295.0	7	1983
6	34							1	111.2	3	580
7	23							2	103.4	2	302
8	22							2	214.9	7	1026
9	21							2	124.0	2	500
10	19							2	30.7	4	108
11	14							2	27.4	5	64
12	6							2	72.0	13	163
13	1							2	329.0	329	329
14	1							2	149.0	149	149
15	1							3	16.0	16	16
計		23499	4149	6590	132996	83663	12832				

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 1 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：調査開始～1997年10月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								剤数	
		レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイアシエン	ビリアード	エプシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハ	インビラ	ノービア	ピラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ	レイクタツ		レクシヴァ
1	542																								1
2	453																								2
3	285																								3
4	260																								2
5	224																								2
6	174																								1
7	68																								1
8	62																								3
9	60																								2
10	59																								3
11	56																								2
12	54																								1
13	52																								3
14	50																								3
15	40																								3
16	37																								1
17	27																								3
18	26																								2
19	25																								3
20	24																								1
21	23																								2
22	21																								2
23	19																								3
24	18																								3
25	18																								2
26	17																								2
27	15																								3
28	15																								2
29	13																								2
30	12																								3
31	12																								2
32	11																								2
33	11																								3
34	11																								3
35	8																								1
36	7																								2
37	7																								2
38	7																								2
39	6																								3
40	6																								2
計	532704	188704	80233	126060	31715	0	0	0	0	0	0	0	182	0	0	69466	16439	11480	12876	0	0	0	0	0	0

86組中40組のみを限定して表示した。

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 1 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:調査開始～1997年10月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	48							1
2	17							1
3	17							1
4	6							2
5	4							1
6	2							2
計		2466	733	0	10740	783	0	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 2 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：1997年11月1日～1998年10月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤										非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤									剤数			
		レトロビル	グアイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイアシエン	ビリアード	エプシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハ	インビラーゼ	ノービア	ピラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ	レイアタツ		レクシヴァ		
1	415																									3	
2	366																										2
3	239																										3
4	190																										3
5	137																										3
6	111																										2
7	77																										3
8	57																										1
9	51																										2
10	45																										3
11	43																										3
12	41																										2
13	40																										3
14	36																										2
15	31																										3
16	31																										2
17	28																										3
18	28																										4
19	25																										1
20	25																										3
21	25																										1
22	20																										2
23	19																										3
24	19																										3
25	15																										2
26	14																										3
27	13																										1
28	12																										2
29	12																										2
30	10																										3
31	9																										2
32	9																										3
33	9																										3
34	9																										4
35	8																										3
36	8																										3
37	8																										2
38	8																										1
39	7																										2
40	6																										3
計	255309	43190	36613	295962	111681	0	0	0	0	0	0	0	700	0	0	143485	35466	23724	84701	0	0	0	0	0	0	0	3

101組中40組のみを限定して表示した。

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表2 - 2 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:1997年11月1日～1998年10月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	71							1
2	22							1
3	11							1
4	7							1
5	7							2
6	6							2
7	1							2
計		4476	458	0	15526	1567	0	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。



表2 - 3 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:1998年11月1日～2000年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスカビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	94							1
2	23							1
3	14							1
4	14							1
5	8							2
6	5							1
7	5							2
8	5							2
9	3							2
10	1							3
計		5816	1074	0	24752	2764	416	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。



表2 - 4 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：2000年4月1日～2001年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								剤数			
		レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイアシエン	ビリアード	エプシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラーゼ	ノービア	ピラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ	レリアタツ		レクシヴァ		
1	353																									3	
2	221																										3
3	150																										3
4	104																										3
5	75																										2
6	69																										2
7	58																										3
8	51																										3
9	48																										3
10	42																										4
11	38																										2
12	37																										3
13	37																										4
14	36																										4
15	34																										3
16	29																										2
17	20																										4
18	18																										2
19	18																										3
20	15																										4
21	12																										3
22	12																										3
23	12																										4
24	11																										2
25	11																										3
26	10																										3
27	10																										3
28	10																										3
29	9																										3
30	8																										3
31	8																										3
32	8																										2
33	8																										4
34	8																										2
35	7																										3
36	7																										4
37	7																										3
38	6																										3
39	6																										3
40	6																										2
計		161627	56078	13651	326766	235076	26970	16911	0	0	0	0	15644	76841	0	69486	24438	60163	206238	6465	7007	1225	0	0			

181組中40組のみを限定して表示した。

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表2 - 4 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:2000年4月1日 ~ 2001年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	60							1
2	12							1
3	11							1
4	7							1
5	6							1
6	4							2
7	1							2
8	1							2
計		2137	615	0	13523	1207	1085	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 5 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：2001年4月1日～2002年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤										剤数
		レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイアジエン	ビリアード	エプシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシバン	インビラーゼ	ノービア	ピラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ	レイクタツ	レクシヴァ		
1	341																								3	
2	274																								3	
3	199																								3	
4	101																								2	
5	99																								3	
6	70																								3	
7	63																								3	
8	59																								2	
9	53																								4	
10	50																								3	
11	48																								3	
12	40																								3	
13	40																								3	
14	36																								3	
15	28																								4	
16	28																								2	
17	27																								2	
18	24																								2	
19	23																								3	
20	21																								4	
21	19																								3	
22	14																								3	
23	12																								4	
24	11																								2	
25	11																								3	
26	11																								3	
27	11																								3	
28	10																								2	
29	10																								3	
30	10																								4	
31	10																								2	
32	9																								4	
33	9																								3	
34	8																								4	
35	8																								2	
36	8																								3	
37	8																								3	
38	8																								2	
39	8																								3	
40	7																								3	
計		168569	74081	8544	369729	276040	44026	28523	274	0	0	0	19972	157448	0	56676	18587	51728	201074	4837	7431	32562	0	0		

195組中40組のみを限定して表示した。

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 5 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:2001年4月1日 ~ 2002年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスカビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	67							1
2	18							1
3	16							1
4	12							1
5	9							1
6	4							2
7	3							2
8	3							2
9	1							2
計		2828	582	0	15137	2209	2191	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 6 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：2002年4月1日～2003年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								剤数			
		レトロビル	グアイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイアシエン	ビリアード	エプシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハ	インビラーゼ	ノービア	ピラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ	レイアタツ		レクシヴァ		
1	326																									3	
2	276																										3
3	190																										3
4	152																										3
5	131																										2
6	92																										3
7	68																										2
8	55																										3
9	54																										3
10	53																										4
11	52																										3
12	46																										3
13	44																										2
14	43																										3
15	40																										3
16	36																										3
17	35																										3
18	30																										2
19	26																										3
20	25																										3
21	23																										3
22	23																										2
23	23																										2
24	21																										4
25	18																										3
26	15																										2
27	13																										4
28	13																										3
29	13																										3
30	11																										2
31	11																										3
32	11																										3
33	10																										4
34	10																										3
35	10																										3
36	10																										3
37	9																										4
38	9																										3
39	9																										3
40	8																										2
計		182278	95363	5978	392853	283029	69044	48013	6083	0	0	0	24914	225589	41	43691	14224	41231	174666	5676	6615	84708	0	0			

222組中40組のみを限定して表示した。

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表2 - 6 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:2002年4月1日 ~ 2003年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		テノシンcap	ホスカビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	80							1
2	62							1
3	14							1
4	14							1
5	7							2
6	4							2
7	3							2
8	3							1
9	1							2
10	1							2
計		2013	128	0	15781	11130	2378	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 7 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：2003年4月1日～2004年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤										非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤									剤数			
		レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイアジエン	ビリアード	エプシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハン	インビラーゼ	ノービア	ピラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ	レイクタツ		レクシヴァ		
1	318																									3	
2	231																										3
3	187																										3
4	173																										3
5	173																										2
6	132																										3
7	88																										2
8	67																										3
9	44																										3
10	40																										3
11	39																										3
12	39																										3
13	38																										3
14	32																										3
15	30																										3
16	28																										2
17	27																										2
18	26																										2
19	22																										4
20	21																										3
21	20																										2
22	19																										3
23	19																										3
24	19																										3
25	18																										4
26	16																										3
27	16																										3
28	14																										3
29	14																										3
30	13																										3
31	13																										3
32	12																										4
33	11																										2
34	11																										3
35	11																										3
36	10																										3
37	10																										2
38	9																										3
39	9																										2
40	9																										3
計	200558	98744	4579	429997	282220	90168	69728	14313	0	0	0	28951	268079	0	31330	12645	33807	163619	4717	5900	129285	2421	0				

229組中40組のみを限定して表示した。

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表2 - 7 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:2003年4月1日 ~ 2004年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	86							1
2	72							1
3	18							1
4	10							1
5	10							2
6	5							1
7	1							2
計		1992	132	0	16060	16337	3283	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。



表2 - 8 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間：2004年4月1日～2005年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤									剤数			
		レトロビル	グアイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	ザイアシエン	ビリアード	エブシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシハ	インビラ	ノービア	ピラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ	レイアタツ	レクシグア				
1	299																										3	
2	266																											3
3	196																											3
4	195																											3
5	180																											2
6	164																											3
7	157																											3
8	145																											4
9	102																											2
10	102																											3
11	56																											3
12	51																											3
13	48																											3
14	35																											3
15	32																											3
16	31																											3
17	31																											3
18	30																											3
19	30																											4
20	28																											2
21	27																											3
22	27																											3
23	25																											2
24	24																											2
25	23																											2
26	22																											3
27	22																											3
28	20																											3
29	20																											4
30	19																											4
31	17																											3
32	16																											3
33	16																											3
34	14																											3
35	12																											3
36	12																											3
37	12																											3
38	12																											3
39	12																											3
40	12																											3
計	207733	78802	2875	509264	239099	105866	87219	109783	728	0	0	26485	301814	0	17401	11281	63954	138206	3356	5309	159598	70924	136					

273組中40組のみを限定して表示した。

：計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1：調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2：1日併用に関しては除外した。

表2 - 8 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:2004年4月1日 ~ 2005年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスカビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	100							1
2	55							1
3	12							1
4	9							1
5	7							1
6	5							2
7	5							2
8	2							1
9	2							2
10	1							2
計		1739	194	653	11276	19738	2279	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表2 - 9 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間:2005年4月1日 ~ 2006年3月31日

組合	症例数	核酸系逆転写酵素阻害剤										非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤								剤数				
		レトロビル	ザイテックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	サイアジエン	ビリアード	エプジコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシラン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	プローゼ	フォートヘイス	カレトラ		レイアタツ	レクシガア		
1	330																									3	
2	230																										4
3	171																										3
4	154																										2
5	149																										3
6	142																										3
7	135																										3
8	131																										3
9	100																										3
10	97																										2
11	89																										3
12	88																										2
13	86																										3
14	80																										3
15	61																										3
16	60																										2
17	49																										3
18	42																										4
19	34																										4
20	27																										3
21	26																										3
22	26																										4
23	24																										2
24	23																										3
25	22																										2
26	22																										3
27	20																										3
28	20																										2
29	20																										2
30	19																										3
31	19																										3
32	18																										2
33	18																										3
34	16																										3
35	16																										3
36	15																										3
37	15																										3
38	13																										3
39	13																										3
40	13																										3
計	193161	59434	2555	526935	159961	107576	82920	214853	38057	707	32655	23444	312530	10	9689	8450	141713	110085	668	3085	179676	147889	13892				

299組中40組のみを限定して表示した。

計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1: 調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2: 1日併用に関しては除外した。

表2 - 9 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:2005年4月1日 ~ 2006年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	117							1
2	43							1
3	20							1
4	20							2
5	4							1
6	4							2
7	3							1
8	2							2
9	2							1
計		31	218	3262	7902	19739	738	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。







表2 - 10 - 1. 抗HIV薬 使用実態表

投与期間:2006年4月1日 ~ 2007年3月31日

組合	症 例 数	核酸系逆転写酵素阻害剤										非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							劑 数					
		レトロビル	ザイテックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビビル	ザイアシエン	ビリアード	エプジコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシラン	インビラゼ	ノービア	ビラセプト	ブローゼ	フォートヘイズ		カレトラ	レイアタツ	レクシガア		
151	1																									3	
152	1																										5
153	1																										3
154	1																										3
155	1																										3
156	1																										4
157	1																										4
158	1																										3
159	1																										4
160	1																										5
161	1																										2
162	1																										4
163	1																										3
164	1																										4
165	1																										5
166	1																										1
167	1																										3
168	1																										5
169	1																										3
170	1																										3
171	1																										5
172	1																										3
173	1																										5
174	1																										5
175	1																										6
176	1																										4
177	1																										4
178	1																										4
179	1																										4
180	1																										2
181	1																										2
182	1																										4
183	1																										5
184	1																										4
185	1																										4
186	1																										6
計		70057	20414	113	232209	38231	60622	47061	129708	41174	1224	70318	14193	193114	0	474	736	112099	5382	0	142	101806	114080	17892			

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。



表2 - 10 - 2 . HIV関連疾患治療薬 使用実態表

投与期間:2006年4月1日 ~ 2007年3月31日

組合	症例数	抗CMV			抗MAC		体重減少	剤数
		デノシンcap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステイム	
1	47							1
2	14							1
3	11							1
4	6							2
5	2							1
6	1							2
7	1							1
計		0	15	2675	2297	8189	462	

:計の日数は患者全体の投与日数を示した。

注1:調査票に上記薬剤の治験中(承認前)の情報が記載されていた場合、その情報を含め集計した。

注2:1日併用に関しては除外した。

表3. 組合 1

エピビル+ピリアード+ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		374	94	129	25.13%	
性別	男	345	87	121	25.22%	P=1.000
	女	29	7	8	24.14%	
年齢	14歳	1			0.00%	P=0.684
	15歳 64歳	356	91	123	25.56%	
	65歳	17	3	6	17.65%	
人種	日本人	354	89	124	25.14%	P=1.000
	その他	20	5	5	25.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	149	21	26	14.09%	P=0.000 **
	有	225	73	103	32.44%	
併用療法有無	無	354	87	118	24.58%	P=0.296
	有	20	7	11	35.00%	
合併症有無	無	116	25	32	21.55%	P=0.305
	有	258	69	97	26.74%	
合併症肝障害	無	287	65	83	22.65%	P=0.049 *
	有	87	29	46	33.33%	
	肝炎	68	24	40	35.29%	
血友病	無	345	80	102	23.19%	P=0.006 **
	有	29	14	27	48.28%	
	A	26	13	26	50.00%	P=1.000
	B	3	1	1	33.33%	
既往歴有無	無	124	31	47	25.00%	P=1.000
	有	242	61	80	25.21%	
	不明・未記載	8	2	2	25.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	237	44	65	18.57%	P=0.002 **
	有	97	34	43	35.05%	
	不明・未記載	40	16	21	40.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用はありません。  
器官分類別では、10%以上の頻度で副作用が発現していません。  
詳細は次表を参照。

表4. 組合 1

## エピビル + ビリアード + ストックリン併用例の副作用発現状況

調査施設数	49
調査症例数	374
副作用等の発現症例数	94 (25.13%)
副作用等の発現件数	129
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	4例 ( 1.07)
帯状疱疹	1 ( 0.27)
マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス感染	1 ( 0.27)
サイトメガロウイルス血症	1 ( 0.27)
口腔ヘルペス	1 ( 0.27)
血液およびリンパ系障害	1例 ( 0.27)
鉄欠乏性貧血	1 ( 0.27)
代謝および栄養障害	17例 ( 4.55)
糖尿病	2 ( 0.53)
高トリグリセリド血症	4 ( 1.07)
高尿酸血症	2 ( 0.53)
高脂血症	7 ( 1.87)
高アマラーゼ血症	2 ( 0.53)
精神障害	15例 ( 4.01)
異常な夢	2 ( 0.53)
うつ病	4 ( 1.07)
不快気分	1 ( 0.27)
不眠症	7 ( 1.87)
神経症	1 ( 0.27)
悪夢	1 ( 0.27)
自殺企図	1 ( 0.27)
抑うつ症状	1 ( 0.27)
精神症状	1 ( 0.27)
神経系障害	17例 ( 4.55)
小脳出血	1 ( 0.27)
浮動性めまい	10 ( 2.67)
頭部不快感	1 ( 0.27)
神経系障害	1 ( 0.27)
末梢性ニューロパシー	1 ( 0.27)
傾眠	2 ( 0.53)
頸動脈疾患	1 ( 0.27)
血管障害	2例 ( 0.53)
高血圧	2 ( 0.53)
胃腸障害	8例 ( 2.14)
腹部膨満	3 ( 0.80)
下痢	1 ( 0.27)
鼓腸	1 ( 0.27)
悪心	2 ( 0.53)
胃不快感	1 ( 0.27)
腹部症状	1 ( 0.27)
肝胆道系障害	16例 ( 4.28)
肝硬変	1 ( 0.27)
肝機能異常	7 ( 1.87)
劇症肝炎	1 ( 0.27)
肝障害	7 ( 1.87)
皮膚および皮下組織障害	18例 ( 4.81)
さ瘡	1 ( 0.27)
脱毛症	1 ( 0.27)
薬疹	7 ( 1.87)
そう痒症	1 ( 0.27)
発疹	7 ( 1.87)
全身性皮疹	1 ( 0.27)
慢性蕁麻疹	1 ( 0.27)
腎および尿路障害	7例 ( 1.87)
尿路結石	1 ( 0.27)
蛋白尿	1 ( 0.27)
腎障害	2 ( 0.53)
急性腎不全	1 ( 0.27)
腎尿細管障害	2 ( 0.53)
腎機能障害	1 ( 0.27)
生殖系および乳房障害	1例 ( 0.27)
女性化乳房	1 ( 0.27)
全身障害および投与局所様態	3例 ( 0.80)
倦怠感	2 ( 0.53)
発熱	1 ( 0.27)
臨床検査	12例 ( 3.21)
血中クレアチニン増加	1 ( 0.27)
血中トリグリセリド増加	1 ( 0.27)
- galactosyltransferase 増加	4 ( 1.07)
血中アルカリホスファターゼ増加	6 ( 1.60)

傷害、中毒および処置合併症	1例 ( 0.27)
圧迫骨折	1 ( 0.27)

表5. 組合 2

ツルバダ + ノーピア + レイアタツ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		97	25	33	25.77%	(Fisher)
性別	男	87	22	28	25.29%	P=0.714
	女	10	3	5	30.00%	
年齢	14歳	0			-	P=0.567
	15歳 - 64歳	94	25	33	26.60%	
	65歳	3			0.00%	
人種	日本人	92	23	29	25.00%	P=0.601
	その他	5	2	4	40.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	46	11	13	23.91%	P=0.817
	有	51	14	20	27.45%	
併用療法有無	無	94	24	32	25.53%	P=1.000
	有	3	1	1	33.33%	
合併症有無	無	29	10	12	34.48%	P=0.214
	有	68	15	21	22.06%	
合併症肝障害	無	67	18	21	26.87%	P=0.805
	有	30	7	12	23.33%	
	肝炎	27	5	10	18.52%	
血友病	無	83	23	28	27.71%	P=0.509
	有	14	2	5	14.29%	
	A	8	1	1	12.50%	P=1.000
	B	6	1	4	16.67%	
既往歴有無	無	42	10	14	23.81%	P=0.809
	有	51	11	14	21.57%	
	不明・未記載	4	4	5	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	63	16	21	25.40%	P=0.569
	有	23	4	5	17.39%	
	不明・未記載	11	5	7	45.45%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高ビリルビン血症(15.5%)、血中ビリルビン増加(6.2%)があり、器官分類別では、肝胆道系障害(16.5%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

調査施設数	37
調査症例数	97
副作用等の発現症例数	25 (25.77%)
副作用等の発現件数	33
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	1例 (1.03)
高トリアシトリン血症	1 (1.03)
胃腸障害	2例 (2.06)
下痢	1 (1.03)
悪心	1 (1.03)
嘔吐	1 (1.03)
肝胆道系障害	16例 (16.49)
肝機能異常	1 (1.03)
高ビリルビン血症	15 (15.46)
黄疸	1 (1.03)
皮膚および皮下組織障害	3例 (3.09)
脱毛症	1 (1.03)
発疹	1 (1.03)
脂肪肥大症	1 (1.03)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (1.03)
関節痛	1 (1.03)
全身障害および投与局所様態	1例 (1.03)
倦怠感	1 (1.03)
臨床検査	7例 (7.22)
血中ビリルビン増加	6 (6.19)
肝機能検査異常	1 (1.03)

表7. 組合 3

ツルバダ + ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		105	17	24	16.19%	(Fisher)
性別	男	98	15	21	15.31%	P=0.316
	女	7	2	3	28.57%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 64歳	103	17	24	16.50%	
	65歳	2			0.00%	
人種	日本人	97	15	21	15.46%	P=0.613
	その他	8	2	3	25.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	46	4	7	8.70%	P=0.107
	有	59	13	17	22.03%	
併用療法有無	無	101	16	23	15.84%	P=0.512
	有	4	1	1	25.00%	
合併症有無	無	32	5	7	15.63%	P=1.000
	有	73	12	17	16.44%	
合併症肝障害	無	76	13	17	17.11%	P=0.775
	有	29	4	7	13.79%	
	肝炎	20	2	4	10.00%	
血友病	無	96	16	21	16.67%	P=1.000
	有	9	1	3	11.11%	
	A	6	1	3	16.67%	P=1.000
	B	3			0.00%	
既往歴有無	無	46	11	15	23.91%	P=0.115
	有	53	6	9	11.32%	
	不明・未記載	6			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	62	13	19	20.97%	P=0.247
	有	31	3	4	9.68%	
	不明・未記載	12	1	1	8.33%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用はありません。

器官分類別では、10%以上の頻度で副作用が発現していません。

詳細は次表を参照。

## ツルバダ + ストックリン併用例の副作用発現状況

調査施設数	31
調査症例数	105
副作用等の発現症例数	17 (16.19%)
副作用等の発現件数	24
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (0.95)
足部白癬	1 (0.95)
精神障害	1例 (0.95)
不眠症	1 (0.95)
神経系障害	3例 (2.86)
浮動性めまい	2 (1.90)
味覚異常	1 (0.95)
神経系障害	1 (0.95)
胃腸障害	2例 (1.90)
腹部膨満	1 (0.95)
口内乾燥	1 (0.95)
肝胆道系障害	2例 (1.90)
脂肪肝	1 (0.95)
肝障害	1 (0.95)
皮膚および皮下組織障害	7例 (6.67)
紅斑	1 (0.95)
そう痒症	1 (0.95)
発疹	2 (1.90)
全身性皮疹	1 (0.95)
蕁麻疹	2 (1.90)
色素沈着障害	1 (0.95)
臨床検査	4例 (3.81)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	1 (0.95)
-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.95)
白血球数減少	1 (0.95)
血中アルカリホスファターゼ増加	2 (1.90)
尿沈渣異常	1 (0.95)

表9. 組合 4

エピビル+ピリアード+ノーピア+レイアタツ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		250	89	121	35.60%	(Fisher)
性別	男	224	84	116	37.50%	P=0.083
	女	26	5	5	19.23%	
年齢	14歳	0			-	P=0.426
	15歳 64歳	244	88	120	36.07%	
	65歳	6	1	1	16.67%	
人種	日本人	235	85	117	36.17%	P=0.583
	その他	15	4	4	26.67%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	94	30	39	31.91%	P=0.413
	有	156	59	82	37.82%	
併用療法有無	無	240	85	116	35.42%	P=0.747
	有	10	4	5	40.00%	
合併症有無	無	81	33	50	40.74%	P=0.261
	有	169	56	71	33.14%	
合併症肝障害	無	197	68	92	34.52%	P=0.520
	有	53	21	29	39.62%	
	肝炎	48	20	28	41.67%	
血友病	無	224	80	110	35.71%	P=1.000
	有	26	9	11	34.62%	
	A	22	9	11	40.91%	P=0.263
	B	4			0.00%	
既往歴有無	無	88	32	39	36.36%	P=0.782
	有	156	54	78	34.62%	
	不明・未記載	6	3	4	50.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	154	43	53	27.92%	P=0.004 **
	有	68	33	45	48.53%	
	不明・未記載	28	13	23	46.43%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高ビリルビン血症(18.0%)、血中ビリルビン増加(7.6%)があり、  
器官分類別では、肝胆道系障害(18.8%)、臨床検査(10.4%)において、  
10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。



表10. 組合 4 エピビル+ピリアード+ノービア+レイアタツ併用例の副作用発現状況

調査施設数	30
調査症例数	250
副作用等の発現症例数	89 (35.60%)
副作用等の発現件数	121
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	4例 (1.60)
帯状疱疹	3 (1.20)
爪白癬	1 (0.40)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリフを含む)	1例 (0.40)
リンパ腫	1 (0.40)
血液およびリンパ系障害	1例 (0.40)
リンパ節症	1 (0.40)
免疫系障害	1例 (0.40)
薬物過敏症	1 (0.40)
代謝および栄養障害	8例 (3.20)
高血糖	1 (0.40)
高乳酸血症	1 (0.40)
高トリグリセリド血症	3 (1.20)
高尿酸血症	1 (0.40)
高脂血症	2 (0.80)
精神障害	2例 (0.80)
抑うつ気分	1 (0.40)
不安障害	1 (0.40)
神経系障害	3例 (1.20)
感覚鈍麻	1 (0.40)
傾眠	2 (0.80)
胃腸障害	9例 (3.60)
腹部不快感	1 (0.40)
腹部膨満	2 (0.80)
下痢	2 (0.80)
鼓腸	1 (0.40)
悪心	4 (1.60)
腹部症状	1 (0.40)
肝胆道系障害	47例 (18.80)
肝機能異常	3 (1.20)
高ビリルビン血症	45 (18.00)
肝障害	1 (0.40)
皮膚および皮下組織障害	7例 (2.80)
薬疹	2 (0.80)
湿疹	1 (0.40)
脂肪組織萎縮症	1 (0.40)
発疹	3 (1.20)
腎および尿路障害	2例 (0.80)
腎尿管障害	1 (0.40)
腎機能障害	1 (0.40)
全身障害および投与局所様態	3例 (1.20)
胸痛	1 (0.40)
倦怠感	2 (0.80)
臨床検査	26例 (10.40)
尿中ミクログロブリン増加	3 (1.20)
血中ビリルビン増加	19 (7.60)
血中クレアチニン増加	1 (0.40)
血中ブドウ糖増加	1 (0.40)
血中トリグリセリド増加	1 (0.40)
血中尿酸増加	1 (0.40)
肝機能検査異常	1 (0.40)
腎機能検査異常	1 (0.40)
尿沈渣異常	1 (0.40)

表11. 組合 5

コンピビル+ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		279	122	218	43.73%	(Fisher)
性別	男	264	117	209	44.32%	P=0.438
	女	15	5	9	33.33%	
年齢	14歳	0			-	P=0.190
	15歳 64歳	277	120	214	43.32%	
	65歳	2	2	4	100.00%	
人種	日本人	253	113	205	44.66%	P=0.408
	その他	26	9	13	34.62%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	107	39	57	36.45%	P=0.063
	有	172	83	161	48.26%	
併用療法有無	無	265	117	207	44.15%	P=0.592
	有	14	5	11	35.71%	
合併症有無	無	127	56	93	44.09%	P=1.000
	有	152	66	125	43.42%	
合併症肝障害	無	232	100	169	43.10%	P=0.747
	有	47	22	49	46.81%	
	肝炎	35	14	23	40.00%	
血友病	無	273	120	212	43.96%	P=0.699
	有	6	2	6	33.33%	
	A	5	2	6	40.00%	P=1.000
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	135	58	97	42.96%	P=0.902
	有	135	60	113	44.44%	
	不明・未記載	9	4	8	44.44%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	173	67	118	38.73%	P=0.003 **
	有	71	43	81	60.56%	
	不明・未記載	35	12	19	34.29%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(10.8%)、発疹(6.5%)、貧血(6.5%)、悪心(6.1%)があり、器官分類別では、胃腸障害(12.5%)、神経系障害(12.2%)、皮膚および皮下組織障害(10.8%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

表12. 組合 5

## コンビビル + ストックリン併用例の副作用発現状況

調査施設数	34
調査症例数	279
副作用等の発現症例数	122 (43.73%)
副作用等の発現件数	218
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	4例 (1.43)
帯状疱疹	2 (0.72)
結核性胸膜炎	1 (0.36)
サイトメガロウイルス性脈絡網膜炎	1 (0.36)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリフを含む)	2例 (0.72)
カサノ肉腫	1 (0.36)
前立腺癌	1 (0.36)
血液およびリンパ系障害	20例 (7.17)
貧血	18 (6.45)
鉄欠乏性貧血	1 (0.36)
汎血球減少症	1 (0.36)
免疫系障害	1例 (0.36)
過敏症	1 (0.36)
内分泌障害	1例 (0.36)
甲状腺機能低下症	1 (0.36)
代謝および栄養障害	16例 (5.73)
食欲不振	3 (1.08)
糖尿病	3 (1.08)
高コレステロール血症	2 (0.72)
高トリグリセリド血症	2 (0.72)
高脂血症	7 (2.51)
やせ	1 (0.36)
精神障害	9例 (3.23)
異常な夢	3 (1.08)
不安	1 (0.36)
不眠症	4 (1.43)
神経症	1 (0.36)
神経系障害	34例 (12.19)
注意力障害	1 (0.36)
浮動性めまい	30 (10.75)
味覚異常	1 (0.36)
顔面神経麻痺	1 (0.36)
頭痛	2 (0.72)
感覚鈍麻	1 (0.36)
神経痛	1 (0.36)
傾眠	2 (0.72)
耳および迷路障害	1例 (0.36)
回転性めまい	1 (0.36)
心臓障害	1例 (0.36)
狭心症	1 (0.36)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (0.36)
喘鳴	1 (0.36)
胃腸障害	35例 (12.54)
腹部膨満	4 (1.43)
上腹部痛	2 (0.72)
便秘	2 (0.72)
下痢	5 (1.79)
消化不良	3 (1.08)
胃炎	5 (1.79)
吐血	1 (0.36)
血便排泄	1 (0.36)
悪心	17 (6.09)
急性膵炎	1 (0.36)
胃不快感	2 (0.72)
肝胆道系障害	11例 (3.94)
肝機能異常	8 (2.87)
脂肪肝	1 (0.36)
肝障害	2 (0.72)
皮膚および皮下組織障害	30例 (10.75)
円形脱毛症	1 (0.36)
薬疹	6 (2.15)
湿疹	1 (0.36)
光線過敏性反応	1 (0.36)
発疹	18 (6.45)
後天性ポシトロフィー	1 (0.36)
全身紅斑	1 (0.36)
全身性そう痒症	2 (0.72)
好酸球性膿疱性毛包炎	1 (0.36)

筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.36)
筋痛	1 (0.36)
全身障害および投与局所様態	8例 (2.87)
熱感	2 (0.72)
倦怠感	5 (1.79)
末梢性浮腫	1 (0.36)
臨床検査	18例 (6.45)
アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加	2 (0.72)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	2 (0.72)
血中乳酸脱水素酵素増加	2 (0.72)
血中トリグリセリド増加	1 (0.36)
血中尿酸増加	1 (0.36)
-グルタミントランスフェラーゼ増加	4 (1.43)
ヘモグロビン減少	2 (0.72)
血小板数減少	1 (0.36)
赤血球数減少	2 (0.72)
体重減少	1 (0.36)
白血球数減少	7 (2.51)
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (0.36)

表13. 組合 6

レトロビル+エピビル+ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		316	118	212	37.34%	(Fisher)
性別	男	279	104	187	37.28%	P=1.000
	女	37	14	25	37.84%	
年齢	14歳	0			-	P=0.509
	15歳 64歳	306	113	204	36.93%	
	65歳	10	5	8	50.00%	
人種	日本人	299	111	199	37.12%	P=0.799
	その他	17	7	13	41.18%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	87	29	48	33.33%	P=0.435
	有	229	89	164	38.86%	
併用療法有無	無	301	113	199	37.54%	P=1.000
	有	15	5	13	33.33%	
合併症有無	無	111	36	56	32.43%	P=0.223
	有	205	82	156	40.00%	
合併症肝障害	無	249	90	150	36.14%	P=0.397
	有	67	28	62	41.79%	
	肝炎	54	22	53	40.74%	
血友病	無	290	107	179	36.90%	P=0.673
	有	26	11	33	42.31%	
	A	21	7	22	33.33%	P=0.128
	B	5	4	11	80.00%	
既往歴有無	無	129	49	93	37.98%	P=0.721
	有	178	64	110	35.96%	
	不明・未記載	9	5	9	55.56%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	224	74	131	33.04%	P=0.089
	有	70	31	58	44.29%	
	不明・未記載	22	13	23	59.09%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には貧血(6.3%)があり、  
器官分類別では、皮膚および皮下組織障害(10.1%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。

表14. 組合 6

## レトロビル+エピビル+ストックリン併用例の副作用発現状況

調査施設数	46
調査症例数	316
副作用等の発現症例数	118 (37.34%)
副作用等の発現件数	212
副作用等の種類 例数(%)	
感染症および寄生虫症	2例 (0.63)
C型肝炎	1 (0.32)
帯状疱疹	1 (0.32)
血液およびリンパ系障害	27例 (8.54)
貧血	20 (6.33)
大球性貧血	1 (0.32)
赤血球減少症	1 (0.32)
顆粒球減少症	1 (0.32)
白血球減少症	1 (0.32)
好中球減少症	2 (0.63)
出血性素因	1 (0.32)
骨髄機能不全	1 (0.32)
内分泌障害	2例 (0.63)
ハセドウ病	1 (0.32)
甲状腺炎	1 (0.32)
代謝および栄養障害	20例 (6.33)
糖尿病	1 (0.32)
高コレステロール血症	2 (0.63)
高トリグリセリド血症	2 (0.63)
高尿酸血症	2 (0.63)
体脂肪異常	1 (0.32)
高脂血症	15 (4.75)
精神障害	21例 (6.65)
異常な夢	2 (0.63)
妄想	1 (0.32)
抑うつ気分	1 (0.32)
うつ病	1 (0.32)
幻聴	1 (0.32)
不眠症	7 (2.22)
気分変動	1 (0.32)
悪夢	8 (2.53)
統合失調症	1 (0.32)
不安障害	1 (0.32)
神経系障害	18例 (5.70)
脳梗塞	1 (0.32)
浮動性めまい	15 (4.75)
味覚異常	1 (0.32)
頭痛	2 (0.63)
感覚鈍麻	1 (0.32)
傾眠	3 (0.95)
耳および迷路障害	1例 (0.32)
回転性めまい	1 (0.32)
血管障害	2例 (0.63)
高血圧	1 (0.32)
四肢静脈血栓症	1 (0.32)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	2例 (0.63)
喘息	1 (0.32)
肺塞栓症	1 (0.32)
胃腸障害	10例 (3.16)
下痢	1 (0.32)
胃炎	3 (0.95)
胃腸障害	1 (0.32)
悪心	5 (1.58)
胃不快感	1 (0.32)
口内炎	1 (0.32)
心窩部不快感	1 (0.32)
肝胆道系障害	15例 (4.75)
肝機能異常	7 (2.22)
肝障害	8 (2.53)
皮膚および皮下組織障害	32例 (10.13)
脱毛症	1 (0.32)
薬疹	10 (3.16)
湿疹	1 (0.32)
そう痒症	1 (0.32)
発疹	15 (4.75)
全身性皮疹	1 (0.32)
蕁麻疹	1 (0.32)
後天性ポックストローフ	1 (0.32)
中毒性皮疹	1 (0.32)

筋骨格系および結合組織障害	2例 (0.63)
関節炎	1 (0.32)
横紋筋融解	1 (0.32)
腎および尿路障害	1例 (0.32)
腎機能障害	1 (0.32)
全身障害および投与局所様態	8例 (2.53)
無力症	1 (0.32)
胸部不快感	2 (0.63)
異常感	1 (0.32)
易刺激性	1 (0.32)
多臓器不全	1 (0.32)
末梢性浮腫	1 (0.32)
発熱	2 (0.63)
臨床検査	28例 (8.86)
アラニン・アミトランスフェラーゼ増加	1 (0.32)
血中コレステロール増加	2 (0.63)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (0.32)
血中乳酸増加	1 (0.32)
血中トリグリセリド増加	8 (2.53)
血中尿酸増加	1 (0.32)
-グルタミルトランスフェラーゼ増加	9 (2.85)
ヘモグロビン減少	2 (0.63)
血小板数減少	1 (0.32)
白血球数減少	5 (1.58)
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (0.32)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (0.32)
腰椎骨折	1 (0.32)

表15. 組合 7

エブリコム + ノーピア + レイアタツ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		81	38	51	46.91%	(Fisher)
性別	男	71	34	47	47.89%	P=0.743
	女	10	4	4	40.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 - 64歳	81	38	51	46.91%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	79	36	49	45.57%	P=0.217
	その他	2	2	2	100.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	35	14	17	40.00%	P=0.369
	有	46	24	34	52.17%	
併用療法有無	無	79	37	47	46.84%	P=1.000
	有	2	1	4	50.00%	
合併症有無	無	31	12	14	38.71%	P=0.262
	有	50	26	37	52.00%	
合併症肝障害	無	66	30	40	45.45%	P=0.775
	有	15	8	11	53.33%	
	肝炎	10	7	10	70.00%	
血友病	無	76	35	45	46.05%	P=0.661
	有	5	3	6	60.00%	
	A	5	3	6	60.00%	-
	B	0			-	
既往歴有無	無	23	5	5	21.74%	P=0.006 **
	有	57	33	46	57.89%	
	不明・未記載	1			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	31	10	15	32.26%	P=0.084
	有	36	20	25	55.56%	
	不明・未記載	14	8	11	57.14%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には血中ビリルビン増加(29.6%)があり、  
器官分類別では、臨床検査(37.0%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。

表16. 組合 7

## エブジコム + ノービア + レイアタツ併用例の副作用発現状況

調査施設数	15
調査症例数	81
副作用等の発現症例数	38 (46.91%)
副作用等の発現件数	51
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	4例 (4.94)
高脂血症	4 (4.94)
精神障害	1例 (1.23)
不眠症	1 (1.23)
神経系障害	2例 (2.47)
脳梗塞	1 (1.23)
頭痛	1 (1.23)
心臓障害	1例 (1.23)
第一度房室ブロック	1 (1.23)
胃腸障害	2例 (2.47)
悪心	1 (1.23)
胃不快感	1 (1.23)
肝胆道系障害	5例 (6.17)
肝機能異常	1 (1.23)
高ビリルビン血症	4 (4.94)
皮膚および皮下組織障害	2例 (2.47)
発疹	2 (2.47)
腎および尿路障害	1例 (1.23)
腎機能障害	1 (1.23)
全身障害および投与局所様態	1例 (1.23)
倦怠感	1 (1.23)
臨床検査	30例 (37.04)
血中ビリルビン増加	24 (29.63)
血中トリグリセド増加	2 (2.47)
血中尿酸増加	3 (3.70)
-カルタミトランスフェラーゼ増加	2 (2.47)
血小板数減少	1 (1.23)

表17. 組合 8

レトロビル+エピビル+カレトラ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		150	51	88	34.00%	(Fisher)
性別	男	131	46	80	35.11%	P=0.606
	女	19	5	8	26.32%	
年齢	14歳	3			0.00%	P=0.259
	15歳 64歳	144	49	84	34.03%	
	65歳	3	2	4	66.67%	
人種	日本人	132	46	79	34.85%	P=0.609
	その他	18	5	9	27.78%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	45	10	14	22.22%	P=0.060
	有	105	41	74	39.05%	
併用療法有無	無	142	45	77	31.69%	P=0.019 *
	有	8	6	11	75.00%	
合併症有無	無	45	18	28	40.00%	P=0.349
	有	105	33	60	31.43%	
合併症肝障害	無	119	41	72	34.45%	P=1.000
	有	31	10	16	32.26%	
	肝炎	26	9	15	34.62%	
血友病	無	135	48	85	35.56%	P=0.267
	有	15	3	3	20.00%	
	A	11	3	3	27.27%	P=0.516
	B	4			0.00%	
既往歴有無	無	63	21	38	33.33%	P=0.862
	有	83	29	49	34.94%	
	不明・未記載	4	1	1	25.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	95	31	60	32.63%	P=0.838
	有	37	13	17	35.14%	
	不明・未記載	18	7	11	38.89%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症(9.3%)、下痢(6.0%)、貧血(5.3%)があり、  
 器官分類別では、代謝および栄養障害(11.3%)、胃腸障害(10.0%)、臨床検査(10.0%)において、  
 10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
 詳細は次表を参照。



調査施設数	38
調査症例数	150
副作用等の発現症例数	51 (34.00%)
副作用等の発現件数	88
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (0.67)
鼻咽頭炎	1 (0.67)
血液およびリンパ系障害	11例 (7.33)
貧血	8 (5.33)
大球性貧血	1 (0.67)
白血球減少症	1 (0.67)
好中球減少症	1 (0.67)
汎血球減少症	1 (0.67)
骨髄機能不全	1 (0.67)
内分泌障害	1例 (0.67)
甲状腺機能亢進症	1 (0.67)
代謝および栄養障害	17例 (11.33)
糖尿病	1 (0.67)
高血糖	1 (0.67)
高トリグリセリド血症	2 (1.33)
低カルシウム血症	1 (0.67)
高脂血症	14 (9.33)
精神障害	1例 (0.67)
不快気分	1 (0.67)
神経系障害	2例 (1.33)
頭痛	1 (0.67)
麻痺	1 (0.67)
心臓障害	2例 (1.33)
急性心筋梗塞	1 (0.67)
左室不全	1 (0.67)
心筋梗塞	1 (0.67)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (0.67)
肺水腫	1 (0.67)
胃腸障害	15例 (10.00)
下痢	9 (6.00)
悪心	6 (4.00)
膵炎	1 (0.67)
再発性膵炎	1 (0.67)
嘔吐	1 (0.67)
肝胆道系障害	5例 (3.33)
アルコール性肝疾患	1 (0.67)
胆石症	1 (0.67)
肝機能異常	2 (1.33)
肝障害	1 (0.67)
皮膚および皮下組織障害	3例 (2.00)
発疹	2 (1.33)
後天性リポシトローピー	1 (0.67)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (0.67)
筋炎	1 (0.67)
臨床検査	15例 (10.00)
血中トリグリセリド増加	7 (4.67)
血中尿酸増加	1 (0.67)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	1 (0.67)
尿中ブドウ糖陽性	1 (0.67)
ヘモグロビン減少	3 (2.00)
血小板数減少	1 (0.67)
赤血球数減少	2 (1.33)
白血球数減少	1 (0.67)
血中アルカリホスファターゼ増加	2 (1.33)
傷害、中毒および処置合併症	1例 (0.67)
腰椎骨折	1 (0.67)

コンピビル+カレトラ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		175	75	115	42.86%	(Fisher)
性別	男	169	71	109	42.01%	P=0.404
	女	6	4	6	66.67%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	175	75	115	42.86%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	157	71	110	45.22%	P=0.079
	その他	18	4	5	22.22%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	40	12	15	30.00%	P=0.070
	有	135	63	100	46.67%	
併用療法有無	無	174	74	114	42.53%	P=0.429
	有	1	1	1	100.00%	
合併症有無	無	70	34	50	48.57%	P=0.218
	有	105	41	65	39.05%	
合併症肝障害	無	152	66	102	43.42%	P=0.822
	有	23	9	13	39.13%	
	肝炎	18	6	9	33.33%	
血友病	無	171	73	112	42.69%	P=1.000
	有	4	2	3	50.00%	
	A	3	1	2	33.33%	P=1.000
	B	1	1	1	100.00%	
既往歴有無	無	64	23	36	35.94%	P=0.201
	有	106	50	75	47.17%	
	不明・未記載	5	2	4	40.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	86	29	45	33.72%	P=0.055
	有	57	29	42	50.88%	
	不明・未記載	32	17	28	53.13%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢(13.1%)、悪心(11.4%)、高脂血症(6.9%)があり、  
器官分類別では、胃腸障害(21.1%)、代謝および栄養障害(14.9%)において、  
10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。

## コンビビル + カレトラ併用例の副作用発現状況

調査施設数	20
調査症例数	175
副作用等の発現症例数	75 (42.86%)
副作用等の発現件数	115
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	3例 (1.71)
帯状疱疹	3 (1.71)
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリ-ブを含む)	1例 (0.57)
カシ肉腫	1 (0.57)
血液およびリンパ系障害	8例 (4.57)
貧血	7 (4.00)
好中球減少症	1 (0.57)
代謝および栄養障害	26例 (14.86)
食欲不振	1 (0.57)
高コレステロール血症	4 (2.29)
高トリグリセリド血症	7 (4.00)
高尿酸血症	2 (1.14)
高脂血症	12 (6.86)
中心性肥満	1 (0.57)
精神障害	1例 (0.57)
うつ病	1 (0.57)
神経系障害	1例 (0.57)
感覚鈍麻	1 (0.57)
心臓障害	1例 (0.57)
動悸	1 (0.57)
頻脈	1 (0.57)
血管障害	1例 (0.57)
高血圧	1 (0.57)
胃腸障害	37例 (21.14)
下痢	23 (13.14)
胃炎	1 (0.57)
胃腸障害	1 (0.57)
悪心	20 (11.43)
膵炎	1 (0.57)
逆流性食道炎	2 (1.14)
嘔吐	2 (1.14)
肝胆道系障害	3例 (1.71)
肝機能異常	3 (1.71)
皮膚および皮下組織障害	2例 (1.14)
光線過敏性反応	1 (0.57)
発疹	1 (0.57)
全身障害および投与局所様態	4例 (2.29)
倦怠感	2 (1.14)
疼痛	1 (0.57)
発熱	1 (0.57)
臨床検査	9例 (5.14)
血中トリグリセリド増加	2 (1.14)
血中尿酸増加	1 (0.57)
ヘモグロビン減少	5 (2.86)
血小板数減少	1 (0.57)
赤血球数減少	1 (0.57)
白血球数減少	2 (1.14)

表21. 組合 10

エビピル + ピリアード + カレトラ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		97	26	39	26.80%	(Fisher)
性別	男	91	25	38	27.47%	P=1.000
	女	6	1	1	16.67%	
年齢	14歳	0			-	P=0.268
	15歳 64歳	96	25	38	26.04%	
	65歳	1	1	1	100.00%	
人種	日本人	91	26	39	28.57%	P=0.187
	その他	6			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	23	3	4	13.04%	P=0.110
	有	74	23	35	31.08%	
併用療法有無	無	96	25	37	26.04%	P=0.268
	有	1	1	2	100.00%	
合併症有無	無	22	6	7	27.27%	P=1.000
	有	75	20	32	26.67%	
合併症肝障害	無	57	13	17	22.81%	P=0.354
	有	40	13	22	32.50%	
	肝炎	36	10	16	27.78%	
血友病	無	75	20	29	26.67%	P=1.000
	有	22	6	10	27.27%	
	A	17	6	10	35.29%	P=0.266
	B	5			0.00%	
既往歴有無	無	41	11	16	26.83%	P=1.000
	有	53	15	23	28.30%	
	不明・未記載	3			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	56	14	21	25.00%	P=0.318
	有	28	10	16	35.71%	
	不明・未記載	13	2	2	15.38%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用はありません。

器官分類別では、10%以上の頻度で副作用が発現していません。

詳細は次表を参照。

調査施設数	29
調査症例数	97
副作用等の発現症例数	26 (26.80%)
副作用等の発現件数	39
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	2例 (2.06)
敗血症性ショック	1 (1.03)
サイトメガロウイルス性脈絡網膜炎	1 (1.03)
ブドウ球菌感染	1 (1.03)
内分泌障害	1例 (1.03)
甲状腺機能亢進症	1 (1.03)
代謝および栄養障害	9例 (9.28)
高乳酸血症	1 (1.03)
高トリグリセリド血症	4 (4.12)
高尿酸血症	1 (1.03)
高脂血症	3 (3.09)
神経系障害	1例 (1.03)
感覚鈍麻	1 (1.03)
胃腸障害	5例 (5.15)
腹部膨満	1 (1.03)
下痢	4 (4.12)
悪心	1 (1.03)
肝胆道系障害	2例 (2.06)
肝機能異常	2 (2.06)
皮膚および皮下組織障害	1例 (1.03)
そう痒症	1 (1.03)
筋骨格系および結合組織障害	2例 (2.06)
関節硬直	1 (1.03)
椎間板突出	1 (1.03)
腎および尿路障害	3例 (3.09)
腎機能障害	3 (3.09)
全身障害および投与局所様態	1例 (1.03)
顔面浮腫	1 (1.03)
臨床検査	7例 (7.22)
2-マイクログロブリン増加	1 (1.03)
血中アマラーゼ増加	1 (1.03)
血中コレステロール増加	1 (1.03)
血中トリグリセリド増加	2 (2.06)
γ-グロブリン増加	2 (2.06)
血小板数減少	1 (1.03)
白血球数減少	1 (1.03)
肝酵素上昇	1 (1.03)

表23. 組合 11

エピビル+ゼリット+ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		557	303	625	54.40%	(Fisher)
性別	男	484	264	559	54.55%	P=0.900
	女	73	39	66	53.42%	
年齢	14歳	0			-	P=0.802
	15歳 64歳	541	295	608	54.53%	
	65歳	16	8	17	50.00%	
人種	日本人	516	282	585	54.65%	P=0.745
	その他	41	21	40	51.22%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	134	58	101	43.28%	P=0.004 **
	有	423	245	524	57.92%	
併用療法有無	無	509	280	581	55.01%	P=0.366
	有	48	23	44	47.92%	
合併症有無	無	135	65	137	48.15%	P=0.112
	有	422	238	488	56.40%	
合併症肝障害	無	421	228	455	54.16%	P=0.921
	有	136	75	170	55.15%	
	肝炎	116	62	145	53.45%	
血友病	無	504	270	553	53.57%	P=0.248
	有	53	33	72	62.26%	
	A	40	25	54	62.50%	P=1.000
	B	13	8	18	61.54%	
既往歴有無	無	167	91	188	54.49%	P=0.926
	有	376	203	420	53.99%	
	不明・未記載	14	9	17	64.29%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	369	188	345	50.95%	P=0.019 *
	有	132	83	207	62.88%	
	不明・未記載	56	32	73	57.14%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症(8.8%)、浮動性めまい(7.5%)、肝機能異常(5.0%)があり、器官分類別では、代謝および栄養障害(17.8%)、神経系障害(16.0%)、皮膚および皮下組織障害(14.2%)、臨床検査(13.1%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

調査施設数	50		
調査症例数	557		
副作用等の発現症例数	303 (54.40%)		
副作用等の発現件数	625		
副作用等の種類		例数(%)	
<b>感染症および寄生虫症</b>		15例 (2.69)	
毛包炎	1 (0.18)		
単純ヘルペス	1 (0.18)		
帯状疱疹	4 (0.72)		
肛門周囲膿瘍	1 (0.18)		
進行性多巣性白質脳症	1 (0.18)		
ブドウ球菌性膿瘍	1 (0.18)		
サイトメガロウイルス性脈絡網膜炎	3 (0.54)		
非定型マイコプラズマ感染	1 (0.18)		
肝アメーバ症	1 (0.18)		
ニューモシスティシロウエイ肺炎	1 (0.18)		
口腔ヘルペス	1 (0.18)		
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリフを含む)		2例 (0.36)	
ホリフ肉腫	2 (0.36)		
<b>血液およびリンパ系障害</b>		15例 (2.69)	
貧血	9 (1.62)		
好酸球増加症	1 (0.18)		
赤血球減少症	1 (0.18)		
リンパ節症	1 (0.18)		
好中球減少症	1 (0.18)		
汎血球減少症	2 (0.36)		
<b>免疫系障害</b>		1例 (0.18)	
免疫再構築症候群	1 (0.18)		
<b>内分泌障害</b>		2例 (0.36)	
ハセリ病	1 (0.18)		
甲状腺機能低下症	1 (0.18)		
<b>代謝および栄養障害</b>		99例 (17.77)	
糖尿病	6 (1.08)		
インスリン依存性糖尿病	1 (0.18)		
痛風	1 (0.18)		
高カルシウム血症	1 (0.18)		
高コレステロール血症	8 (1.44)		
高血糖	2 (0.36)		
高乳酸血症	27 (4.85)		
高トリグリセリド血症	13 (2.33)		
高尿酸血症	7 (1.26)		
乳酸アシドーシス	5 (0.90)		
高脂血症	49 (8.80)		
高アマラーゼ血症	2 (0.36)		
やせ	1 (0.18)		
<b>精神障害</b>		37例 (6.64)	
異常な夢	6 (1.08)		
無感情	1 (0.18)		
抑うつ気分	1 (0.18)		
うつ病	4 (0.72)		
幻覚	2 (0.36)		
不眠症	12 (2.15)		
躁病	1 (0.18)		
気分変動	1 (0.18)		
悪夢	8 (1.44)		
睡眠障害	2 (0.36)		
心身症	1 (0.18)		
精神障害	1 (0.18)		
適応障害	1 (0.18)		
精神病性障害	1 (0.18)		
<b>神経系障害</b>		89例 (15.98)	
意識変容状態	1 (0.18)		
健忘	1 (0.18)		
脳梗塞	1 (0.18)		
痙攣	2 (0.36)		
注意力障害	2 (0.36)		
浮動性めまい	42 (7.54)		
味覚異常	4 (0.72)		
頭痛	1 (0.18)		
感覚鈍麻	25 (4.49)		
神経系障害	4 (0.72)		
ニューロミオパシー	1 (0.18)		
末梢性ニューロパシー	8 (1.44)		
多発ニューロパシー	1 (0.18)		
傾眠	5 (0.90)		
会話障害	1 (0.18)		
睡眠の質低下	2 (0.36)		
<b>眼障害</b>		1例 (0.18)	
黄斑浮腫	1 (0.18)		
硝子体混濁	1 (0.18)		
<b>耳および迷路障害</b>		2例 (0.36)	
耳鳴	1 (0.18)		
回転性めまい	1 (0.18)		
<b>心臓障害</b>		4例 (0.72)	
急性心筋梗塞	1 (0.18)		
左室不全	1 (0.18)		
動悸	1 (0.18)		
頻脈	1 (0.18)		
<b>血管障害</b>		2例 (0.36)	
高血圧	2 (0.36)		
<b>胃腸障害</b>		18例 (3.23)	
腹水	1 (0.18)		
口唇炎	1 (0.18)		
下痢	2 (0.36)		
出血性十二指腸潰瘍	1 (0.18)		
消化不良	3 (0.54)		
胃潰瘍	1 (0.18)		
胃炎	1 (0.18)		
悪心	4 (0.72)		
急性膵炎	1 (0.18)		
出血性膵炎	1 (0.18)		
肛門周囲痛	1 (0.18)		
逆流性食道炎	1 (0.18)		
胃不快感	1 (0.18)		
<b>肝胆道系障害</b>		46例 (8.26)	
胆石症	1 (0.18)		
胆汁うっ滞	1 (0.18)		
肝不全	1 (0.18)		
肝機能異常	28 (5.03)		
脂肪肝	3 (0.54)		
肝炎	1 (0.18)		
肝細胞障害	6 (1.08)		
肝障害	9 (1.62)		
<b>皮膚および皮下組織障害</b>		79例 (14.18)	
脱毛症	1 (0.18)		
薬疹	13 (2.33)		
紅斑	2 (0.36)		
脂肪萎縮症	7 (1.26)		
皮下出血	1 (0.18)		
脂肪組織萎縮症	8 (1.44)		
そう痒症	1 (0.18)		
発疹	25 (4.49)		
全身性皮疹	2 (0.36)		
蕁麻疹	1 (0.18)		
後天性リポシトローフィー	11 (1.97)		
好酸球性膿疱性毛包炎	1 (0.18)		
顔のやせ	7 (1.26)		

調査施設数	50
調査症例数	557
副作用等の発現症例数	303 (54.40%)
副作用等の発現件数	625
副作用等の種類	例数(%)
筋骨格系および結合組織障害	5例 (0.90)
筋力低下	1 (0.18)
筋痛	2 (0.36)
四肢痛	1 (0.18)
筋肉減少症	1 (0.18)
腎および尿路障害	4例 (0.72)
血尿	1 (0.18)
蛋白尿	1 (0.18)
腎障害	1 (0.18)
腎機能障害	3 (0.54)
生殖系および乳房障害	5例 (0.90)
女性化乳房	5 (0.90)
先天性、家族性および遺伝性障害	1例 (0.18)
色盲	1 (0.18)
全身障害および投与局所様態	23例 (4.13)
無力症	1 (0.18)
胸痛	1 (0.18)
死亡	1 (0.18)
異常感	1 (0.18)
酩酊感	1 (0.18)
熱感	2 (0.36)
易刺激性	1 (0.18)
倦怠感	7 (1.26)
多臓器不全	1 (0.18)
末梢性浮腫	1 (0.18)
発熱	8 (1.44)
臨床検査	73例 (13.11)
アミン・アミノトランスフェラーゼ増加	4 (0.72)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	4 (0.72)
血中アミラーゼ増加	4 (0.72)
血中コレステロール増加	9 (1.62)
血中クレアチンホスホキナーゼ増加	3 (0.54)
血中ブドウ糖増加	4 (0.72)
血中乳酸脱水素酵素増加	14 (2.51)
血中乳酸増加	5 (0.90)
血中トリグリセリド増加	23 (4.13)
血中尿酸増加	13 (2.33)
-グルタミルトランスフェラーゼ増加	21 (3.77)
ヘモグロビン減少	1 (0.18)
血小板数減少	1 (0.18)
赤血球数減少	1 (0.18)
体重減少	4 (0.72)
白血球数減少	1 (0.18)
血小板数増加	1 (0.18)
血中アルカリホスファターゼ増加	5 (0.90)
肝酵素上昇	2 (0.36)
免疫学的検査正常	1 (0.18)
外科および内科処置	1例 (0.18)
脱毛術	1 (0.18)



表25. 組合 12

エブジコム + ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		61	24	40	39.34%	(Fisher)
性別	男	56	23	38	41.07%	P=0.640
	女	5	1	2	20.00%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 - 64歳	61	24	40	39.34%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	58	22	36	37.93%	P=0.556
	その他	3	2	4	66.67%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	31	12	20	38.71%	P=1.000
	有	30	12	20	40.00%	
併用療法有無	無	61	24	40	39.34%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	18	7	13	38.89%	P=1.000
	有	43	17	27	39.53%	
合併症肝障害	無	45	19	32	42.22%	P=0.557
	有	16	5	8	31.25%	
	肝炎	13	3	4	23.08%	
血友病	無	56	24	40	42.86%	P=0.147
	有	5			0.00%	
	A	4			0.00%	-
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	22	5	6	22.73%	P=0.059
	有	39	19	34	48.72%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	23	4	4	17.39%	P=0.034 *
	有	26	13	23	50.00%	
	不明・未記載	12	7	13	58.33%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には浮動性めまい(8.2%)、発疹(8.2%)、血中トリグリセリド増加(6.6%)、  
-グルタミルトランスフェラーゼ増加(6.6%)があり、  
器官分類別では、臨床検査(16.4%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。

## エブジコム + ストックリン併用例の副作用発現状況

調査施設数	17
調査症例数	61
副作用等の発現症例数	24 (39.34%)
副作用等の発現件数	40
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	1例 (1.64)
高脂血症	1 (1.64)
精神障害	6例 (9.84)
うつ病	1 (1.64)
全般性不安障害	1 (1.64)
初期不眠症	1 (1.64)
不眠症	2 (3.28)
異常行動	1 (1.64)
神経系障害	6例 (9.84)
注意力障害	1 (1.64)
浮動性めまい	5 (8.20)
胃腸障害	2例 (3.28)
胃不快感	1 (1.64)
嘔吐	1 (1.64)
肝胆道系障害	2例 (3.28)
肝障害	2 (3.28)
皮膚および皮下組織障害	5例 (8.20)
発疹	5 (8.20)
腎および尿路障害	1例 (1.64)
腎結石症	1 (1.64)
全身障害および投与局所様態	3例 (4.92)
無力症	1 (1.64)
倦怠感	1 (1.64)
発熱	1 (1.64)
臨床検査	10例 (16.39)
血中ビリルビン増加	1 (1.64)
血中コレステロール増加	1 (1.64)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (1.64)
血中トリグリセリド増加	4 (6.56)
血中尿酸増加	2 (3.28)
-グルタミルトランスフェラーゼ増加	4 (6.56)
白血球数減少	1 (1.64)

エピビル+ゼリット+カレトラ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		258	133	234	51.55%	(Fisher)
性別	男	237	125	219	52.74%	P=0.256
	女	21	8	15	38.10%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 64歳	249	128	221	51.41%	
	65歳	9	5	13	55.56%	
人種	日本人	242	126	226	52.07%	P=0.610
	その他	16	7	8	43.75%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	43	14	16	32.56%	P=0.007 **
	有	215	119	218	55.35%	
併用療法有無	無	236	117	205	49.58%	P=0.045 *
	有	22	16	29	72.73%	
合併症有無	無	60	27	37	45.00%	P=0.302
	有	198	106	197	53.54%	
合併症肝障害	無	205	107	191	52.20%	P=0.758
	有	53	26	43	49.06%	
	肝炎	43	21	34	48.84%	
血友病	無	236	124	223	52.54%	P=0.374
	有	22	9	11	40.91%	
	A	14	6	8	42.86%	P=1.000
	B	8	3	3	37.50%	
既往歴有無	無	68	33	48	48.53%	P=0.569
	有	180	96	180	53.33%	
	不明・未記載	10	4	6	40.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	133	57	90	42.86%	P=0.008 **
	有	82	51	100	62.20%	
	不明・未記載	43	25	44	58.14%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高脂血症(15.9%)、下痢(8.5%)、血中トリグリセリド増加(8.1%)があり、器官分類別では、代謝および栄養障害(25.2%)、臨床検査(17.1%)、胃腸障害(12.0%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

調査施設数	40
調査症例数	258
副作用等の発現症例数	133 (51.55%)
副作用等の発現件数	234
副作用等の種類	
感染症および寄生虫症	6例 (2.33)
帯状疱疹	3 (1.16)
結核	1 (0.39)
サイトメガロウイルス性脈絡網膜炎	1 (0.39)
脳トキソプラズマ症	1 (0.39)
非定型マイコバクテリア感染	1 (0.39)
良性・悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびホリフを含む)	1例 (0.39)
カシ肉腫	1 (0.39)
血液およびリンパ系障害	2例 (0.78)
貧血	1 (0.39)
汎血球減少症	1 (0.39)
代謝および栄養障害	65例 (25.19)
糖尿病	1 (0.39)
耐糖能障害	2 (0.78)
高コレステロール血症	4 (1.55)
高血糖	1 (0.39)
高乳酸血症	9 (3.49)
高トリグリセリド血症	7 (2.71)
高尿酸血症	6 (2.33)
乳酸アシドーシス	3 (1.16)
食欲減退	1 (0.39)
高脂血症	41 (15.89)
やせ	1 (0.39)
神経系障害	10例 (3.88)
浮動性めまい	1 (0.39)
味覚異常	1 (0.39)
頭痛	1 (0.39)
感覚鈍麻	6 (2.33)
末梢性ニューロパシー	2 (0.78)
心臓障害	5例 (1.94)
不整脈	2 (0.78)
徐脈	2 (0.78)
洞性頻脈	1 (0.39)
血管障害	1例 (0.39)
高血圧	1 (0.39)
胃腸障害	31例 (12.02)
上腹部痛	1 (0.39)
アフタ性口内炎	1 (0.39)
下痢	22 (8.53)
悪心	12 (4.65)
胃不快感	2 (0.78)
嘔吐	3 (1.16)
肝胆道系障害	6例 (2.33)
肝機能異常	5 (1.94)
肝障害	1 (0.39)
皮膚および皮下組織障害	13例 (5.04)
脱毛症	1 (0.39)
薬疹	3 (1.16)
脂肪組織萎縮症	2 (0.78)
爪変色	1 (0.39)
爪の障害	1 (0.39)
発疹	1 (0.39)
脂漏性皮膚炎	1 (0.39)
顔のやせ	3 (1.16)
脂肪肥大症	1 (0.39)
生殖系および乳房障害	1例 (0.39)
女性化乳房	1 (0.39)

臨床検査	44例 (17.05)
血中アミラーゼ増加	2 (0.78)
血中ビリルビン増加	4 (1.55)
血中コレステロール増加	4 (1.55)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (0.39)
血中乳酸増加	7 (2.71)
血中トリグリセリド増加	21 (8.14)
血中尿酸増加	6 (2.33)
胸部X線異常	1 (0.39)
-グルタミルトランスフェラーゼ増加	5 (1.94)
ヘモグロビン減少	2 (0.78)
血小板数減少	2 (0.78)
体重減少	1 (0.39)
白血球数減少	5 (1.94)
血中アルカリホスファターゼ増加	7 (2.71)
肝酵素上昇	1 (0.39)

表29. 組合 14

ツルバダ + カレトラ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		18	3	5	16.67%	(Fisher)
性別	男	17	3	5	17.65%	P=1.000
	女	1			0.00%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 - 64歳	17	3	5	17.65%	
	65歳	1			0.00%	
人種	日本人	18	3	5	16.67%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	5	1	2	20.00%	P=1.000
	有	13	2	3	15.38%	
併用療法有無	無	17	3	5	17.65%	P=1.000
	有	1			0.00%	
合併症有無	無	5			0.00%	P=0.522
	有	13	3	5	23.08%	
合併症肝障害	無	11	1	1	9.09%	P=0.528
	有	7	2	4	28.57%	
	肝炎	7	2	4	28.57%	
血友病	無	14	3	5	21.43%	P=1.000
	有	4			0.00%	
	A	3			0.00%	-
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	7	1	2	14.29%	P=1.000
	有	11	2	3	18.18%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	11	2	4	18.18%	P=1.000
	有	6	1	1	16.67%	
	不明・未記載	1			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高トリグリセリド血症(5.6%)、高脂血症(5.6%)、心拡大(5.6%)、高血圧(5.6%)、肝障害(5.6%)があり、器官分類別では、代謝および栄養障害(11.1%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

## ツルバダ + カレトラ併用例の副作用発現状況

調査施設数	18
調査症例数	18
副作用等の発現症例数	3 (16.67%)
副作用等の発現件数	5
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	2例 (11.11)
高トリグリセリド血症	1 (5.56)
高脂血症	1 (5.56)
心臓障害	1例 (5.56)
心拡大	1 (5.56)
血管障害	1例 (5.56)
高血圧	1 (5.56)
肝胆道系障害	1例 (5.56)
肝障害	1 (5.56)

表31. 組合 15

エピビル+ ザイアジェン+ ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		84	32	62	38.10%	(Fisher)
性別	男	77	30	57	38.96%	P=0.704
	女	7	2	5	28.57%	
年齢	14歳	0			-	P=0.293
	15歳 64歳	80	32	62	40.00%	
	65歳	4			0.00%	
人種	日本人	80	29	56	36.25%	P=0.152
	その他	4	3	6	75.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	20	4	5	20.00%	P=0.068
	有	64	28	57	43.75%	
併用療法有無	無	71	25	50	35.21%	P=0.227
	有	13	7	12	53.85%	
合併症有無	無	14	5	6	35.71%	P=1.000
	有	70	27	56	38.57%	
合併症肝障害	無	55	19	36	34.55%	P=0.479
	有	29	13	26	44.83%	
	肝炎	26	12	23	46.15%	
血友病	無	70	25	46	35.71%	P=0.372
	有	14	7	16	50.00%	
	A	9	4	7	44.44%	P=1.000
	B	5	3	9	60.00%	
既往歴有無	無	28	9	16	32.14%	P=0.477
	有	55	23	46	41.82%	
	不明・未記載	1			0.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	39	12	20	30.77%	P=0.143
	有	32	16	33	50.00%	
	不明・未記載	13	4	9	30.77%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には、 $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ増加(9.5%)、高脂血症(7.1%)があり、器官分類別では、臨床検査(14.3%)、代謝および栄養障害(11.9%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

調査施設数	24
調査症例数	84
副作用等の発現症例数	32 (38.10%)
副作用等の発現件数	62
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	2例 (2.38)
鼻咽頭炎	1 (1.19)
肛門性器疣贅	1 (1.19)
血液およびリンパ系障害	2例 (2.38)
貧血	1 (1.19)
リンパ節症	1 (1.19)
代謝および栄養障害	10例 (11.90)
糖尿病	1 (1.19)
高血糖	1 (1.19)
高トリグリセリド血症	3 (3.57)
高尿酸血症	1 (1.19)
高脂血症	6 (7.14)
精神障害	6例 (7.14)
不眠症	4 (4.76)
悪夢	1 (1.19)
精神障害	1 (1.19)
神経系障害	6例 (7.14)
注意力障害	1 (1.19)
浮動性めまい	4 (4.76)
顔面神経麻痺	1 (1.19)
頭痛	1 (1.19)
血管障害	1例 (1.19)
高血圧	1 (1.19)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (1.19)
過換気	1 (1.19)
胃腸障害	2例 (2.38)
腹痛	1 (1.19)
胃不快感	1 (1.19)
皮膚および皮下組織障害	6例 (7.14)
薬疹	1 (1.19)
脂肪萎縮症	1 (1.19)
発疹	4 (4.76)
筋骨格系および結合組織障害	2例 (2.38)
筋痛	1 (1.19)
骨粗鬆症	1 (1.19)
生殖系および乳房障害	1例 (1.19)
女性化乳房	1 (1.19)
全身障害および投与局所様態	3例 (3.57)
胸痛	1 (1.19)
発熱	2 (2.38)
臨床検査	12例 (14.29)
アミン・アミノトランスフェラーゼ増加	1 (1.19)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	1 (1.19)
血中乳酸脱水素酵素増加	1 (1.19)
血中トリグリセリド増加	2 (2.38)
血中尿酸増加	2 (2.38)
-グルタミルトランスフェラーゼ増加	8 (9.52)
白血球数減少	1 (1.19)
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (1.19)



表33. 組合 22

ツルバダ + ノーピア + レクシヴァ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		13	3	4	23.08%	
性別	男	12	3	4	25.00%	P=1.000
	女	1			0.00%	
年齢	14歳	0			-	P=1.000
	15歳 - 64歳	12	3	4	25.00%	
	65歳	1			0.00%	
人種	日本人	13	3	4	23.08%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	7	1	2	14.29%	P=0.559
	有	6	2	2	33.33%	
併用療法有無	無	13	3	4	23.08%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	8	1	2	12.50%	P=0.510
	有	5	2	2	40.00%	
合併症肝障害	無	12	3	4	25.00%	P=1.000
	有	1			0.00%	
	肝炎	1			0.00%	
血友病	無	13	3	4	23.08%	-
	有	0			-	
	A	0			-	
	B	0			-	
既往歴有無	無	4	1	2	25.00%	P=1.000
	有	9	2	2	22.22%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	10	3	4	30.00%	P=1.000
	有	2			0.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には高トリグリセリド血症(15.4%)、高脂血症(7.7%)、肝障害(7.7%)があり、器官分類別では、代謝および栄養障害(23.1%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

調査施設数	9
調査症例数	13
副作用等の発現症例数	3 (23.08%)
副作用等の発現件数	4
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	3例 (23.08)
高トリグリド血症	2 (15.38)
高脂血症	1 (7.69)
肝胆道系障害	1例 (7.69)
肝障害	1 (7.69)

表35. 組合 27

レトロビル+エピビル+ピラミューン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		47	18	27	38.30%	(Fisher)
性別	男	41	16	25	39.02%	P=1.000
	女	6	2	2	33.33%	
年齢	14歳	2	1	1	50.00%	P=1.000
	15歳 64歳	42	16	24	38.10%	
	65歳	3	1	2	33.33%	
人種	日本人	41	17	26	41.46%	P=0.384
	その他	6	1	1	16.67%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	10	5	6	50.00%	P=0.473
	有	37	13	21	35.14%	
併用療法有無	無	43	17	25	39.53%	P=1.000
	有	4	1	2	25.00%	
合併症有無	無	13	6	10	46.15%	P=0.521
	有	34	12	17	35.29%	
合併症肝障害	無	35	14	20	40.00%	P=0.744
	有	12	4	7	33.33%	
	肝炎	9	4	7	44.44%	
血友病	無	44	17	24	38.64%	P=1.000
	有	3	1	3	33.33%	
	A	2	1	3	50.00%	P=1.000
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	18	7	10	38.89%	P=1.000
	有	28	10	16	35.71%	
	不明・未記載	1	1	1	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	25	8	12	32.00%	P=0.212
	有	17	9	14	52.94%	
	不明・未記載	5	1	1	20.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には発疹(10.6%)、 $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ増加(6.4%)があり、  
器官分類別では、皮膚および皮下組織障害(14.9%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。

調査施設数	26
調査症例数	47
副作用等の発現症例数	18 (38.30%)
副作用等の発現件数	27
副作用等の種類	例数(%)
感染症および寄生虫症	1例 (2.13)
----- B型肝炎	1 (2.13)
血液およびリンパ系障害	4例 (8.51)
----- 無顆粒球症	1 (2.13)
貧血	1 (2.13)
大球性貧血	2 (4.26)
代謝および栄養障害	1例 (2.13)
----- 高脂血症	1 (2.13)
精神障害	1例 (2.13)
----- 不眠症	1 (2.13)
神経系障害	2例 (4.26)
----- 脳出血	1 (2.13)
頭痛	1 (2.13)
胃腸障害	1例 (2.13)
----- 逆流性食道炎	1 (2.13)
肝胆道系障害	3例 (6.38)
----- 胆汁うっ滞	1 (2.13)
肝機能異常	1 (2.13)
肝障害	1 (2.13)
皮膚および皮下組織障害	7例 (14.89)
----- 薬疹	2 (4.26)
発疹	5 (10.64)
筋骨格系および結合組織障害	1例 (2.13)
----- 関節痛	1 (2.13)
筋痛	1 (2.13)
全身障害および投与局所様態	1例 (2.13)
----- 倦怠感	1 (2.13)
臨床検査	4例 (8.51)
----- 血中乳酸脱水素酵素増加	1 (2.13)
-グルタミルトランスフェラーゼ増加	3 (6.38)

エピビル + ザイアジェン + ピラセプト併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果
計		28	12	26	42.86%	(Fisher)
性別	男	22	10	24	45.45%	P=0.673
	女	6	2	2	33.33%	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 - 64歳	28	12	26	42.86%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	25	12	26	48.00%	P=0.238
	その他	3			0.00%	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	6	4	5	66.67%	P=0.354
	有	22	8	21	36.36%	
併用療法有無	無	25	11	25	44.00%	P=1.000
	有	3	1	1	33.33%	
合併症有無	無	3	1	1	33.33%	P=1.000
	有	25	11	25	44.00%	
合併症肝障害	無	19	8	13	42.11%	P=1.000
	有	9	4	13	44.44%	
	肝炎	8	4	13	50.00%	
血友病	無	23	10	19	43.48%	P=1.000
	有	5	2	7	40.00%	
	A	4	2	7	50.00%	P=1.000
	B	1			0.00%	
既往歴有無	無	7	4	14	57.14%	P=0.418
	有	21	8	12	38.10%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	14	5	12	35.71%	P=0.431
	有	12	7	14	58.33%	
	不明・未記載	2			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には血中尿酸増加(10.7%)、倦怠感(7.1%)、アラニン・アミトランスフェラーゼ増加(7.1%)、血中トリグリセリド増加(7.1%)があり、器官分類別では、臨床検査(21.4%)、胃腸障害(14.3%)、神経系障害(10.7%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。詳細は次表を参照。

調査施設数	10
調査症例数	28
副作用等の発現症例数	12 (42.86%)
副作用等の発現件数	26
副作用等の種類	例数(%)
代謝および栄養障害	2例 (7.14)
高尿酸血症	1 (3.57)
高脂血症	1 (3.57)
精神障害	1例 (3.57)
うつ病	1 (3.57)
神経系障害	3例 (10.71)
感覚鈍麻	1 (3.57)
傾眠	1 (3.57)
振戦	1 (3.57)
血管障害	1例 (3.57)
高血圧	1 (3.57)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	1例 (3.57)
呼吸困難	1 (3.57)
胃腸障害	4例 (14.29)
上腹部痛	1 (3.57)
下痢	1 (3.57)
悪心	1 (3.57)
再発性膵炎	1 (3.57)
嘔吐	1 (3.57)
腎および尿路障害	1例 (3.57)
神経因性膀胱	1 (3.57)
腎障害	1 (3.57)
全身障害および投与局所様態	2例 (7.14)
倦怠感	2 (7.14)
臨床検査	6例 (21.43)
アミン・アミトラスフェラーゼ 増加	2 (7.14)
血中クレアチン増加	1 (3.57)
血中トリグリセリド 増加	2 (7.14)
血中尿酸増加	3 (10.71)
ケロヘモグロビン増加	1 (3.57)

ピリアード+エムトリバ+ストックリン併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		3	1	1	33.33%	
性別	男	3	1	1	33.33%	-
	女	0			-	
年齢	14歳	0			-	P=0.333
	15歳	2			0.00%	
	64歳	1	1	1	100.00%	
人種	日本人	3	1	1	33.33%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
併用療法有無	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	1			0.00%	P=1.000
	有	2	1	1	50.00%	
合併症肝障害	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
	肝炎	0			-	
血友病	無	3	1	1	33.33%	-
	有	0			-	
	A	0			-	
	B	0			-	
既往歴有無	無	2			0.00%	P=0.333
	有	1	1	1	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	1			0.00%	P=1.000
	有	1	1	1	100.00%	
	不明・未記載	1			0.00%	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には失禁(33.3%)があり、  
器官分類別では、腎および尿路障害(33.3%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。

調査施設数	3
調査症例数	3
副作用等の発現症例数	1 (33.33%)
副作用等の発現件数	1
副作用等の種類	例数(%)
腎および尿路障害	1例 (33.33)
失禁	1 (33.33)



レトロビル+エピビル+レスクリプター+カレトラ併用例の  
患者背景別副作用発現症例率

要因		症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	解析結果 (Fisher)
計		1	1	1	100.00%	-
性別	男	1	1	1	100.00%	-
	女	0			-	
年齢	14歳	0			-	-
	15歳 64歳	1	1	1	100.00%	
	65歳	0			-	
人種	日本人	1	1	1	100.00%	-
	その他	0			-	
抗HIV薬以外の 併用薬有無	無	1	1	1	100.00%	-
	有	0			-	
併用療法有無	無	1	1	1	100.00%	-
	有	0			-	
合併症有無	無	0			-	-
	有	1	1	1	100.00%	
合併症肝障害	無	1	1	1	100.00%	-
	有	0			-	
	肝炎	0			-	
血友病	無	1	1	1	100.00%	-
	有	0			-	
	A	0			-	
	B	0			-	
既往歴有無	無	0			-	-
	有	1	1	1	100.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	1	1	1	100.00%	-
	有	0			-	

注1) 既往歴の内容は特に限定せず集計した。

注2) アレルギー(特異体質)の内容は特に限定せず集計した。

5%以上の頻度で発現した副作用には下痢(100.0%)があり、  
器官分類別では、胃腸障害(100.0%)において、10%以上の頻度で副作用が発現していた。  
詳細は次表を参照。

表42. 組合 614 レトロビル + エピビル + レスクリプター + カレトラ併用例の副作用発現状況

調査施設数	1
調査症例数	1
副作用等の発現症例数	1 (100.00%)
副作用等の発現件数	1
副作用等の種類	
	例数(%)
胃腸障害	1例 (100.00)
下痢	1 (100.00)

表43. 患者背景要因 (CMV感染症治療薬)

デノシカフセル、ホスガビル、バリキサいずれかの薬剤を使用している症例を対象

使用理由	CMV網膜炎, その他のCMV感染症, その他
性別	
年齢	デノシカフセル, ホスガビル, バリキサの初回投与日での年齢を算出
人種	日本人, その他
CMV治療薬以外の併用薬有無	デノシカフセル, ホスガビル, バリキサの使用期間における併用有無 (CMV治療薬以外の併用薬)
併用療法有無	デノシカフセル, ホスガビル, バリキサの使用期間における併用療法の併用有無
CMVを除いた合併症有無	CMVを除く
合併症肝障害	
血友病有無	
血友病A B	血友病有の症例のみでカウント
既往歴有無	
アレルギー有無	
投与開始前CD4リンパ球数	デノシカフセル, ホスガビル, バリキサの初回投与開始日、なければ投与前(30日以内)のCD4の検査値

これらの要因を用いて安全性の集計を行う。

要因	注1) 症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)	
					計
使用理由	183	65	120	35.52%	
CMV網膜炎	93	30	57	32.26%	
その他のCMV感染症	73	30	54	41.10%	
その他	17	5	9	29.41%	
性別	158	55	102	34.81%	
男	25	10	18	40.00%	
年齢	14歳	5	2	40.00%	
15歳 64歳	172	61	108	35.47%	
65歳	6	2	8	33.33%	
人種	日本人	173	63	114	36.42%
その他	10	2	6	20.00%	
CMV治療薬以外の 併用薬有無	無	9	3	33.33%	
有	173	62	117	35.84%	
不明・未記載	1			0.00%	
併用療法有無	無	157	52	88	33.12%
有	26	13	32	50.00%	
CMVを除いた 合併症有無	無	24	8	12	33.33%
有	158	57	108	36.08%	
不明・未記載	1			0.00%	
合併症肝障害	無	140	48	86	34.29%
有	42	17	34	40.48%	
肝炎	23	8	16	34.78%	
不明・未記載	1			0.00%	
血友病	無	172	62	112	36.05%
有	10	3	8	30.00%	
A	6			0.00%	
B	4	3	8	75.00%	
不明・未記載	1			0.00%	
既往歴有無	無	76	22	37	28.95%
有	103	41	80	39.81%	
不明・未記載	4	2	3	50.00%	
アレルギー(特異体質) の有無	無	109	38	69	34.86%
有	55	22	46	40.00%	
不明・未記載	19	5	5	26.32%	
投与開始時 CD4リンパ球数	< 50	68	29	50	42.65%
50 100	18	6	9	33.33%	
100 <	16	4	9	25.00%	
不明・未記載	81	26	52	32.10%	

注1)デノソクアゼム、ホスガビル、ハリキサイいずれかを使用している症例(HIV患者以外に使用された症例を含む)

表45. 患者背景要因 (MAC感染症治療薬)

クラリスロマイシン、ジスロマック錠600mgいずれかの薬剤を使用している症例を対象

性別	
年齢	クラリスロマイシン, 又はジスロマック錠600mgの初回投与日での年齢を算出
人種	日本人, その他
使用目的	治療, 予防
併用薬有無*	クラリスロマイシン, 又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用有無 併用薬 (クラリスロマイシン, 又はジスロマック錠600mg以外の全ての薬剤) の有無
併用薬(抗HIV薬)有無	クラリスロマイシン, 又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用有無 併用薬 (抗HIV薬) の有無
併用薬(抗MAC抗菌薬**)有無	クラリスロマイシン, 又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用有無 MAC感染症に抗菌力を有する併用薬 (抗結核剤、ストレプトマイシン、サイクロセリン、リファンピシム、カナマイシン、エンピオマイシン、アミカシン、イミペネム、クロファジミン、ニューキノロン(CPFX、SPFX、LVFX)、マイコフチン、リファブチン)、シプロフロキサンの有無
併用療法有無	クラリスロマイシン, 又はジスロマック錠600mgの使用期間における併用療法の併用有無
MACを除いた合併症有無	MACを除く
既往歴有無	
アレルギー有無	

\*:クラリスロマイシンとジスロマック併用例で、他剤の併用のない症例を除く

\*\* :クラリスロマイシンとジスロマック併用例で、他の抗MAC抗菌薬の併用のない症例を除く

これらの要因を用いて安全性の集計を行う。

要因		注1) 症例数	副作用発現 症例数	副作用発現 件数	副作用発現 症例率(%)
計		451	76	123	16.85%
性別	男	401	65	103	16.21%
	女	50	11	20	22.00%
年齢	14歳	1			0.00%
	15歳 64歳	441	73	117	16.55%
	65歳	9	3	6	33.33%
人種	日本人	407	70	111	17.20%
	その他	44	6	12	13.64%
使用目的	治療	149	31	58	20.81%
	予防	354	59	93	16.67%
併用薬有無	無	1	1	1	100.00%
	有	450	75	122	16.67%
併用薬(抗HIV薬)有無	無	6	2	3	33.33%
	有	445	74	120	16.63%
併用薬(抗MAC抗菌薬)有無	無	293	44	65	15.02%
	有	158	32	58	20.25%
併用療法有無	無	401	61	104	15.21%
	有	50	15	19	30.00%
MACを除いた 合併症有無	無	75	12	16	16.00%
	有	376	64	107	17.02%
既往歴有無	無	151	26	50	17.22%
	有	290	48	71	16.55%
	不明・未記載	10	2	2	20.00%
アレルギー(特異体質) の有無	無	281	33	50	11.74%
	有	114	26	47	22.81%
	不明・未記載	56	17	26	30.36%

注1)ケリスロマイシン又はシスロマック錠600mg使用症例



表47-1. 抗HIV薬別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							全体		
	レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	サイアジェン	ビリアード	エプシロン	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシラン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プローセ	フォートベイス	カレトラ		レイアタック	レクシヴァ
副作用等の発現症例数	200	77	17	270	222	34	53	32	7	1	7	26	140	0	127	37	82	113	8	5	69	31	3	588
副作用等の発現件数	270	115	22	434	337	38	85	53	17	2	9	53	201	0	179	61	115	168	13	10	110	37	3	996
血液およびリンパ系障害	90例	8例	7例	59例	25例	16例	7例	4例			1例	6例	18例		9例	7例	8例	15例	3例		6例	2例		137例
無顆粒球症	2			1								2						1						2
貧血	59	4	3	27	9	12	1					2	6		5	3	4	5	1		2	1		81
大球性貧血	1			1																				1
赤芽球癆	1			1											1									1
再生不良性貧血				1	1													1						1
播種性血管内凝固		1		1	1			1	1				1											2
顆粒球減少症	2	1										1												2
溶血性貧血							1					1							1					1
肺門リンパ節腫脹				1				1					1											1
脾機能亢進				1														1						1
鉄欠乏性貧血								1	1												1			1
白血球減少症	7	1	1	7	3		1						1		2	1	1				1			9
リンパ節症			1	4	1			1					2											4
縦隔リンパ節腫脹				1				1					1											1
好中球減少症	4			3	3	1							2			1	1	1				1		7
汎血球減少症	15	1		10	2	3							4		2	1		2	1		2			20
血小板減少症	5	2	1	4	2		2					2			1	2	2							7
血栓性血小板減少性紫斑病							1					1							1					1
出血性素因	1		1	4	3										1	1	1	3						5
骨髄機能不全	6		1	1	1			1		1			2				1	1						8
免疫系障害				6例	6例		1例	1例	1例				1例		1例		4例	1例		1例	2例	3例	1例	9例
薬物過敏症																	1					1		1
過敏症									1															1
免疫再構築症候群				6	6		1	1				1		1		3	1		1	2	2	1	7	
内分泌障害	3例			5例	2例								3例				1例	1例			1例			6例
ハセト病				1	1								1											1
クッシング症候群																	1							1
甲状腺機能亢進症	2			2									1								1			2
甲状腺機能低下症				1	1								1											1
抗利尿ホルモン不適合分泌	1			1														1						1
代謝および栄養障害	9例	14例	1例	32例	42例	3例	3例	1例	1例			3例	14例		9例	5例	5例	13例			10例	2例	1例	67例
食欲不振	1	1		1	1				1			1			1						2			4
悪液質		1		1			1					1						1			1			1
脱水		1		1																				1
糖尿病		2		2	2	2	1						3		2	1	1	5				1		12
インスリン依存性糖尿病				1	1								1											1
インスリン非依存性糖尿病				1	1													1					1	2
耐糖能障害				2	1							1			1						1			2
高アンモニア血症				1														1						1
高コレステロール血症													1		1		1							1
高血糖	3			4	2										1			2						5
高乳酸血症	1			7	10			1					3			1	2				3	1		12
高トリグリセリド血症					1																			2
高尿酸血症				1	1										1									1
低血糖症			1																					1
低カルシウム血症	1			1																	1			1
ケトシス															1									1
乳酸アシドーシス	3	10		10	21	1	1					1	5		2	3	1	2			2			23
体脂肪異常				1	1											1	1							1
高脂血症				2	2								1					1						2





表47-1. 抗HIV薬別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							全体		
	レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	サイアジェン	ビリアード	エプシム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	クリキシラン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートベイス	カレトラ		レイアタック	レクシヴァ
副作用等の発現症例数	200	77	17	270	222	34	53	32	7	1	7	26	140	0	127	37	82	113	8	5	69	31	3	588
副作用等の発現件数	270	115	22	434	337	38	85	53	17	2	9	53	201	0	179	61	115	168	13	10	110	37	3	996
心臓障害	7例	6例		10例	8例	1例	2例						3例		1例	1例	2例	9例			12例	1例		26例
急性心筋梗塞	2			5	3								1					4			1			6
狭心症						1							1											1
不整脈	1	1															1	1			1			2
心房細動	1	1																						1
房室ブロック	1	1																						1
完全房室ブロック		1																			2			2
第二度房室ブロック		1																			1			1
徐脈		1																			2	1		2
心不全	1														1									1
うっ血性心不全		1			1													1						1
心肺停止		1		1	1													1						1
伝導障害							1														1			1
左室不全	1			2	1							1									1			2
心筋梗塞	2			2														1			1			2
心筋虚血	1			1														1						1
動悸		1			1		1														2			3
洞不全症候群																		1						1
洞停止															1	1					1			1
洞性頻脈																					1			1
頻脈		1		1	2													1			2			3
心室性期外収縮																		1						1
徐脈性不整脈																					1			1
うっ血性心筋症	1																							1
血管障害	2例			6例	4例								1例		2例		3例	3例		1例				7例
ショック				1	1													1						1
血栓性静脈炎																		1						1
出血性ショック				1	1												1			1				1
深部静脈血栓症				1	1													1						1
出血	1			1											1		1							1
四肢静脈血栓症	1			2	1								1		1		1							2
呼吸器、胸郭および縦隔障害	5例	1例		7例	3例		1例						2例		2例	1例	3例	1例		1例	1例	1例		10例
発声障害				1	1													1						1
呼吸困難							1																	1
労作性呼吸困難	1			1											1									1
肺炎												1												1
気胸	1			1													1			1				1
肺塞栓症	1			1								1												1
肺高血圧症	1	1		2	1									1	1	1								2
肺梗塞					1												1					1		1
肺水腫	1			1																	1			1

表47-1. 抗HIV薬別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	核酸系逆転写酵素阻害剤											非核酸系逆転写酵素阻害剤			プロテアーゼ阻害剤							全体		
	レトロビル	ザイデックス	ハイビット	エビビル	ゼリット	コンビル	サイアジェン	ビリアード	エプシコム	エムトリバ	ツルバダ	ビラミューン	ストックリン	レスクリプター	カキシハン	インビラセ	ノービア	ビラセプト	プロセ	フォートハイス	カレトラ		レイアタック	レクシヴァ
副作用等の発現症例数	200	77	17	270	222	34	53	32	7	1	7	26	140	0	127	37	82	113	8	5	69	31	3	588
副作用等の発現件数	270	115	22	434	337	38	85	53	17	2	9	53	201	0	179	61	115	168	13	10	110	37	3	996
胃腸障害	14例	19例	2例	27例	31例	3例	11例	3例	1例		1例	2例	13例		13例	8例	13例	18例	3例	1例	12例	2例		79例
腹痛		1		2	3		1								1			1						4
下腹部痛															1									1
上腹部痛	1			2											1									2
急性腹症		1		1	3		1											2				1		3
腹水	1	1		1	2		1						1									1		3
下痢	3	1		6	6		2								1	1	4				3			10
出血性十二指腸潰瘍				1	1								1											1
嚥下障害				1	1													1						1
出血性腸炎		1																						1
胃出血																1								1
胃潰瘍	2	3		1			1	1					1		1						1			4
胃腸出血		2		2	2								1			2	2	3		1				7
歯肉出血															1		1							1
吐血							1						1											1
血便排泄							1						1											1
腸閉塞															1									1
ムチ		1			1							1						1						2
悪心	5			6	2	1	2	1	1			1	2		6	1	3	2	1			4		18
膵炎	2	3		3	2								1					1			1			6
急性膵炎		5		2	8		2						3		1		1	2			2	1		9
出血性膵炎		1			1											1	1							1
再発性膵炎	1			2			1											1			1			2
腹膜出血													1		1	1	1	1						2
口内炎			1	1	1	1									1		1							2
嘔吐	3			5	2	1	2	2					3		3	2	3	2	1		2			13
下部消化管出血	1		1															1						1
食道静脈瘤		1		1														2						2
腹腔内出血																		1						1
肝胆道系障害	19例	15例	4例	38例	34例	1例	7例	5例	3例			4例	16例		10例	9例	12例	14例	1例	2例	11例	6例		73例
胆管炎		1			1											1	1							1
急性胆嚢炎	1						1						1									1		1
肝硬変	1	4	1	1	4		1	1					2				1					2		6
肝不全		2		3	5		1						2			1	1		1		3			7
肝機能異常	9	4	2	17	14		3	2	1			2	5		4	5	6	6			3	3		30
肝炎	1	1		3	3								1					3						4
急性肝炎	1			1											1									1
劇症肝炎				2					1				1	1							1			2
肝細胞障害	4	1	1	7	5							1			4	2	1							10
肝脾腫大				1					1							1								1
高ビリルビン血症															1									1
黄疸	1	1		3	2	1	1	1				1			2		1	1			2	1		6
胆汁うっ滞性黄疸		1			1											1	1							1
肝障害	2	1		5	2		1	1	2				5				1	3	1	1	2	1		11



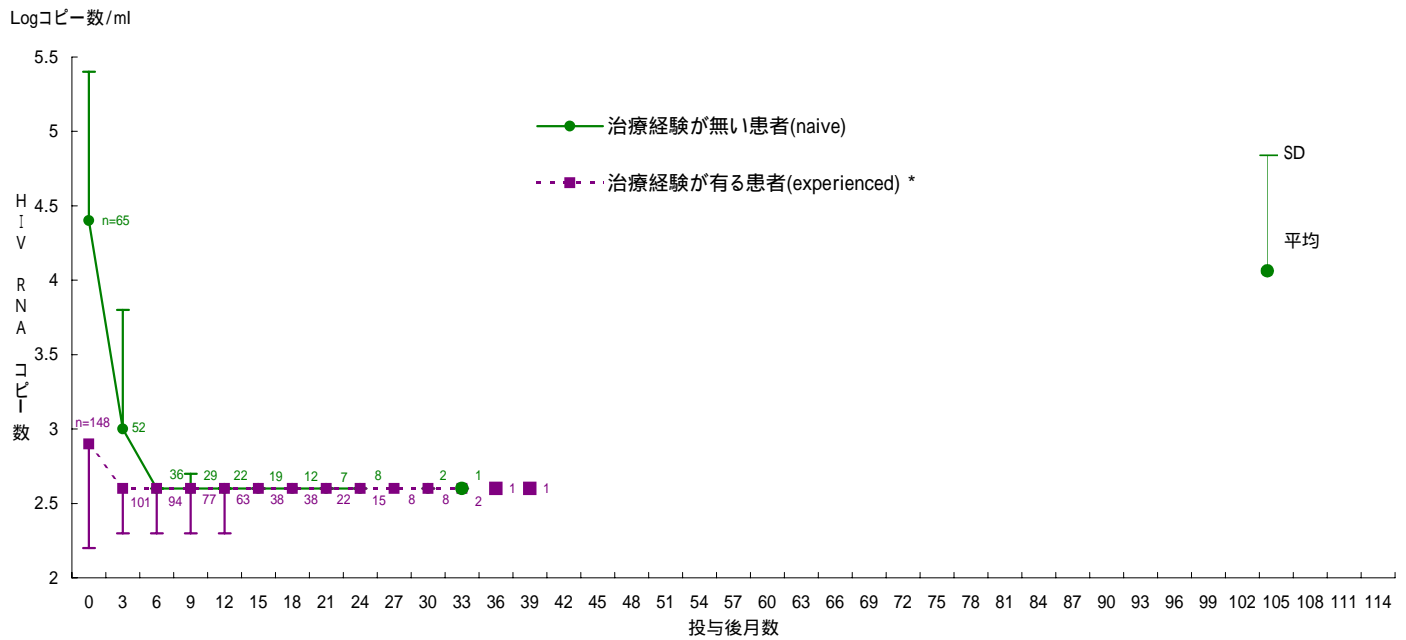
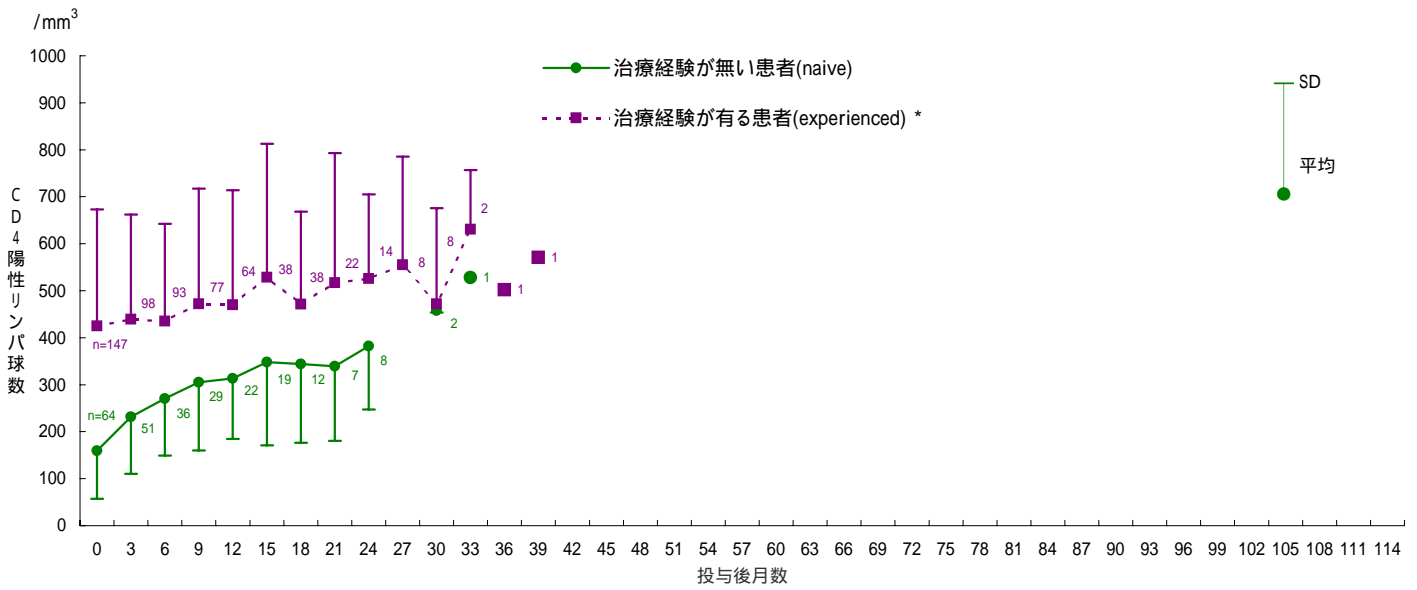


表47-2. HIV関連疾患治療薬別重篤な副作用・感染症の発現状況一覧表

対象薬剤名	抗CMV			抗MAC		体重減少	全体
	デノシン cap	ホスガビル	ハリキサ	クラリスロマイシン	ジスロマック	セロステム	
副作用等の発現症例数	9	34	7	14	8	3	70
副作用等の発現件数	13	55	9	18	8	5	105
感染症および寄生虫症		2例			1例	1例	4例
肺炎		1					1
敗血症性ショック						1	1
脳トクソプラズマ症					1		1
ブドウ球菌感染						1	1
細菌性肺炎		1					1
血液およびリンパ系障害	7例	3例	3例	3例	4例		19例
貧血	5	1	2		3		10
再生不良性貧血				1			1
顆粒球減少症	1						1
白血球減少症		1		1			2
汎血球減少症	1				1		2
血小板減少症		1					1
血栓性微小血管症		1					1
骨髄機能不全			1	1			2
内分泌障害				1例			1例
抗利尿ホルモン不適合分泌				1			1
代謝および栄養障害		6例		1例			7例
食欲不振				1			1
電解質失調		1					1
高ナトリウム血症		1					1
低カルシウム血症		1					1
低カリウム血症		2					2
低マグネシウム血症		1					1
低ナトリウム血症		1					1
精神障害		1例					1例
神経症		1					1
神経系障害		7例	1例	1例			9例
脳梗塞		2					2
痙攣		1	1				2
頭痛		1					1
意識消失				1			1
末梢性ニューロパシー		2					2
舌の麻痺		1					1
心臓障害		1例		1例			2例
徐脈		1		1			2
呼吸器、胸郭および縦隔障害		1例					1例
呼吸障害		1					1
胃腸障害		2例		2例		1例	5例
消化不良						1	1
悪心		2		2			4
嘔吐		2		1			3
肝胆道系障害		2例	1例	1例	1例		5例
肝不全				1			1
肝機能異常					1		1
肝細胞障害		1					1
肝障害		1	1				2
皮膚および皮下組織障害		2例		1例			3例
発疹		1		1			2
ステイブンス・ジョンソン症候群		1					1
腎および尿路障害		8例		3例	1例		11例
血尿		1					1
腎障害		1					1
腎不全		3					3
急性腎不全				2	1		2
腎機能障害		3		1			4
生殖系および乳房障害		1例		1例			2例
子宮頸部上皮異形成				1			1
陰囊潰瘍		1					1
全身障害および投与局所様態		4例	1例				5例
発熱		4	1				5
臨床検査	4例	9例	3例	2例	1例	2例	20例
血中クレアチニン増加		1					1
血中ブドウ糖増加						2	2
腎クレアチニンクリアランス減少		1					1
肝機能検査異常				1			1
好中球数減少			1				1
血小板数減少	1	6					7
赤血球数減少	1						1
白血球数減少	4	3	2	1	1		10

図2. 組合 1

エビピル + ビリアード + ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

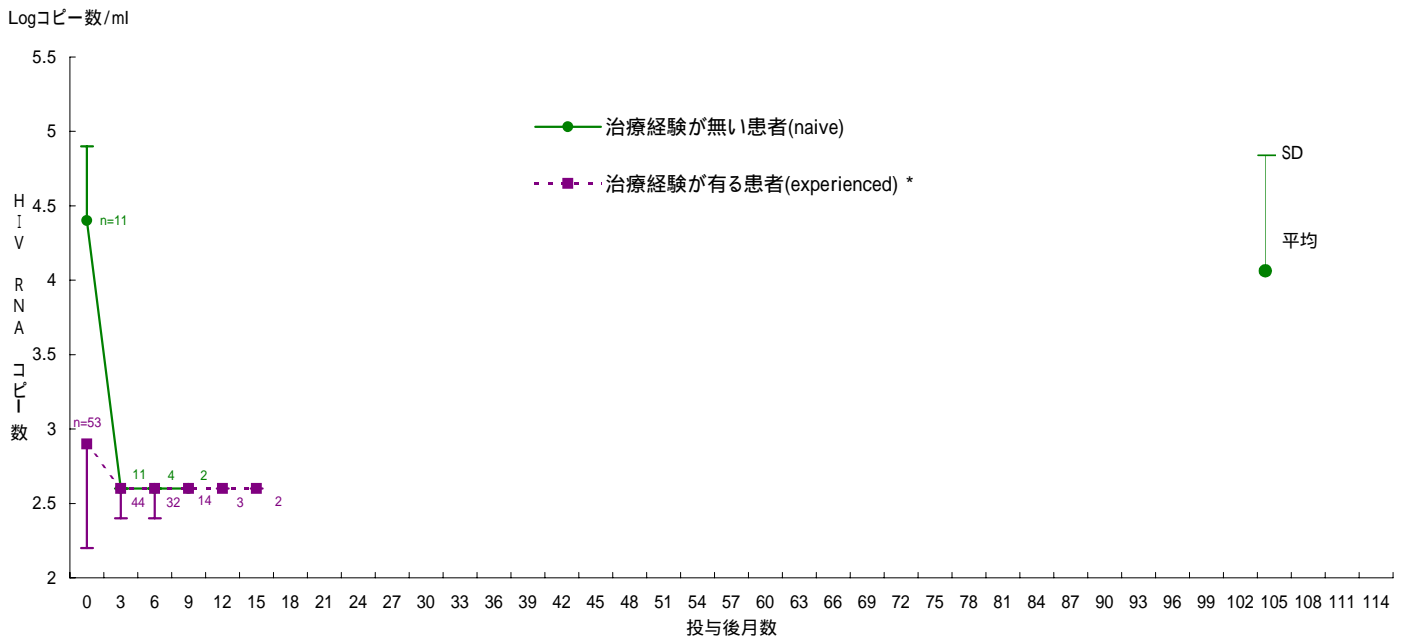
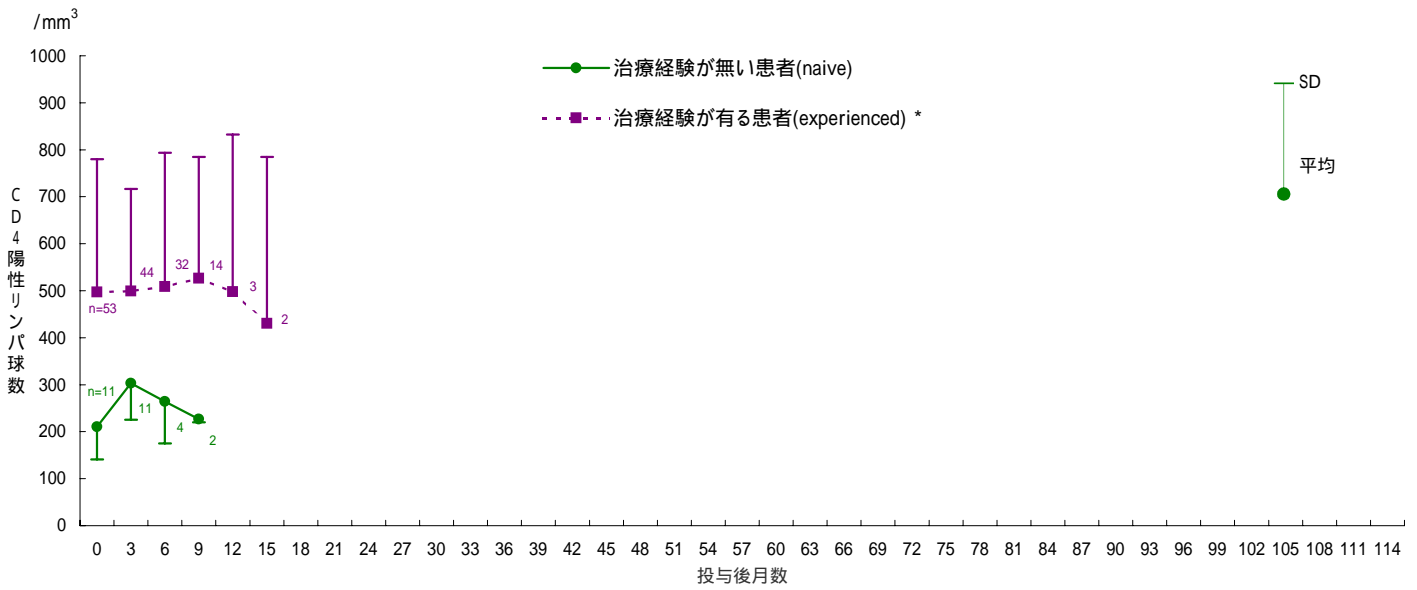
核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。

CD4: 治療経験の有無に関わらず治療開始後増加傾向が認められる。27週以降は症例数が少なく評価は困難である。

RNA: 治療経験の有無に関わらず治療開始後の減少・抑制傾向が認められる。

図3. 組合 2

ツルバダ + ノーピア + レイアタツ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の併用療法である。

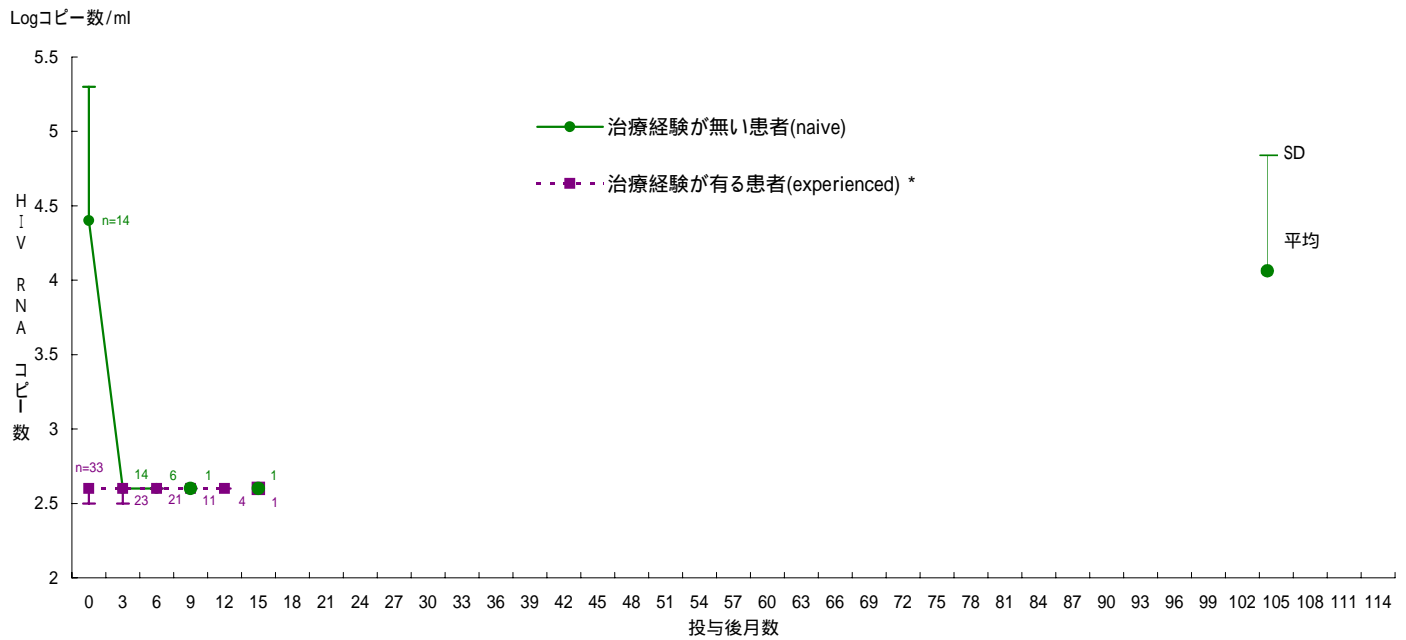
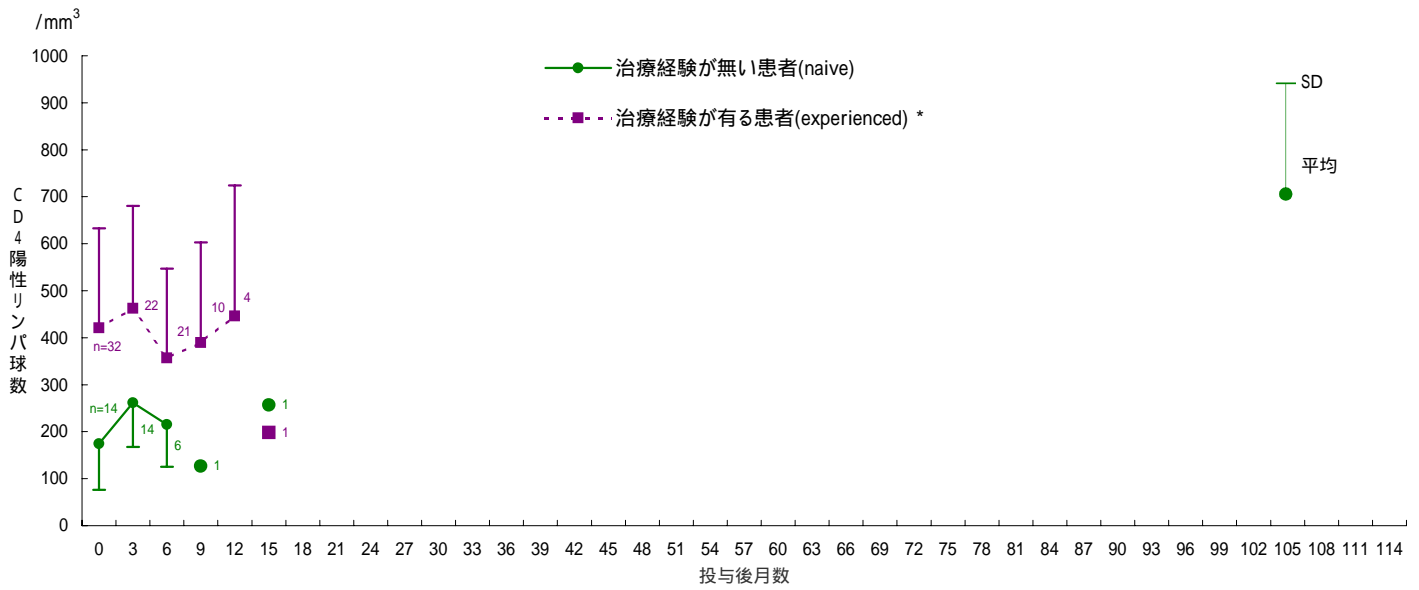
CD4: 症例が少なく評価は困難である。

RNA: 投与開始後は治療改善傾向が見られるが、以後は症例が少なく評価は困難である。



図4. 組合 3

ツルバダ + ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

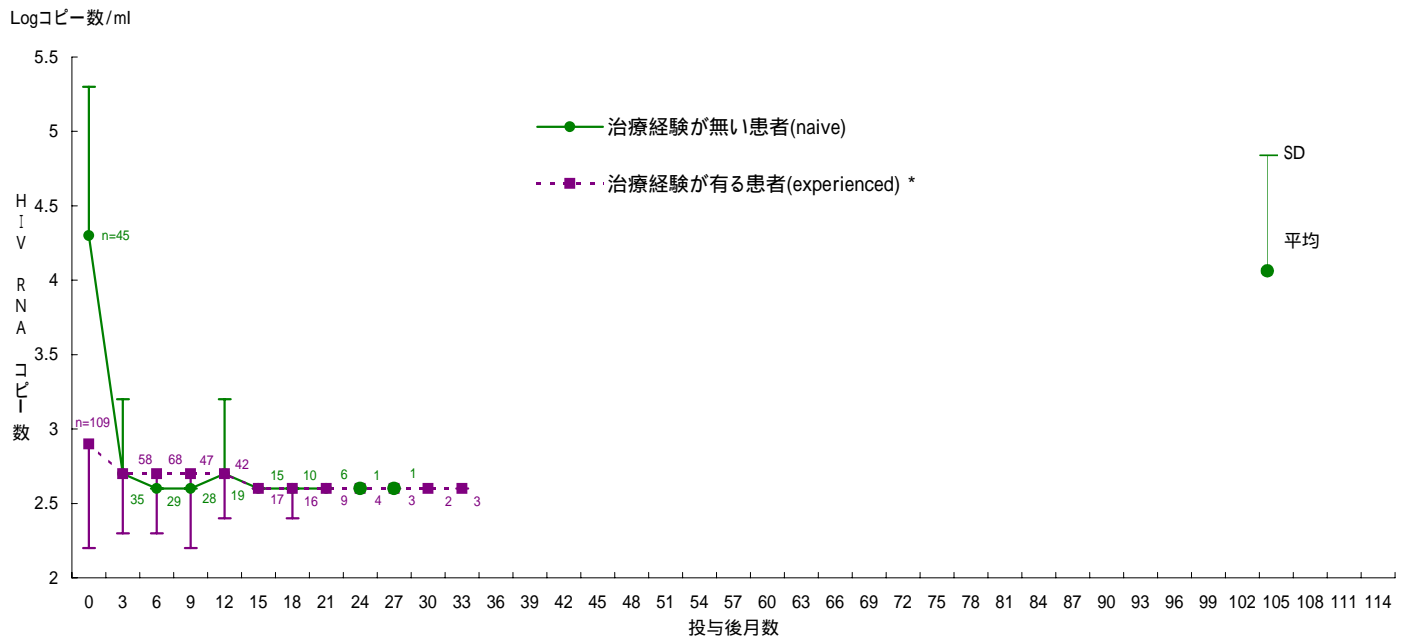
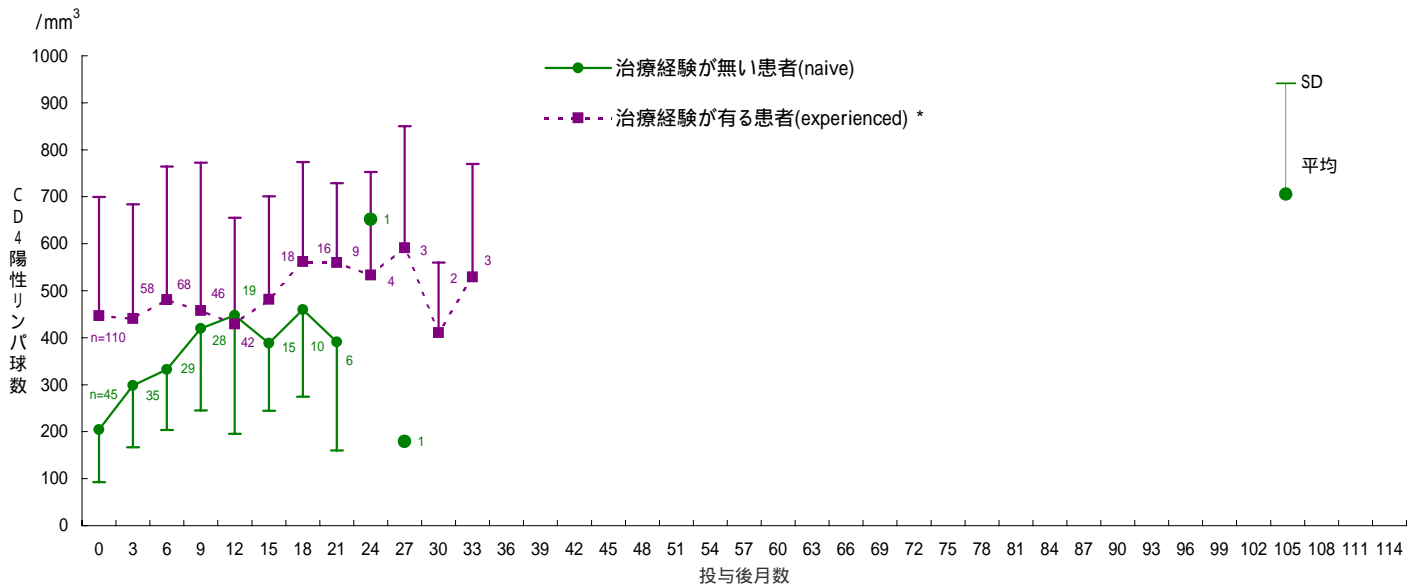
2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。

CD4: 症例が少なく評価は困難である。

RNA: 投与開始後は治療改善傾向が見られるが、以後は症例が少なく評価は困難である。

図5. 組合 4

エビピル + ビリアード + ノーピア + レイアタツ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



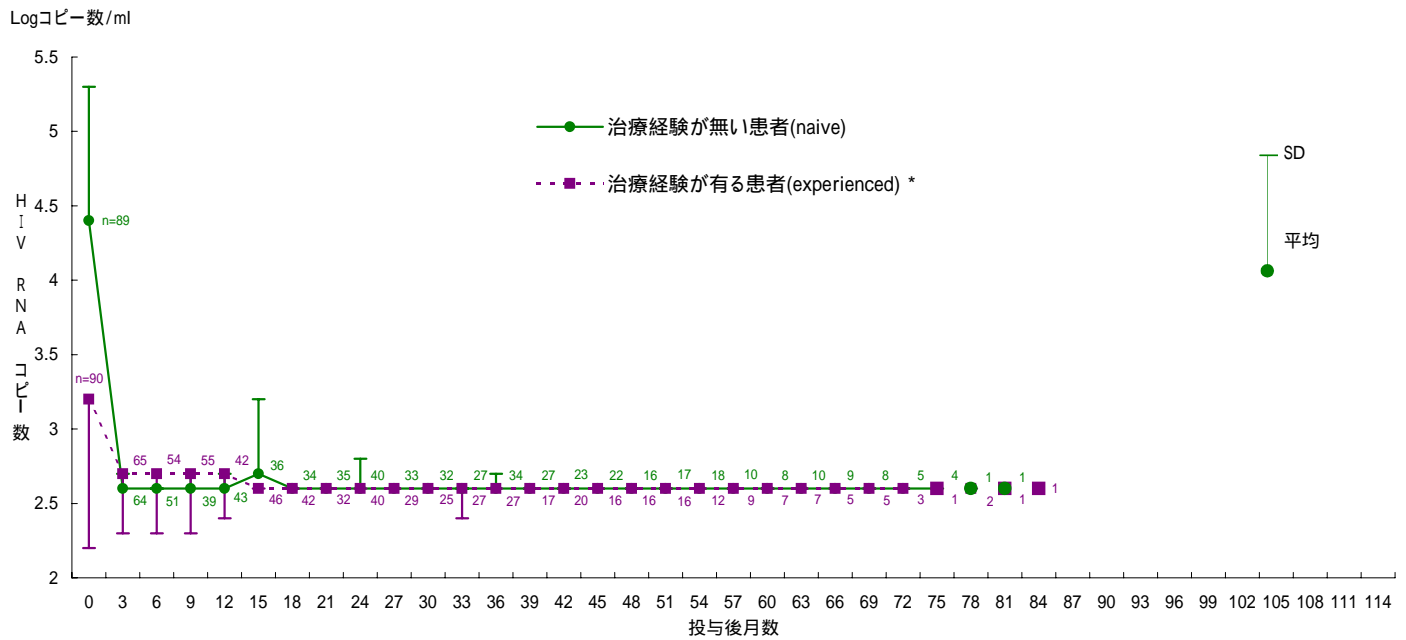
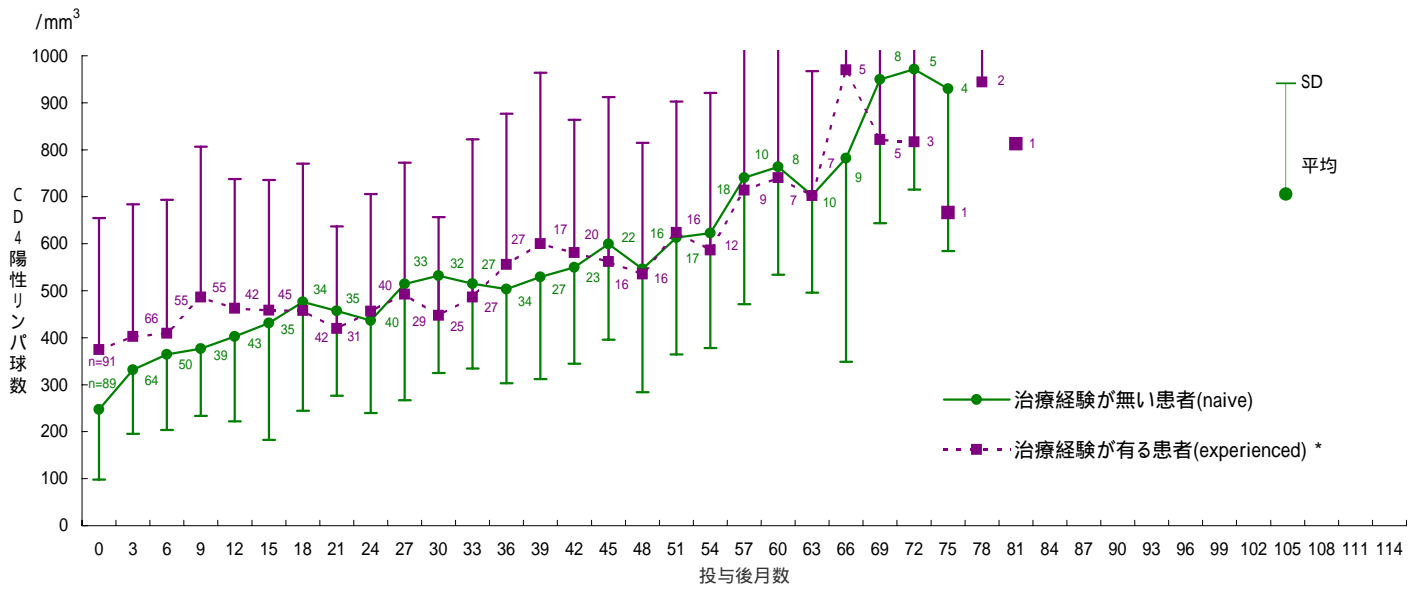
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤2剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の併用療法である。  
 CD4: 治療経験の有無に関わらず治療開始後若干の増加傾向が認められる。  
 RNA: 治療経験の有無に関わらず治療開始後の減少・抑制傾向が認められる。

図6. 組合 5

コンビル+ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



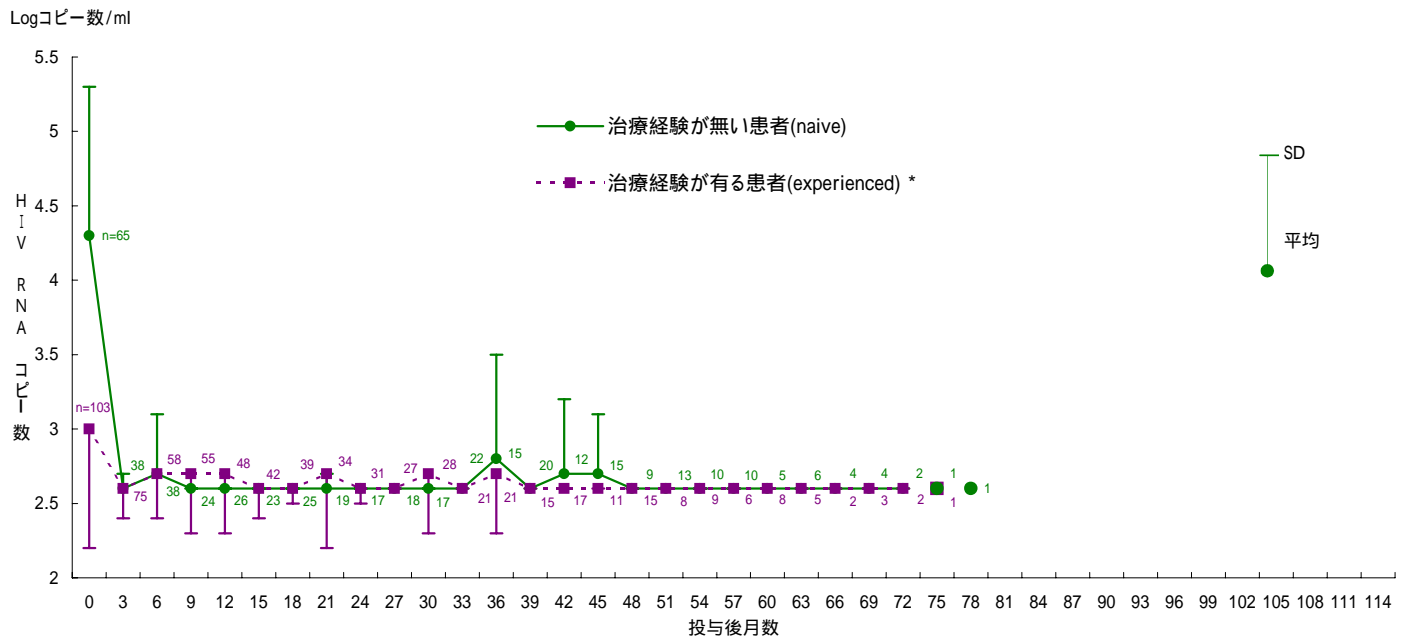
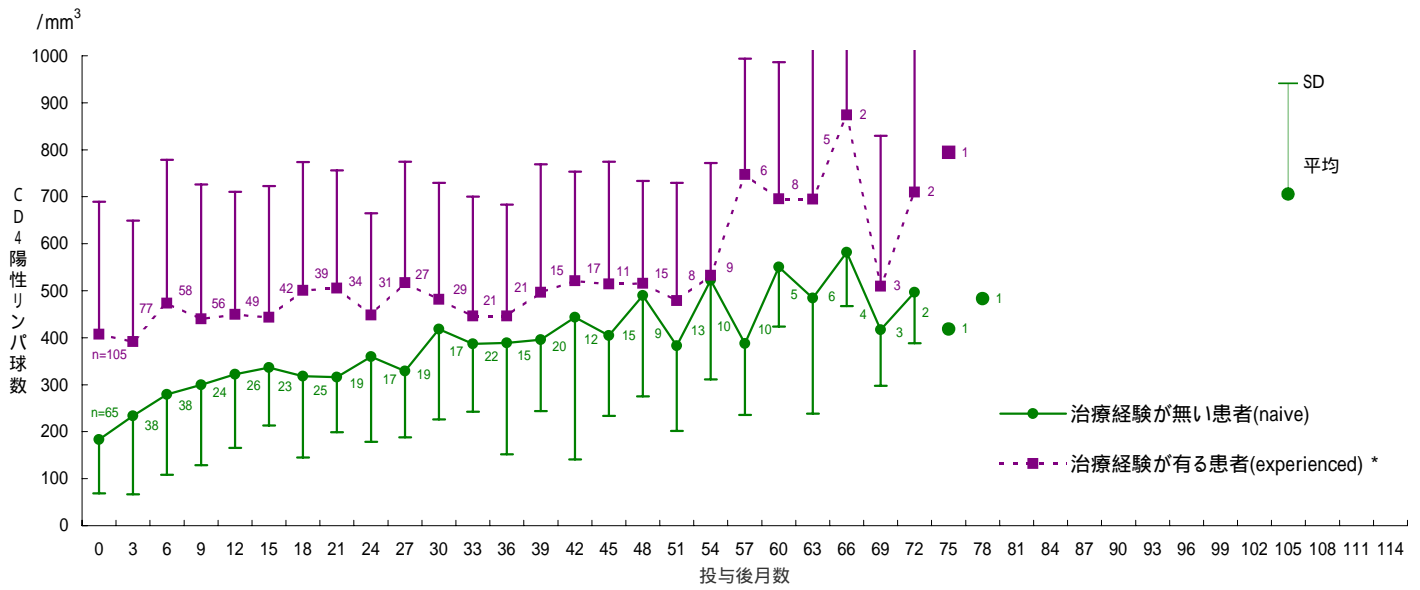
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。  
 CD4: 治療経験の有無に関わらず且つCD4値に差なく、治療開始後増加傾向を示し、その後も維持している。  
 RNA: 投与初期の減少傾向は顕著であり、治療経験の有無に関わらずコピー数の増加は見られない。

図7. 組合 6

レトロビル + エビビル + ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。

HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。

\* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

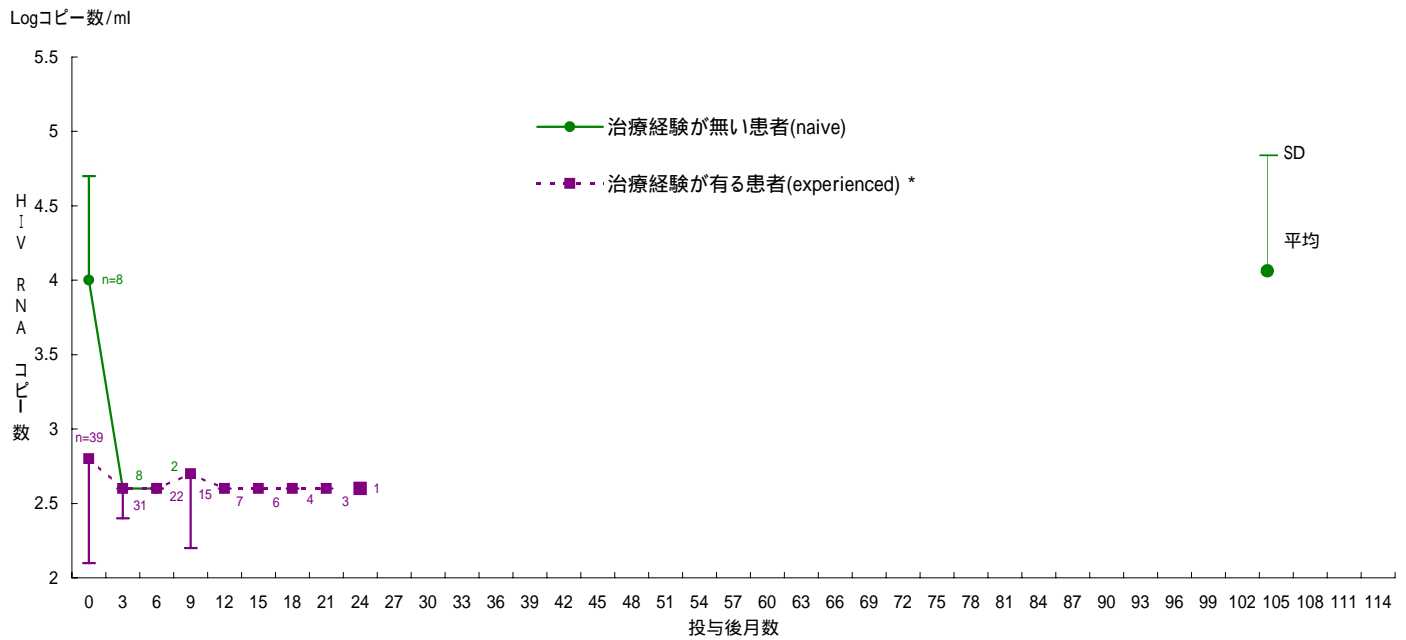
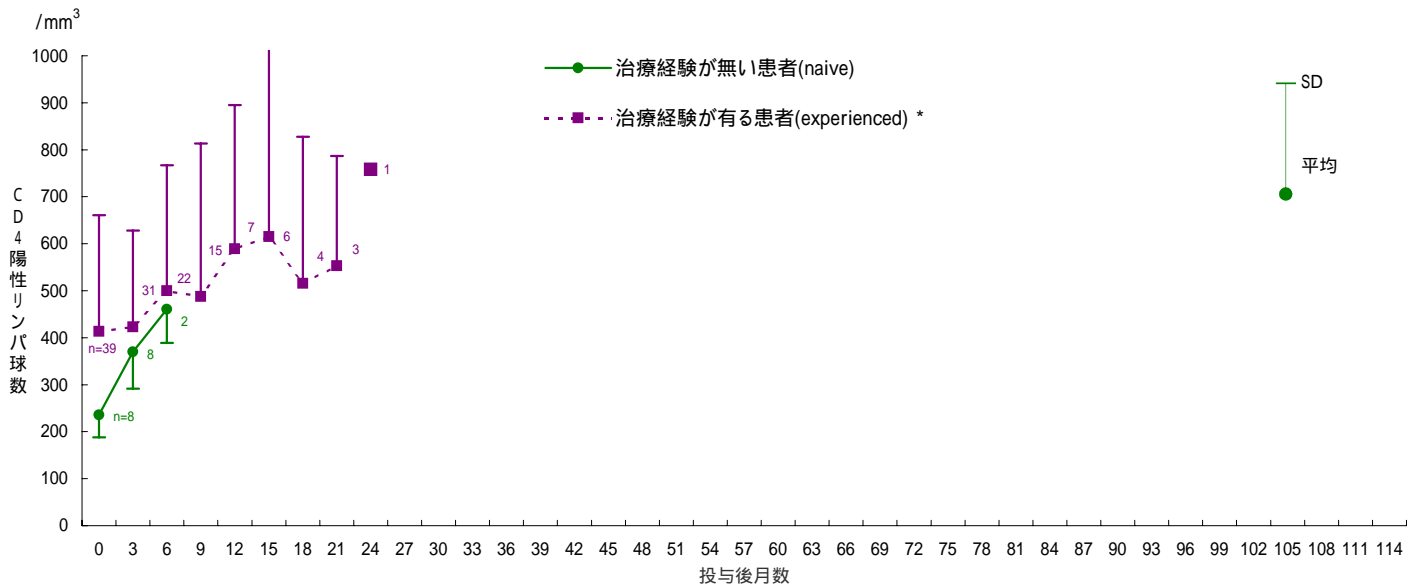
核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。(No.5と同種薬の組合せ)

CD4: 治療経験の有無に関わらず、治療開始後増加傾向を示し、その後も維持している。

RNA: 投与初期の減少傾向は顕著であり、治療経験の有無に関わらずコピー数の増加は見られない。

図8. 組合 7

エブジコム + ノーピア + レイアッツ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



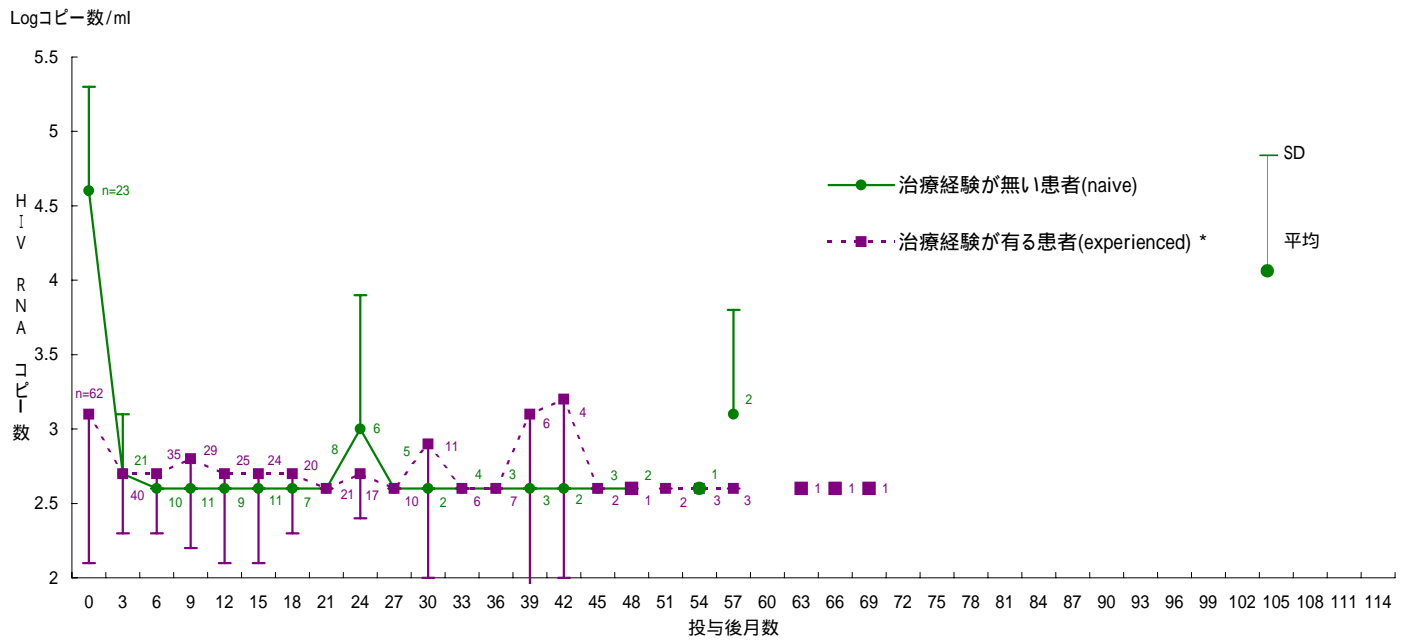
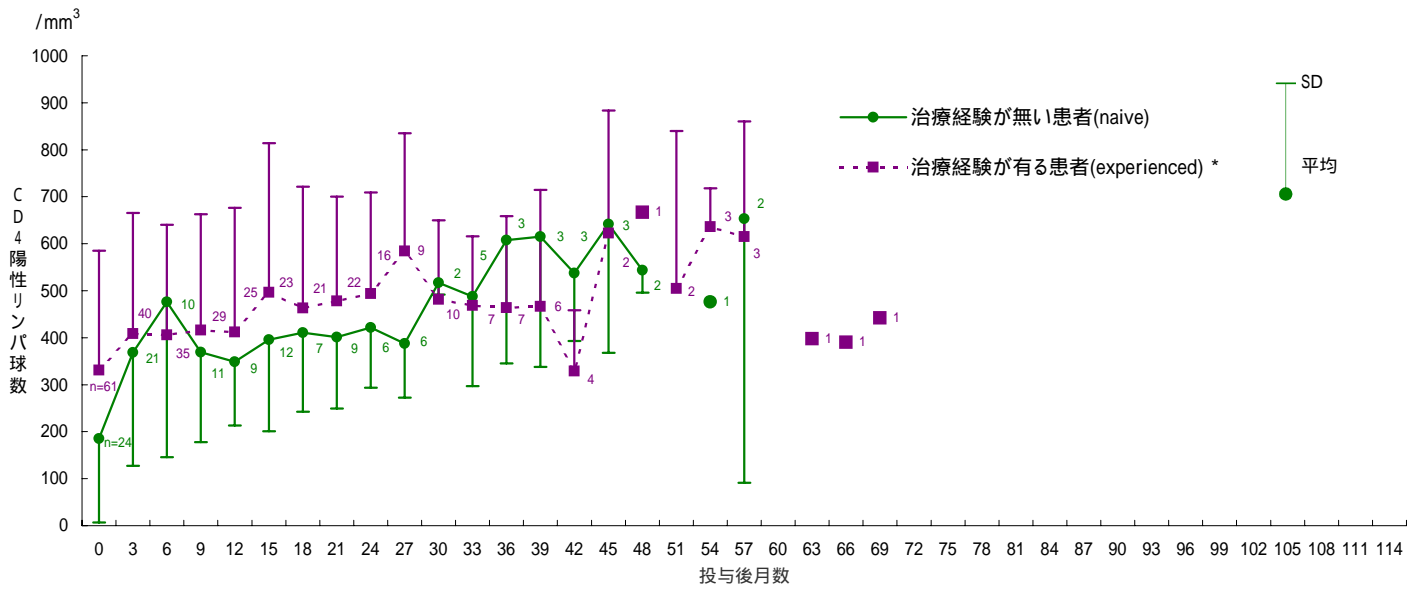
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤とプロテアーゼ阻害剤2剤の併用療法である。  
 CD4: 治療経験の有無に関わらず治療開始後顕著に増加が認められる。症例数は少なく評価は24ヶ月まで。  
 RNA: 治療経験の有無に関わらず治療開始後の減少・抑制傾向が認められる。

図9. 組合 8

レトロビル + エビビル + カレラ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移

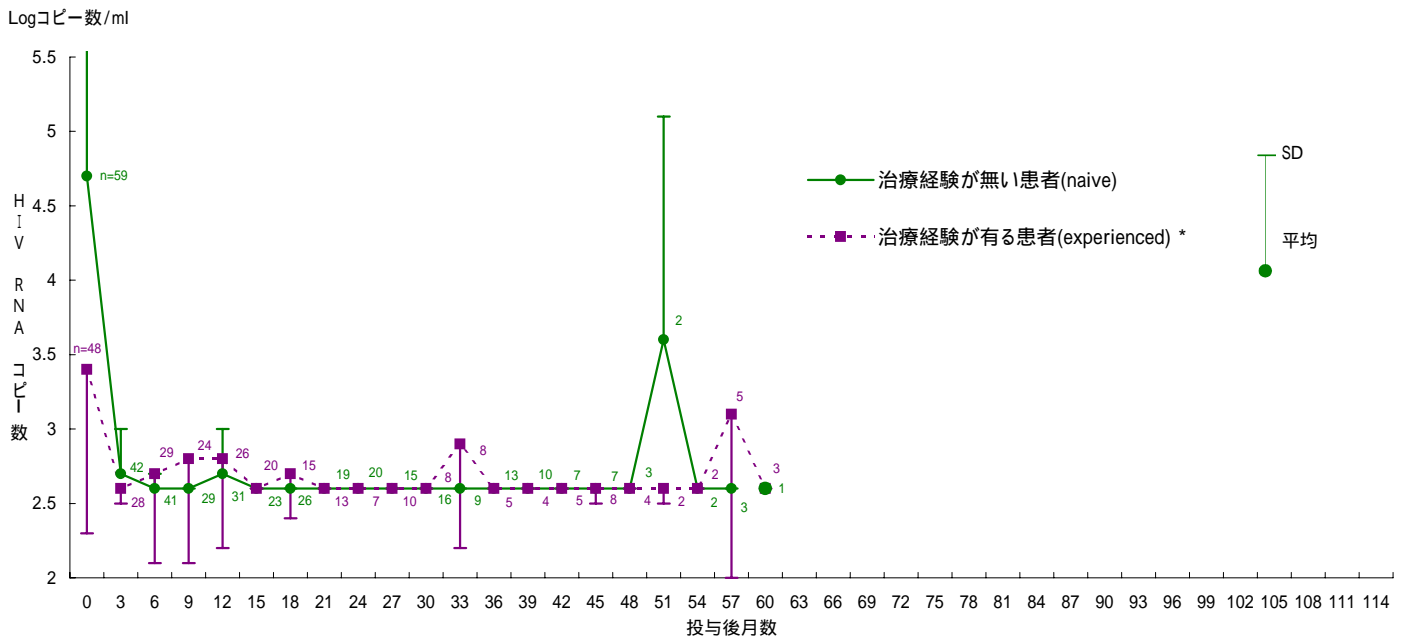
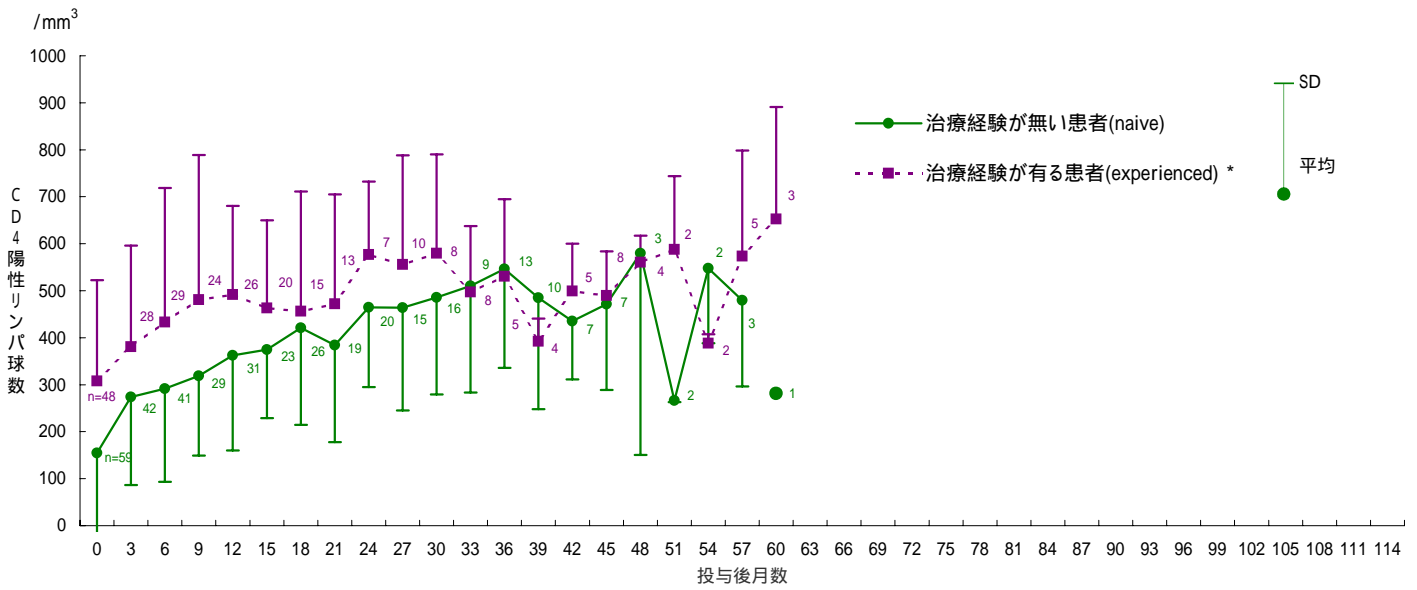


HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤配合剤1剤の併用療法である。  
 CD4: 治療経験の有無に関わらず治療開始後増加傾向が認められる。治療経験有群は、27ヶ月～42ヶ月の間減少傾向であった。  
 RNA: 治療経験の有無に関わらず治療開始後の減少・抑制傾向が認められた。

コンビビル + カレトラ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



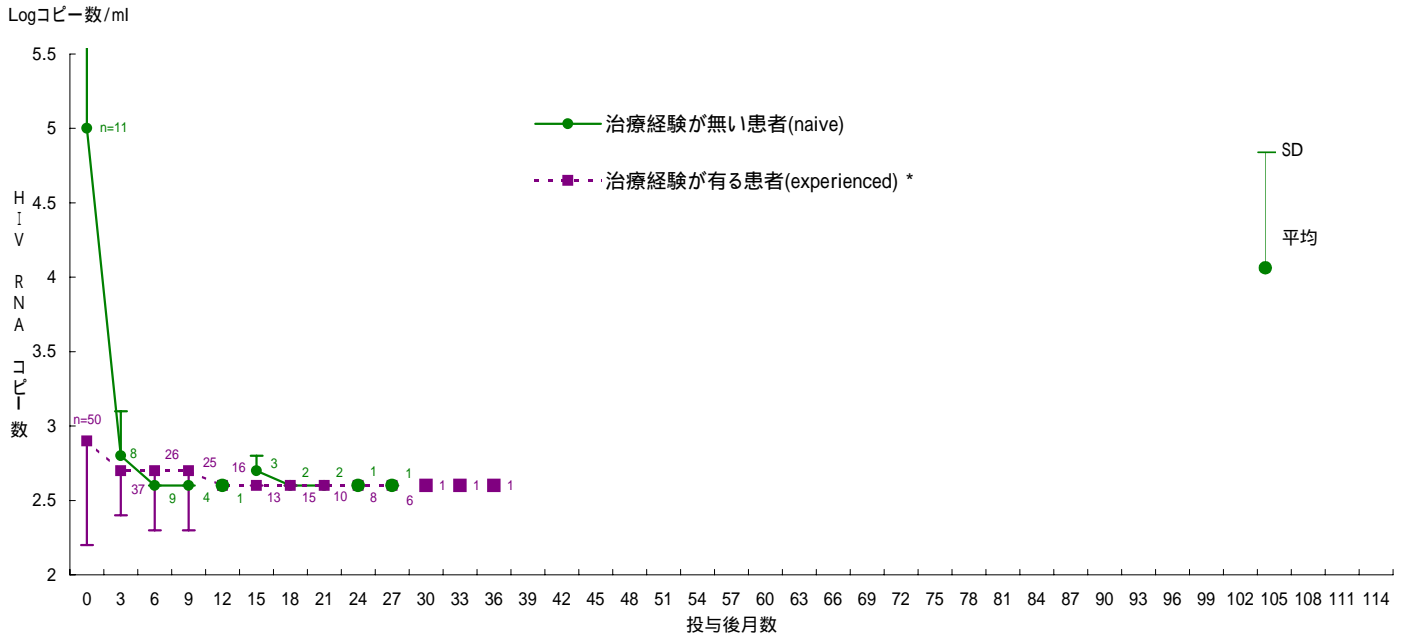
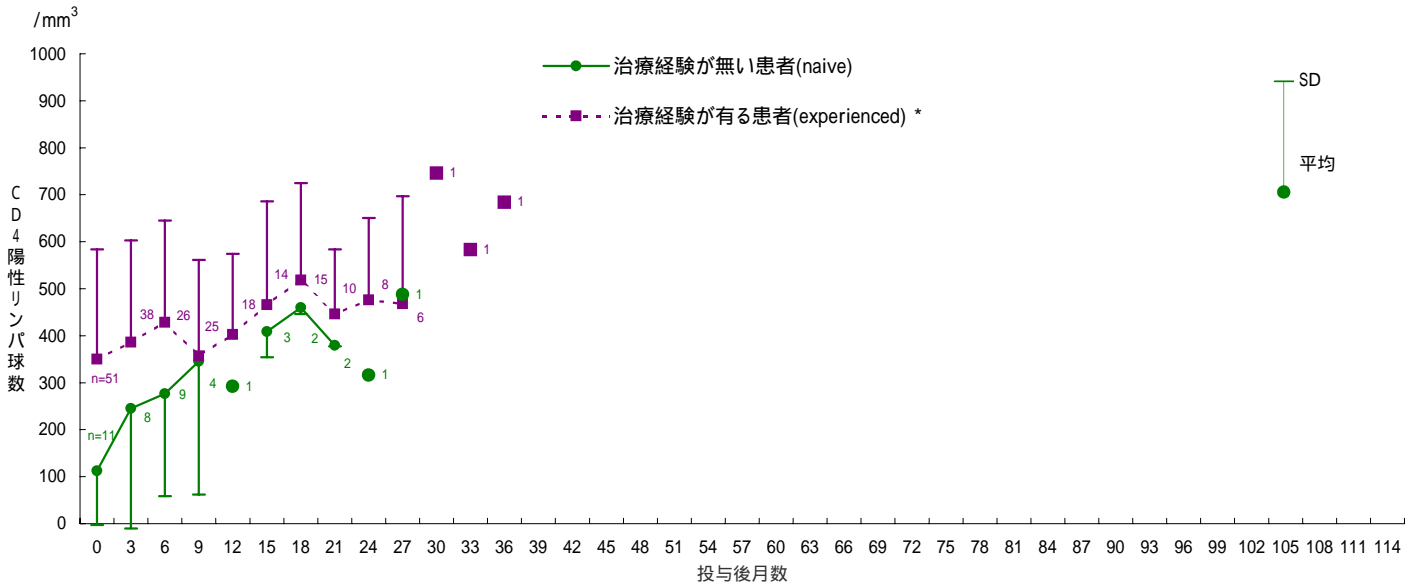
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤配合剤1剤の併用療法である。  
 CD4: 治療経験の有無に関わらず治療開始後30ヶ月頃まで増加傾向が認められる。治療経験有無群とも以降の症例は症例が少ないが不安定な傾向。  
 RNA: 治療経験の有無に関わらず治療開始後減少・抑制傾向が認められた。

図11. 組合 10

エビビル+ピリアード+カレトラ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



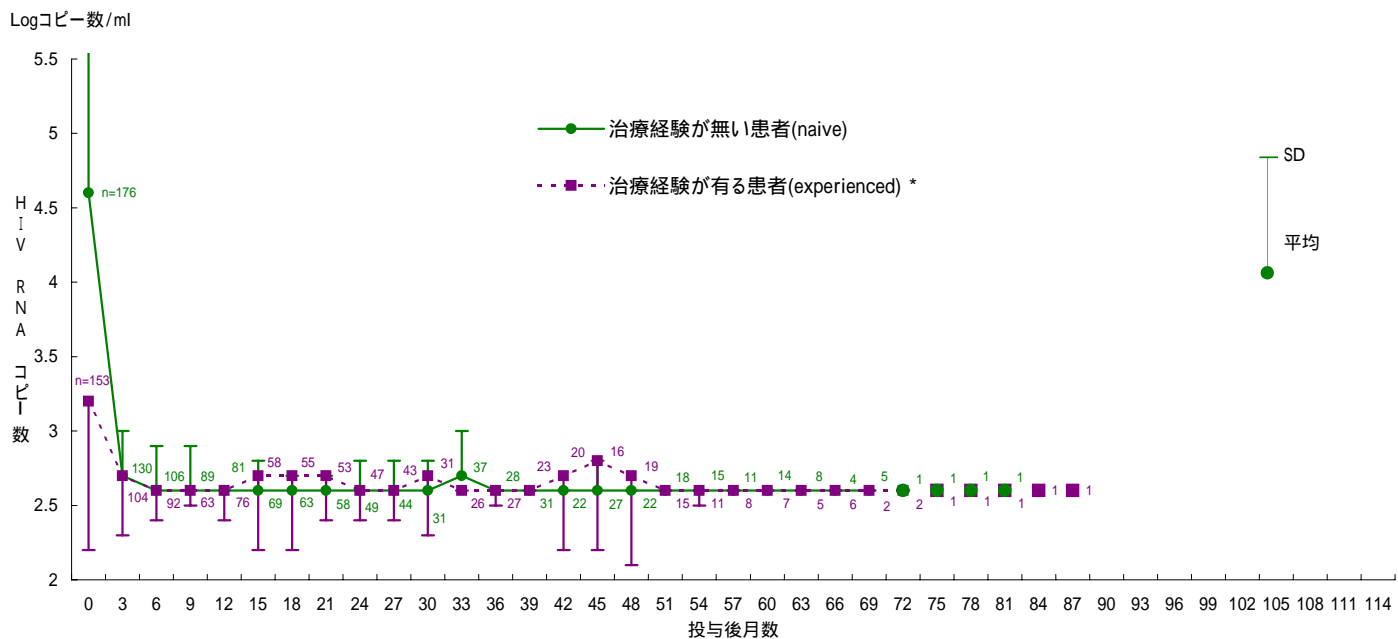
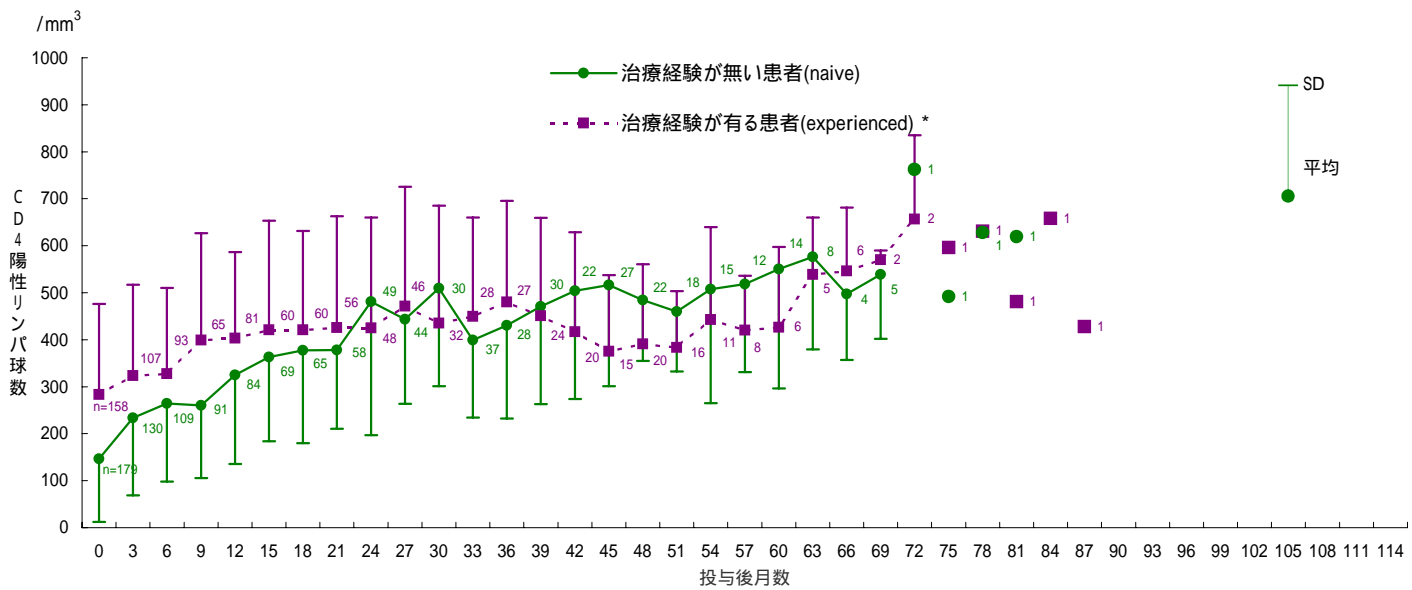
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤配合剤1剤の併用療法である。  
 CD4: 治療経験有群は治療開始後は増加傾向を示したが、治療経験無群は症例が少なく評価困難である。  
 RNA: 治療経験有群で治療開始後の減少傾向が認められる。治療経験無群は症例が少なく評価困難である。



エビビル + ゼリット + ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

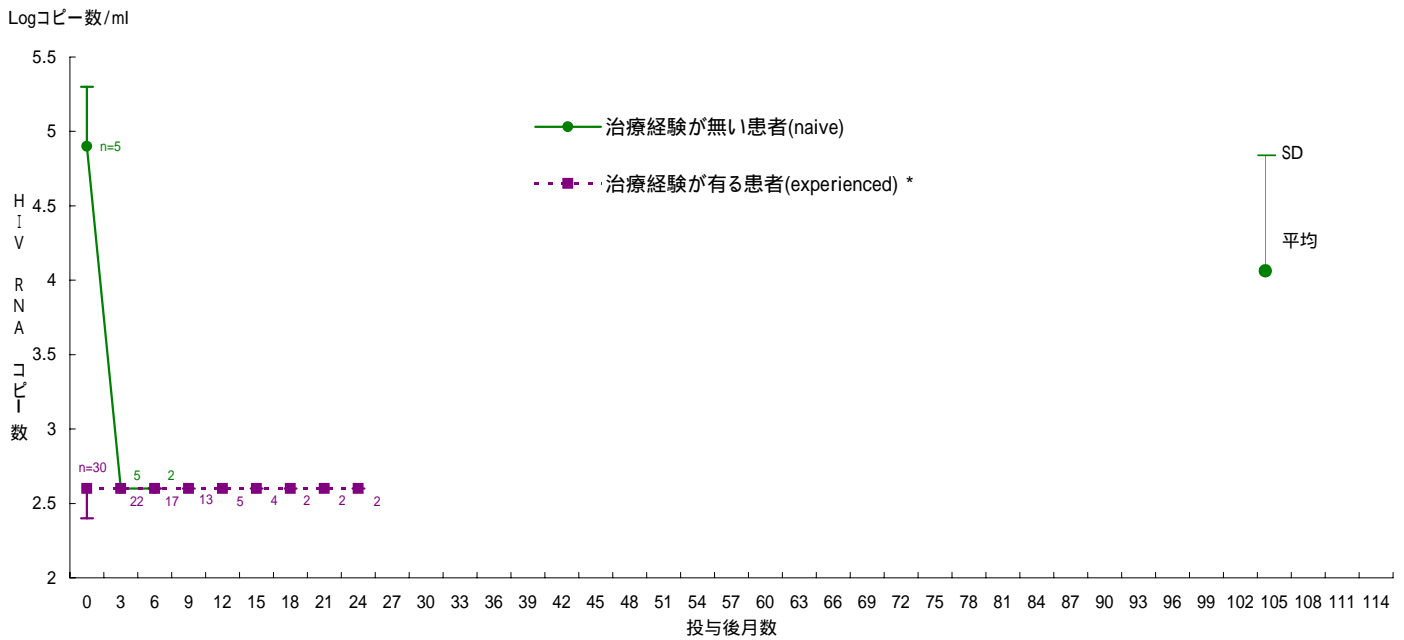
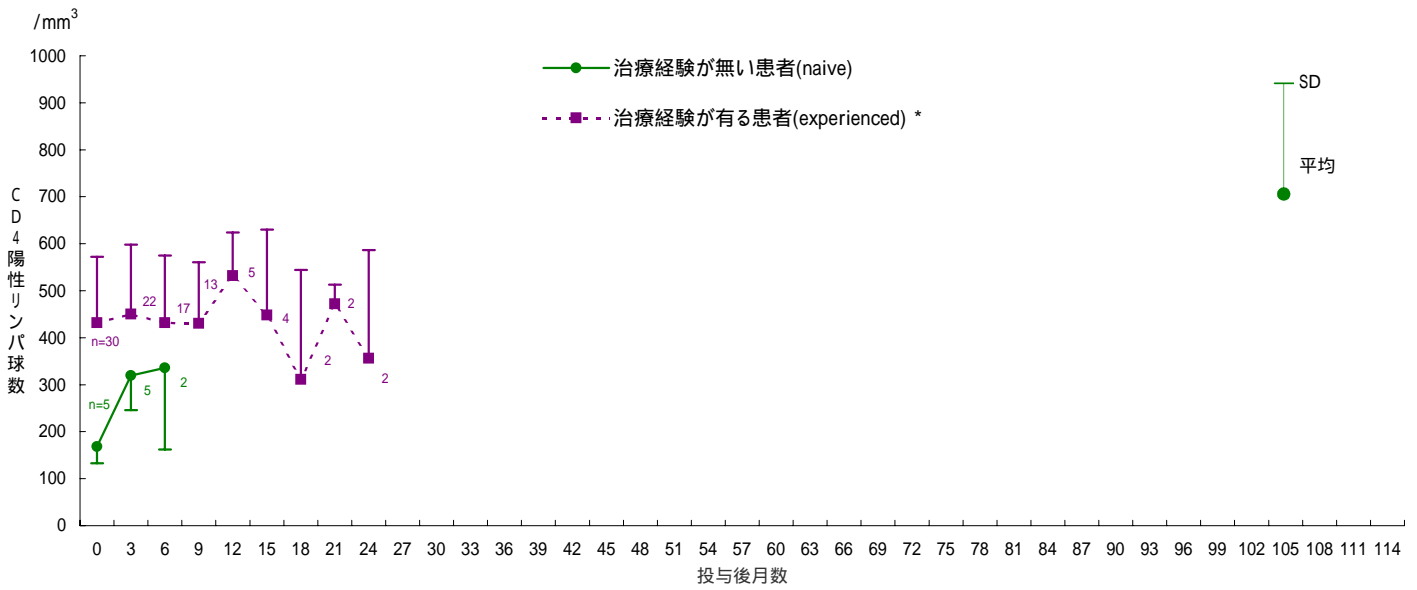
核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。

CD4: 治療経験の有無に関わらず治療開始後増加傾向が認められる。

RNA: 治療経験の有無に関わらず治療開始後の減少・抑制傾向が認められる。

図13. 組合 12

エプジコム + ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移

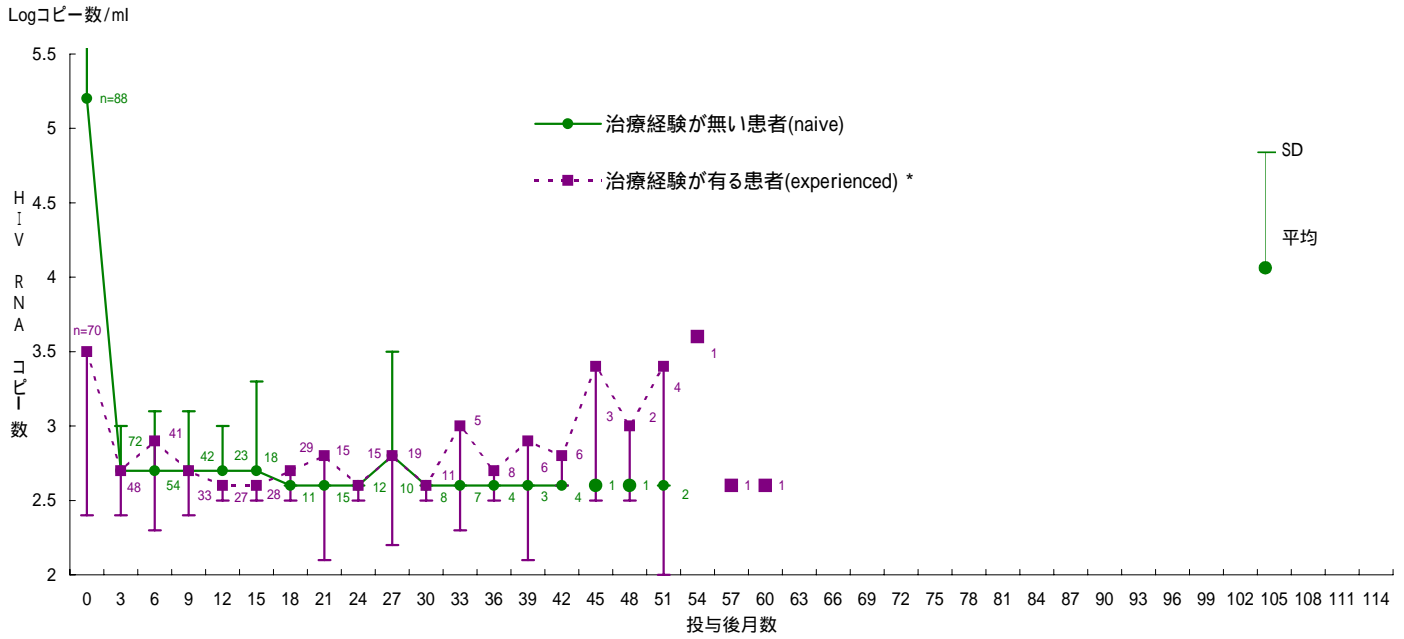
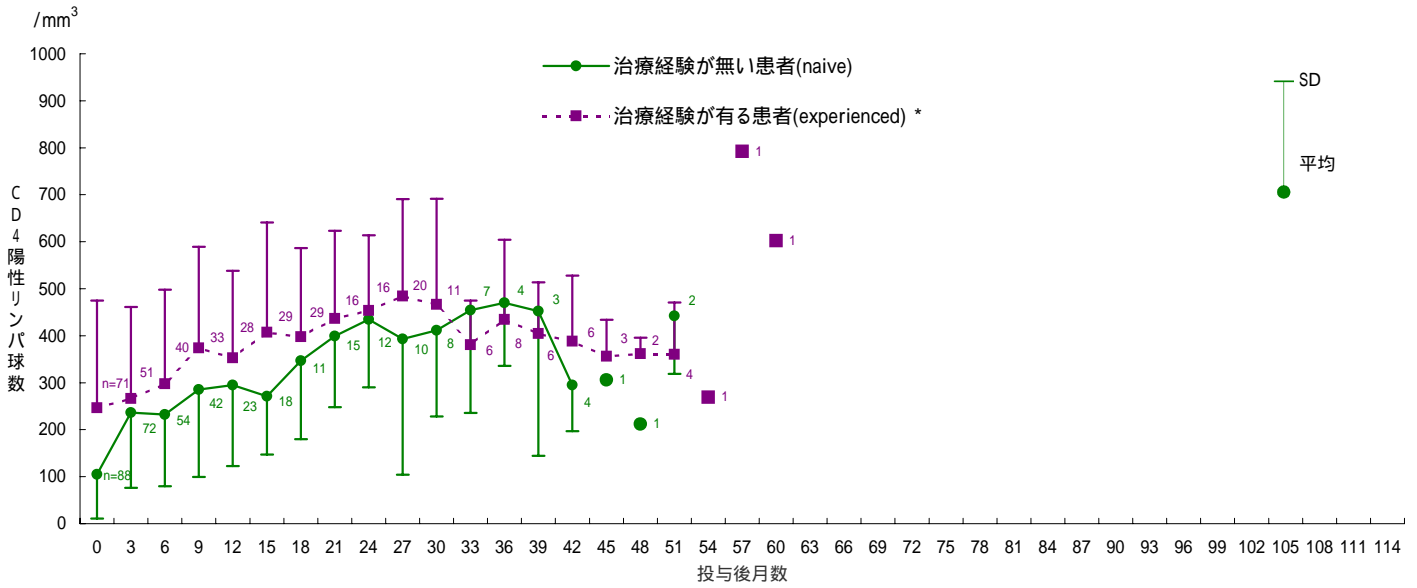


HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。  
 CD4、HIV-RNAコピー数ともに治療改善傾向を示すが症例が少なく評価は困難である。

エビビル + ゼリット + カレトラ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。

HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。

\* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

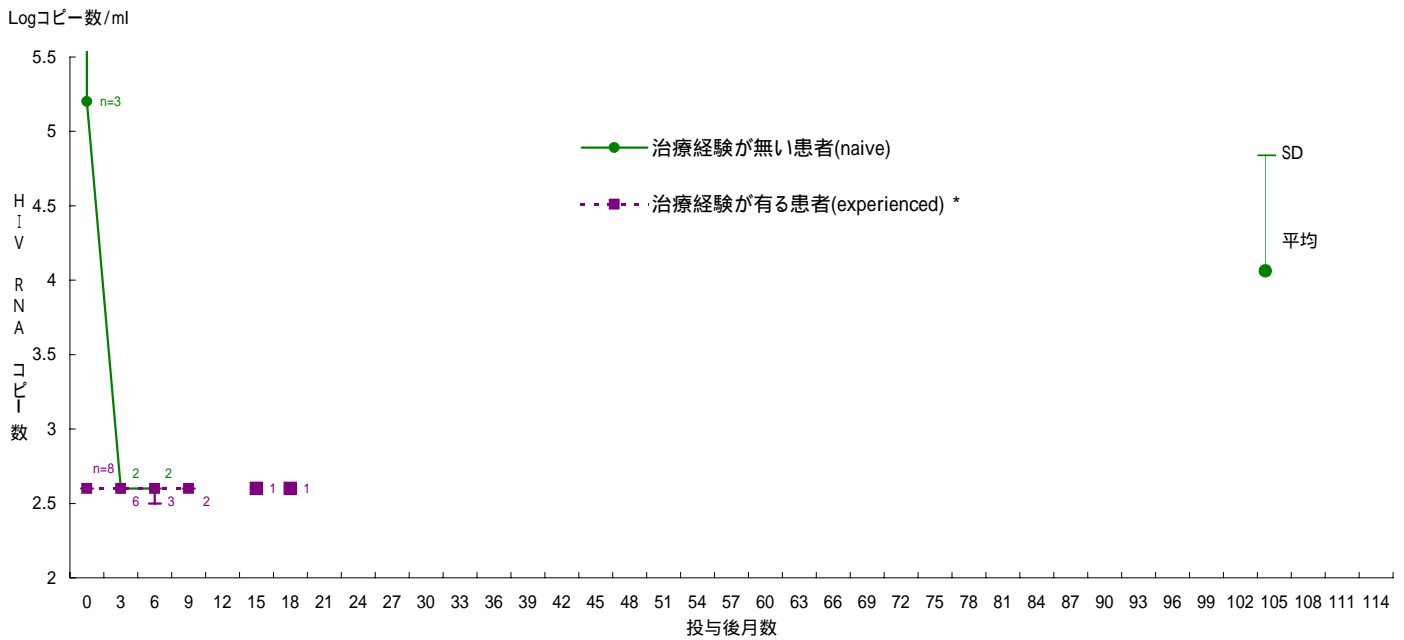
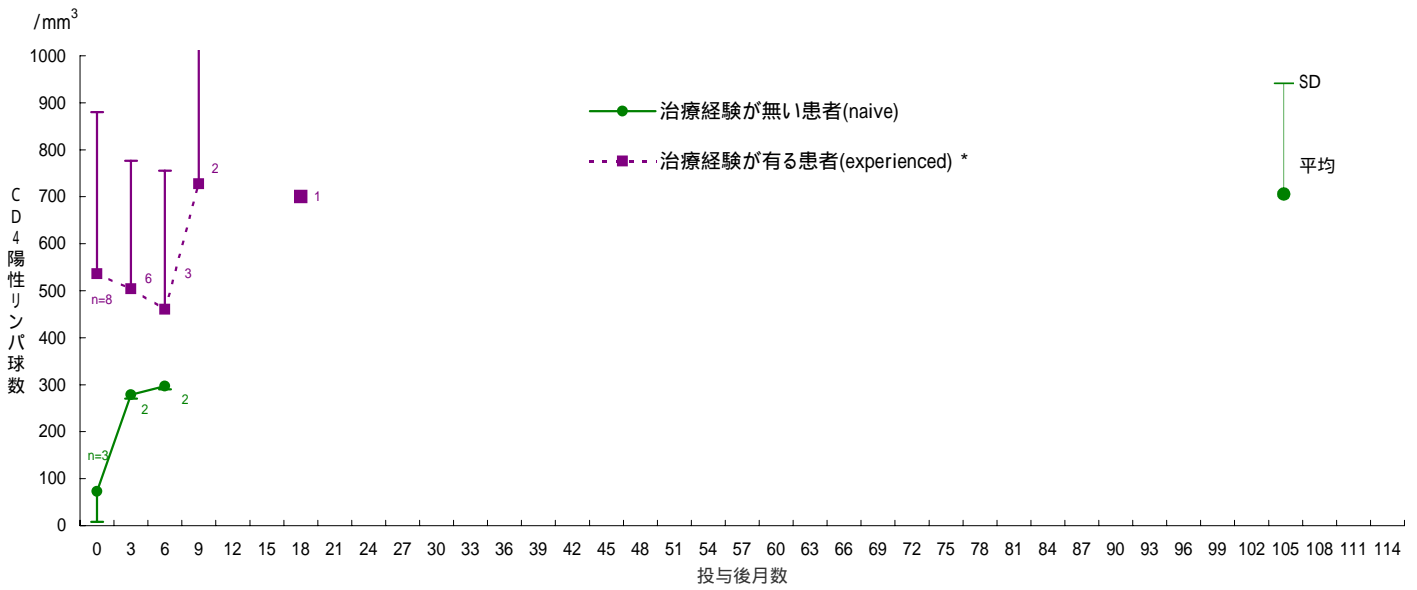
核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤配合剤1剤の併用療法である。

CD4: 治療経験の有群で39ヶ月頃まで、無群で30ヶ月頃まで治療開始後増加傾向が認められる。以後症例は少ないが不安定。

RNA: 治療経験の無群は治療開始後の減少・抑制傾向が認められた。有群も30ヶ月頃まで抑制傾向が認められたが、以後増加傾向も認められた。

図15. 組合 14

ツルバダ + カレトラ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



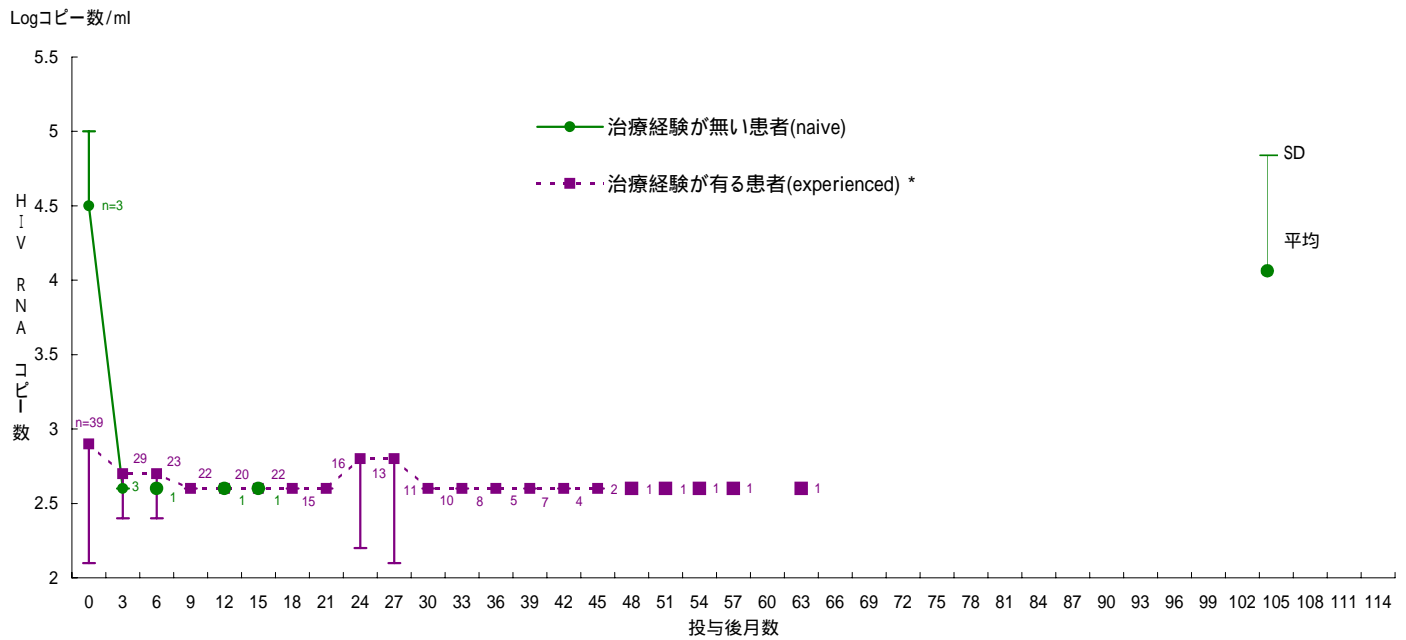
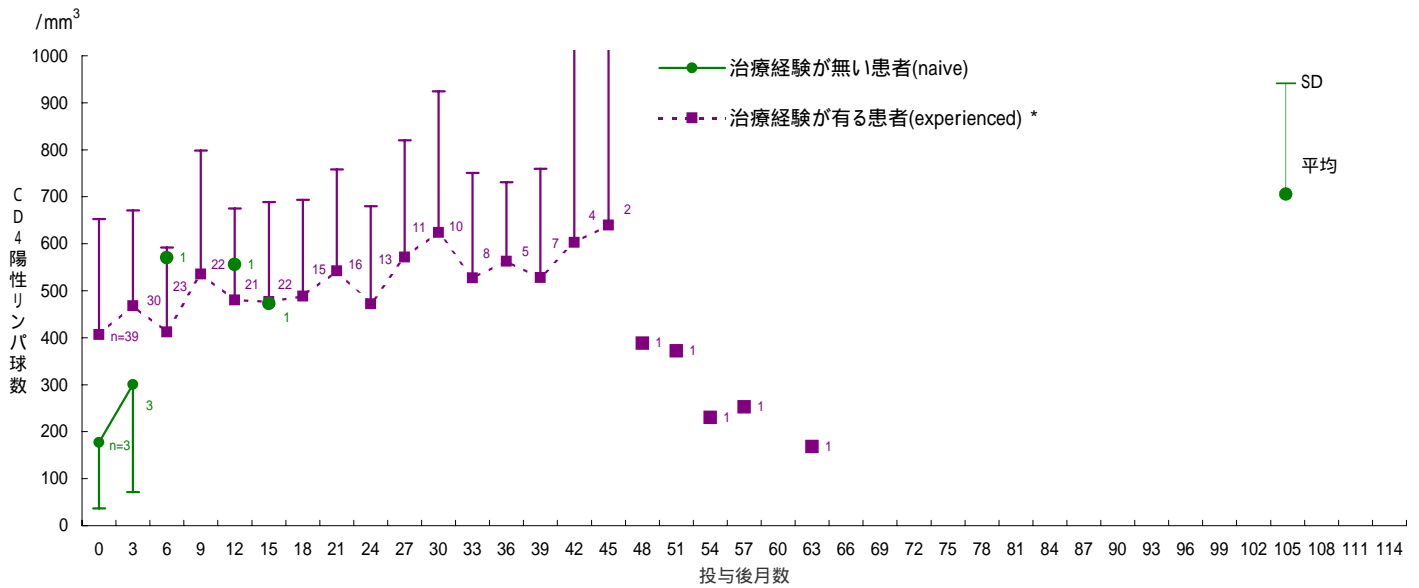
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤配合剤1剤の併用療法である。  
 CD4、HIV-RNAコピー数ともに症例が少なく評価は困難である。

図16. 組合 15

エビピル + ザイアジェン + ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



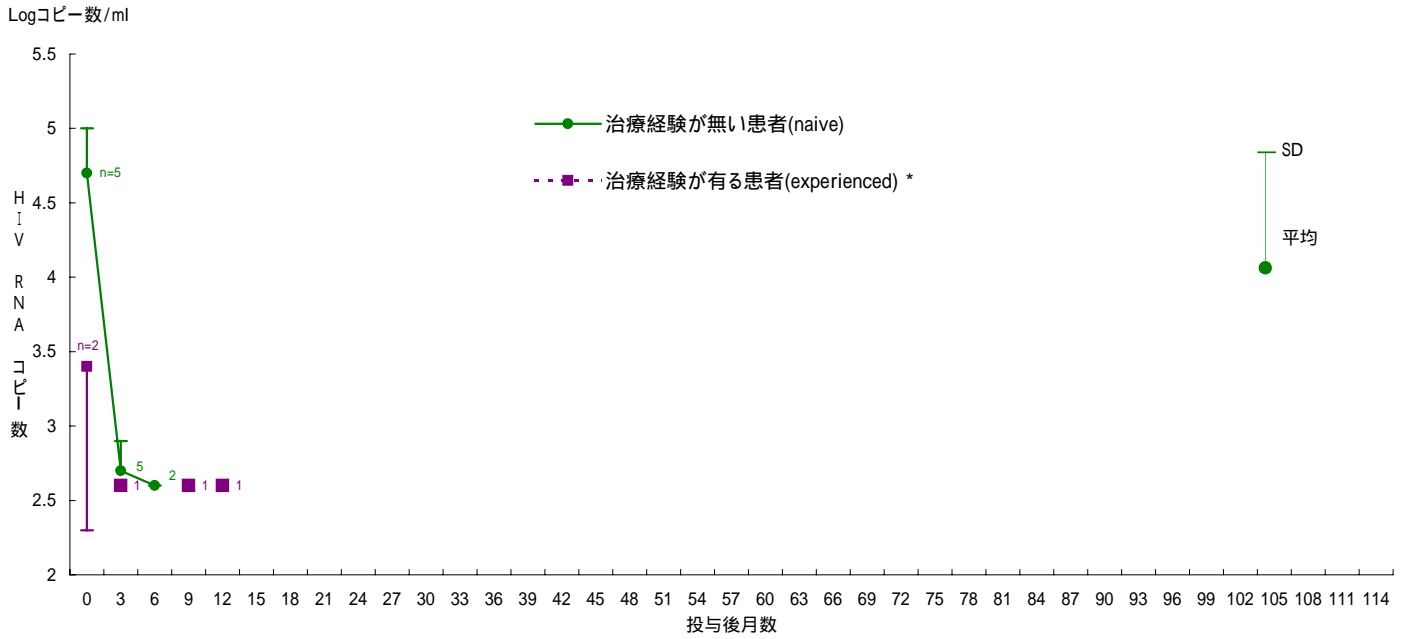
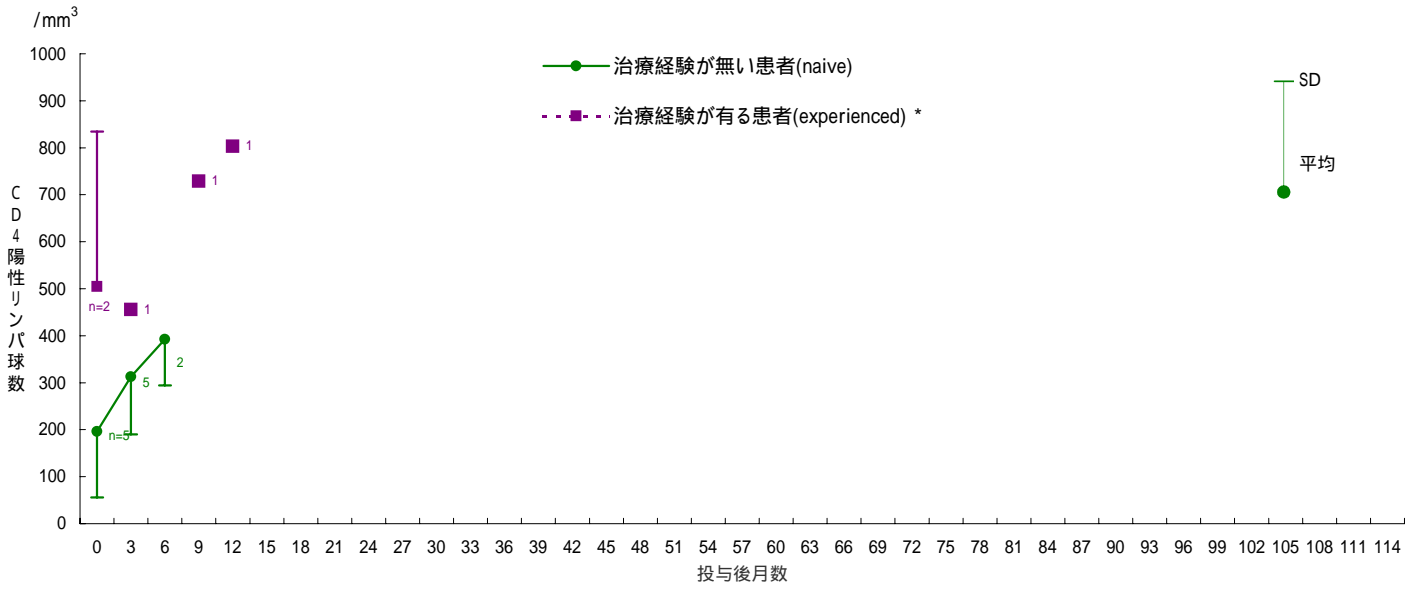
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。  
 CD4: 治療経験有群は多少変動はあるが、治療開始後は増加傾向が認められる。治療経験無群は症例が少なく評価困難である。  
 RNA: 治療経験有群は多少変動はあるが、治療開始後は減少・抑制傾向が認められる。治療経験無群は症例が少なく評価困難である。

図17. 組合 22

ツルバダ + ノーピア + レクシヴァ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



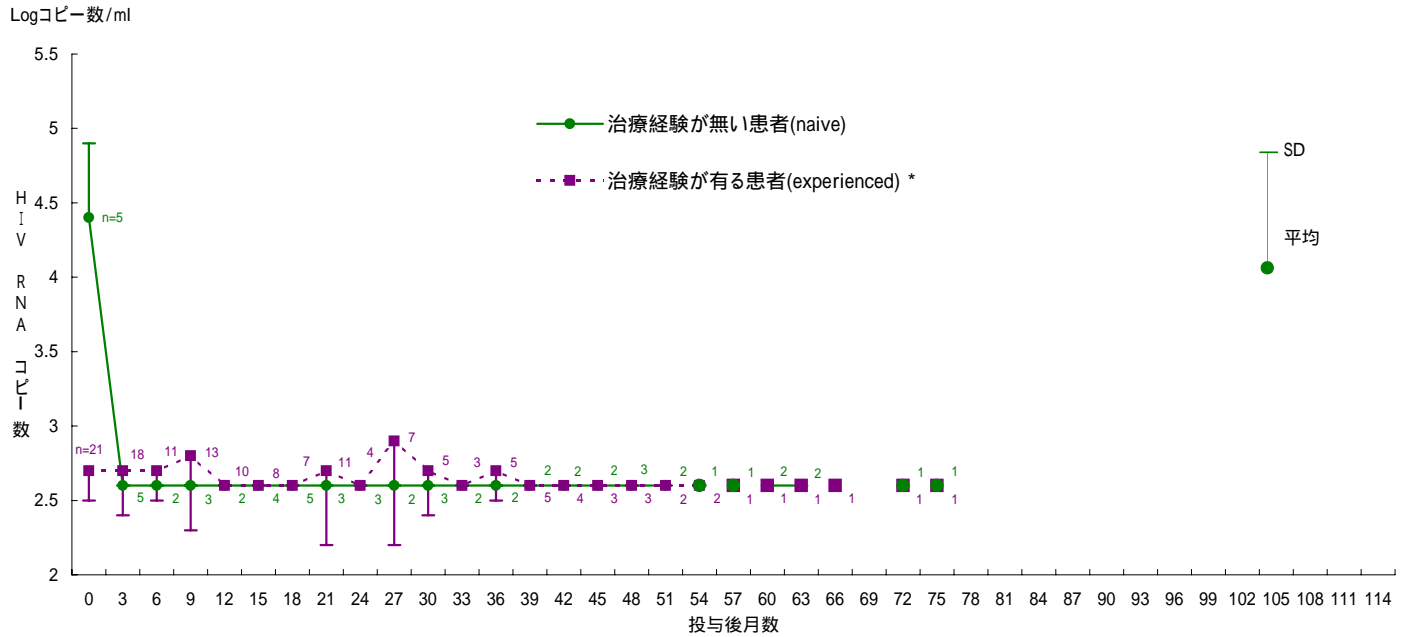
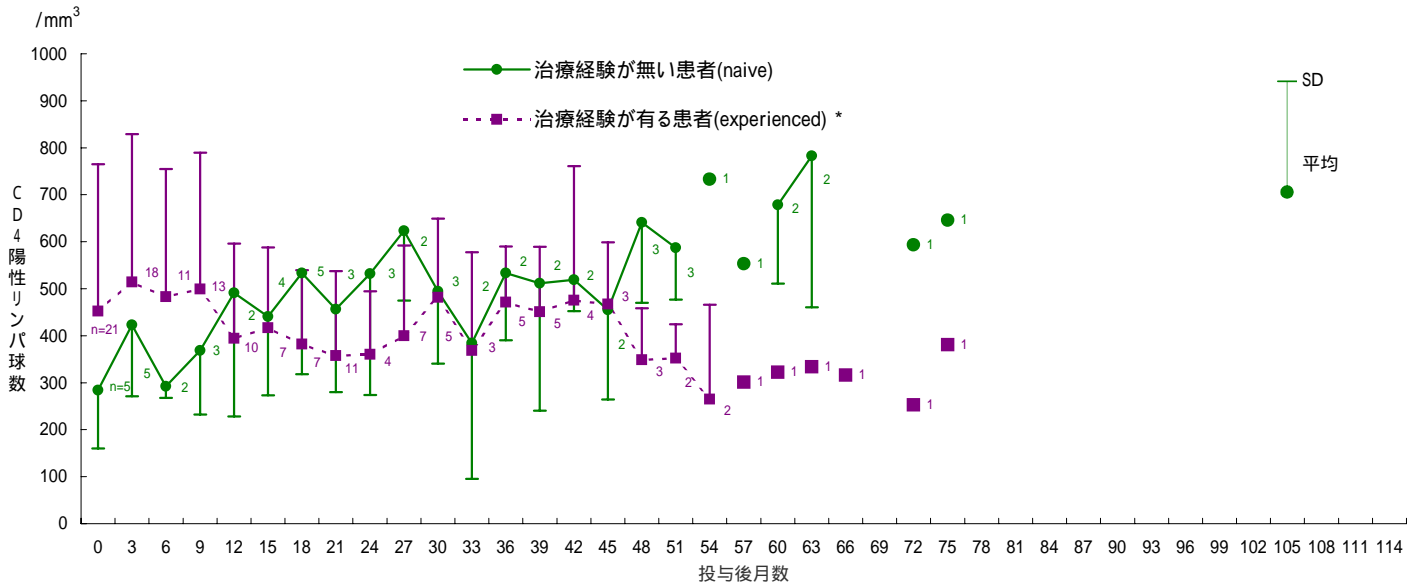
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

2種類の核酸系逆転写酵素阻害剤の配合剤1剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤1剤の併用療法である。  
 CD4、HIV-RNAコピー数ともに治療改善傾向を示すが症例が少なく評価は困難である。

図18. 組合 27

レトロビル+エビビル+ピラミューン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

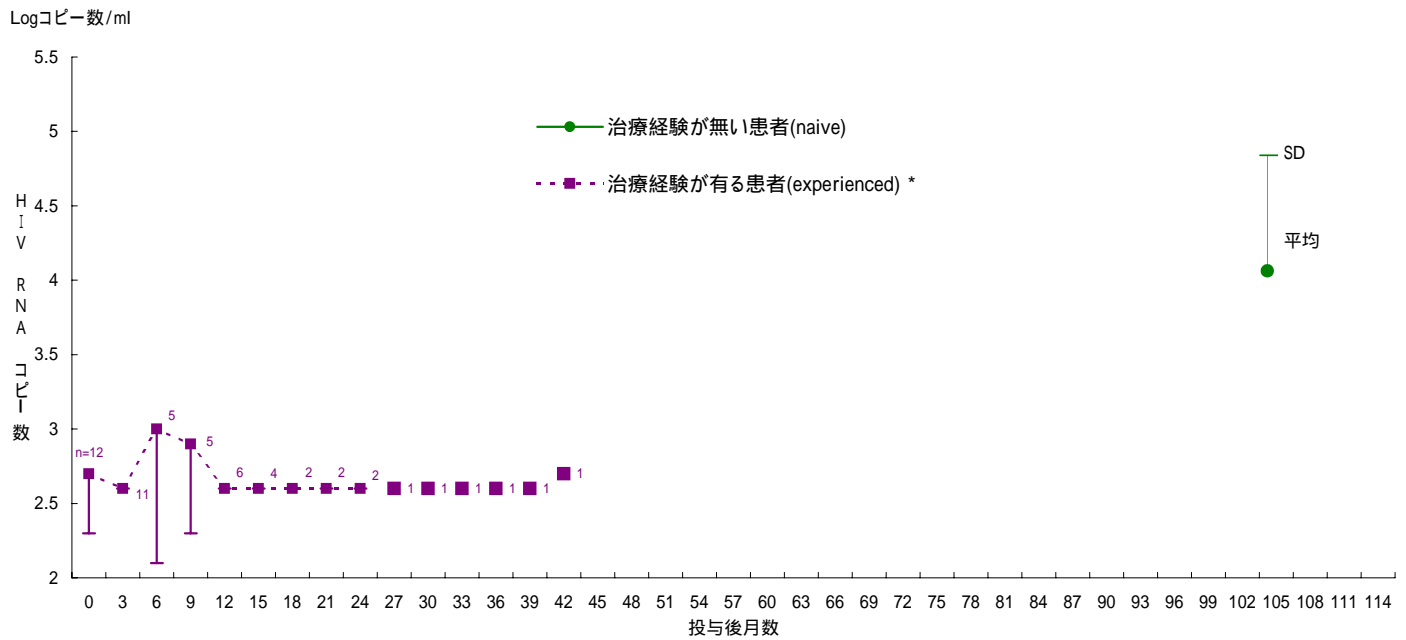
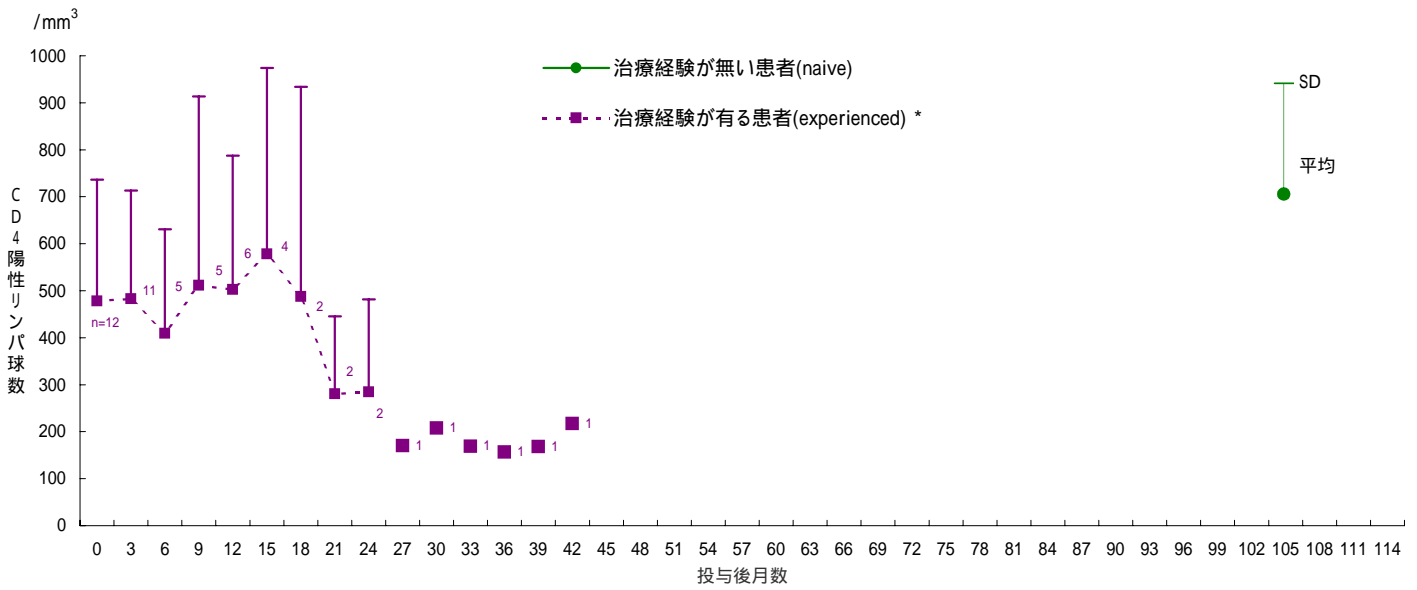
核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。

CD4: 治療経験無群とも変動はあるが、治療開始後増加傾向が認められ、350以上となる。以後治療経験有群は症例が少ないが300-400を維持する傾向である。

RNA: 治療経験有群は多少変動はあるが、治療開始後は減少・抑制傾向が認められる。治療経験無群は症例が少なく評価困難である。

図19. 組合 35

エピビル+ ザイアジェン+ ピラセプト併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

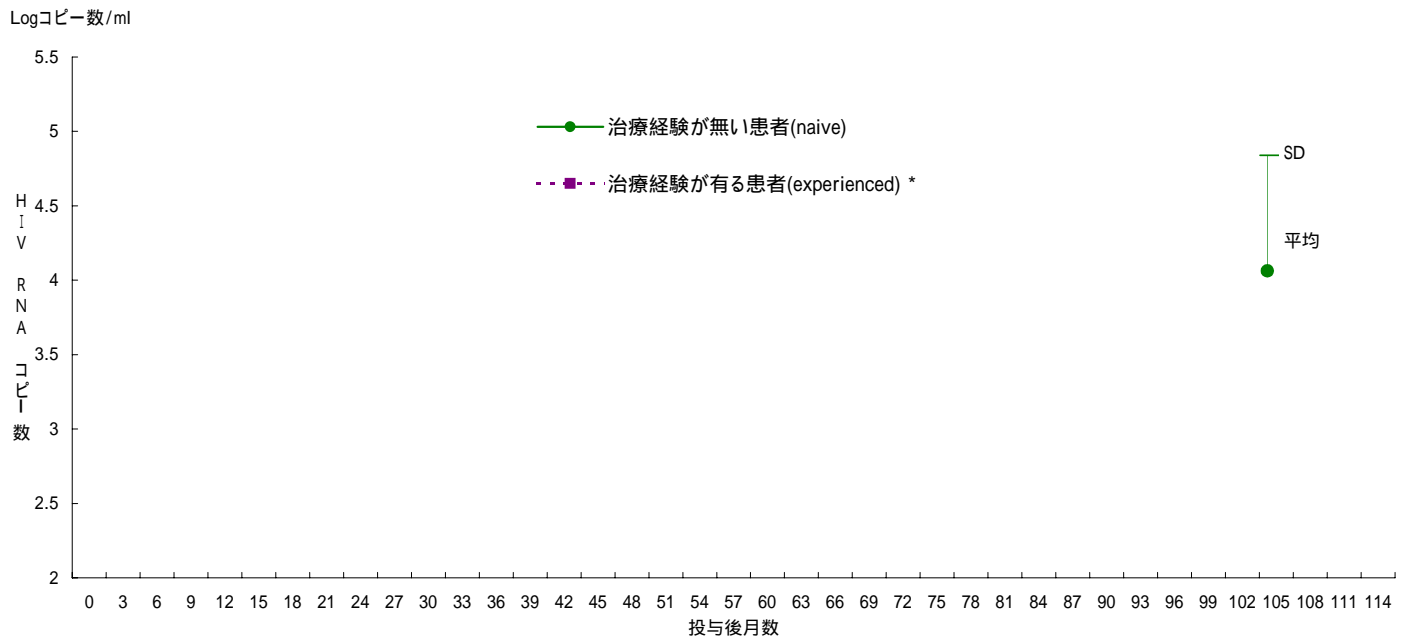
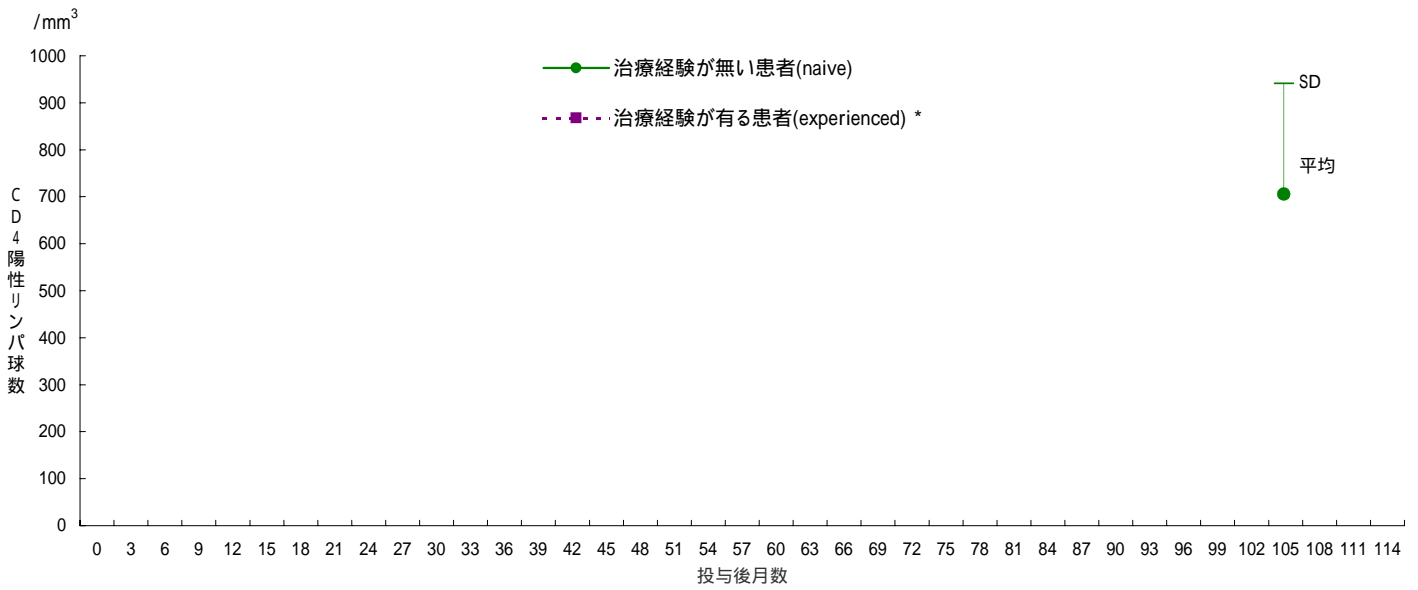
核酸系逆転写酵素阻害剤2剤とプロテアーゼ阻害剤1剤の併用療法である。

CD4: 治療経験有群のみで症例が少なく評価は困難である。

RNA: 治療経験有群のみで症例が少なく評価は困難である。



ピリアード+エムトリバ+ストックリン併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



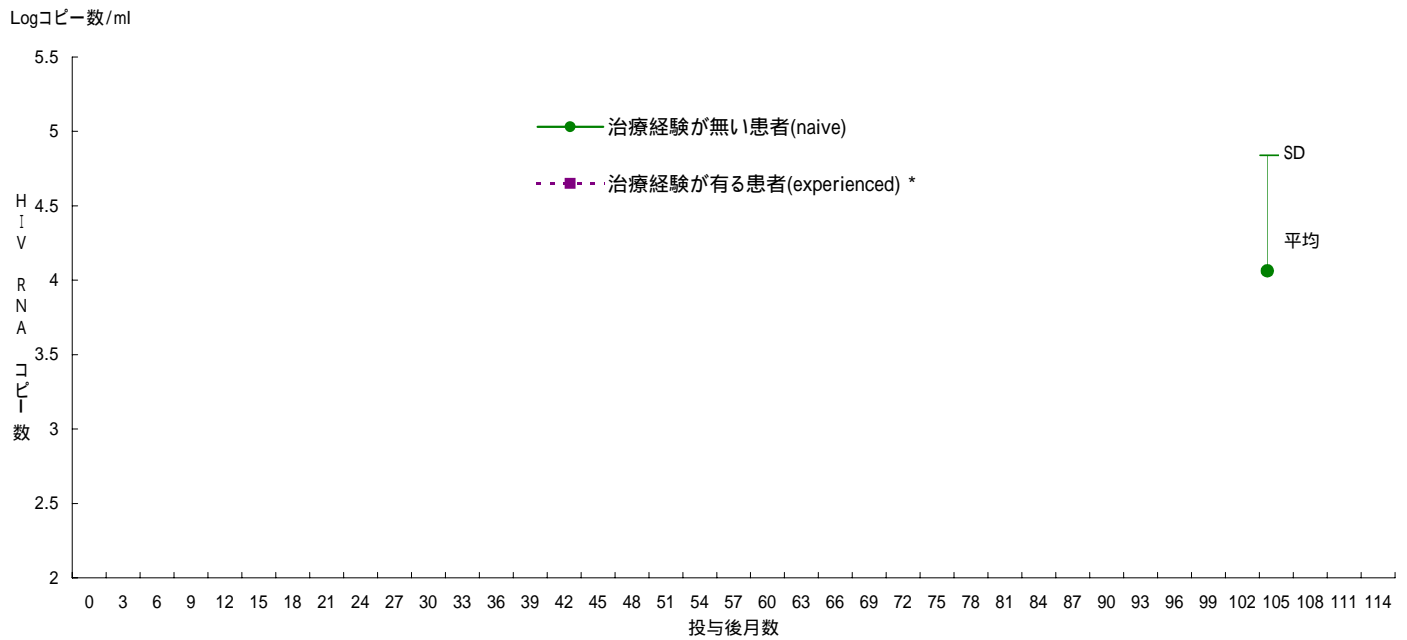
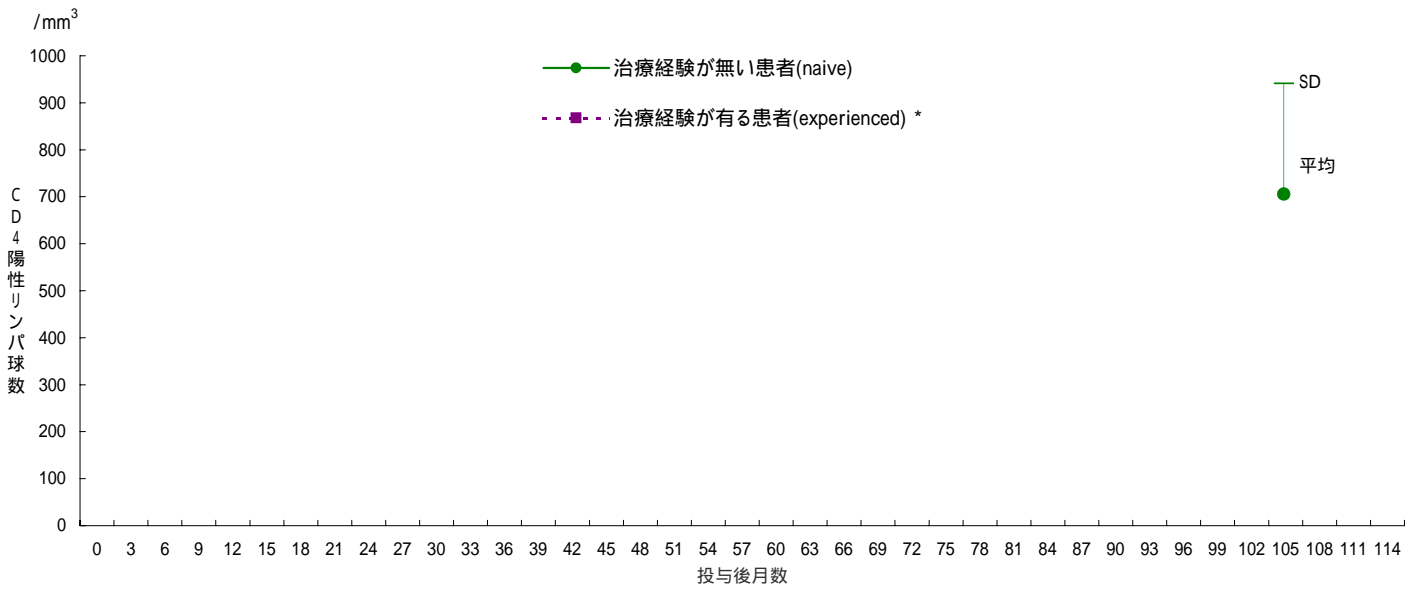
HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
 HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。  
 \* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤2剤と非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤の併用療法である。

図21. 組合 614

レトロビル + エビビル + レスクリプター + カレトラ併用例のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移



HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。

HIV-RNAコピー数のMean ± S.D.は、対数変換後算出を行った。

\* 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

【評価及び考察】

核酸系逆転写酵素阻害剤2剤、非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤と2種類のプロテアーゼ阻害剤1剤の併用療法である。